

令和2年度

卓越研究員事業

公募要領等

文部科学省 科学技術・学術政策局

令和2年1月

<令和2年度公募における前年度からの主な変更点>

(1) ポスト提示期間の柔軟化【P8：Ⅱ.3.関係】

- ・研究機関が提示する卓越研究員事業のポストについて、ポスト提示の期限を3段階設け、令和2年12月14日（月）の最終期限までの間、随時ポストの新規提示を可能としました。ただし、申請者への早期の情報提供等の観点から、2月末までのポスト提示を推奨します。

○ポスト提示一次締切：令和2年2月17日（月）17時
二次締切：令和2年4月3日（金）17時
最終締切：令和2年12月14日（月）17時

(2) 卓越研究員の研究費の交付時期の柔軟化【P11：Ⅱ.7.（1）関係】

- ・卓越研究員に決定した若手研究者を採用する研究機関に対して支援する補助金のうち「卓越研究員の研究費」について、当該卓越研究員が翌年度（令和3年度）に雇用開始となり、補助金による支援対象となった場合に、卓越研究員の決定後2～3年度目に支援を行うこととし、研究費を2年間活用できるよう変更しました。

(3) 卓越研究員の研究費の年間配分額の柔軟化【P11：Ⅱ.7.（1）関係】

- ・上記（2）に加え、「卓越研究員の研究費」の支援額について、卓越研究員一人当たり2年間で1,200万円、年間800万円を上限として支援を行うこととし、研究期間等に応じた研究費の柔軟な配分が可能となるよう変更しました。なお、人文学及び社会科学については、2年間で800万円、年間500万円を上限として支援を行います。

< 全 体 目 次 >

公募要領	1
I. 卓越研究員事業の概要等	3
II. 公募の内容	4
III. 研究機関の手続等	14
IV. 申請者（若手研究者）の手続等	18
V. 留意事項	21
VI. 問合せ先	32
参考 1 研究分野・研究内容一覧について	37
参考 2 JREC-IN Portal での求人公募情報掲載の手引き	67
審査要領	75
1. 審査体制	
2. 審査方法	
3. 審査の観点	
4. その他	
申請様式	79
<研究機関様式>	
(研究機関_様式 1)	79
(研究機関_様式 2)	81
(研究機関_様式 3)	85
(研究機関_様式 4)	89
(研究機関_様式 5)	91
(研究機関_様式 6)	93
(研究機関_様式 7)	95
(研究機関_様式 8)	97
<研究者様式>	
(研究者_様式 1)	99
(研究者_様式 1 別紙)	101
(研究者_様式 2)	103
(研究者_様式 3)	113

用語の説明

本事業に関する用語の定義等は以下のとおりとします。

「当事者間交渉」

ポストを提示した研究機関と卓越研究員候補者又は申請者が、透明・公平な選考プロセスに基づき選考を進め、雇用について交渉を行うこと。

「テニユアトラック制」

若手研究者・教員のキャリアパスの明確化に資するため、以下の要件を満たした形態で研究者・教員を採用する人事制度のこと。

- ①国際公募を実施するなど、公正で透明性の高い選抜方法で採用すること
- ②一定の任期（5年程度）を付して雇用すること
- ③任期終了前に公正で透明性の高いテニユア審査が設けられていること

「研究責任者」

独立した研究体制の中で、若手研究者・教員を牽引するリーダーとして活躍するとともに、若手研究者・教員の指導者としての責務を負う段階にある研究者・教員。

「若手研究責任者」

独立した研究者・教員の初期段階であり、より経験を積んだ者から適切な助言を受けながら、自立的な研究環境の中で研究を進める段階にある研究者・教員。

「メンター」

若手研究責任者が自立して研究することができるよう、研究室運営のノウハウを習得させ、また、自ら筆頭研究者として外部資金を獲得できるようにするために広範囲の助言等を行う経験や知識のある研究者・教員等。

「クロスアポイントメント制度」

研究者・教員が大学等と他の機関のそれぞれと雇用契約を結ぶ等により、各研究機関の責任の下で業務を行うことができる制度。

「事前連絡」

ポストの公開以後、卓越研究員候補者決定前から、研究機関と申請者又は候補者資格継続者が連絡を取り合い、当事者間交渉を進めること。この場合、ポストを提示した研究機関は、公開するポスト情報において、事前連絡「要」とし、連絡の方法、期限を明示。

「ブリッジプロモーター」

当事者間交渉支援機関。文部科学省と委託契約を締結した民間職業紹介事業者が、研究機関と卓越研究員候補者又は申請者との当事者間交渉の支援を実施。

令和2年度

卓越研究員事業

公募要領

文部科学省 科学技術・学術政策局

令和2年1月

<公募要領目次>

I. 卓越研究員事業の概要等	3
1. 事業の目的	3
2. 事業の概要	3
II. 公募の内容	4
1. 提示対象となるポスト（研究機関）	4
2. 申請者（若手研究者）の要件等	6
3. ポストの公開	7
4. 卓越研究員候補者の選考	8
5. 当事者間交渉	8
6. 卓越研究員の決定及び予定数	10
7. 支援内容	11
8. 申請から補助金交付までのスケジュール等	13
III. 研究機関の手続等	14
1. 申請書類の作成・申請方法等	14
2. 当事者間交渉完了の報告	16
3. 補助金の交付申請	17
4. 調査及びアンケート	17
IV. 申請者（若手研究者）の手続等	18
1. 申請書類の作成・申請方法等	18
2. 卓越研究員候補者の選考及び結果の開示	20
3. 調査及びアンケート	20
V. 留意事項	21
VI. 問合せ先	32
参考1 研究分野・研究内容一覧について	37
参考2 JREC-IN Portal での求人公募情報掲載の手引き	67

I. 卓越研究員事業の概要等

1. 事業の目的

近年、短い任期での雇用など不安定な雇用によって、新たな研究領域に挑戦し、独創的な成果を出すことができるような環境に若手研究者が置かれておらず、我が国の科学技術や学術研究の持続的な発展が不安視されています。また、産学官のセクター間を越えた研究者の流動性が低く、人を介した知の移転がなされず、世界規模での急速な産業構造の変化への対応が困難となっています。

一方、人材の育成・活躍促進や多様性の確保に向けては、大学や公的研究機関、企業等が、組織として人材育成やキャリア形成に強い責任感を持って取り組むことが重要です。また、若手研究者自身も、自らのキャリアパスは自ら切り拓くものとの意識を持ち、自らの持つ能力を高め、社会の様々な場でその能力を発揮していくことが求められています。

このような状況を背景とし、新たな研究領域に挑戦するような若手研究者が安定かつ自立して研究を推進できるような環境を、産学官を通じて実現するとともに、産業界をはじめとして、若手研究者が活躍し得る新たなキャリアパスを提示するため、「卓越研究員事業」を実施します。

2. 事業の概要

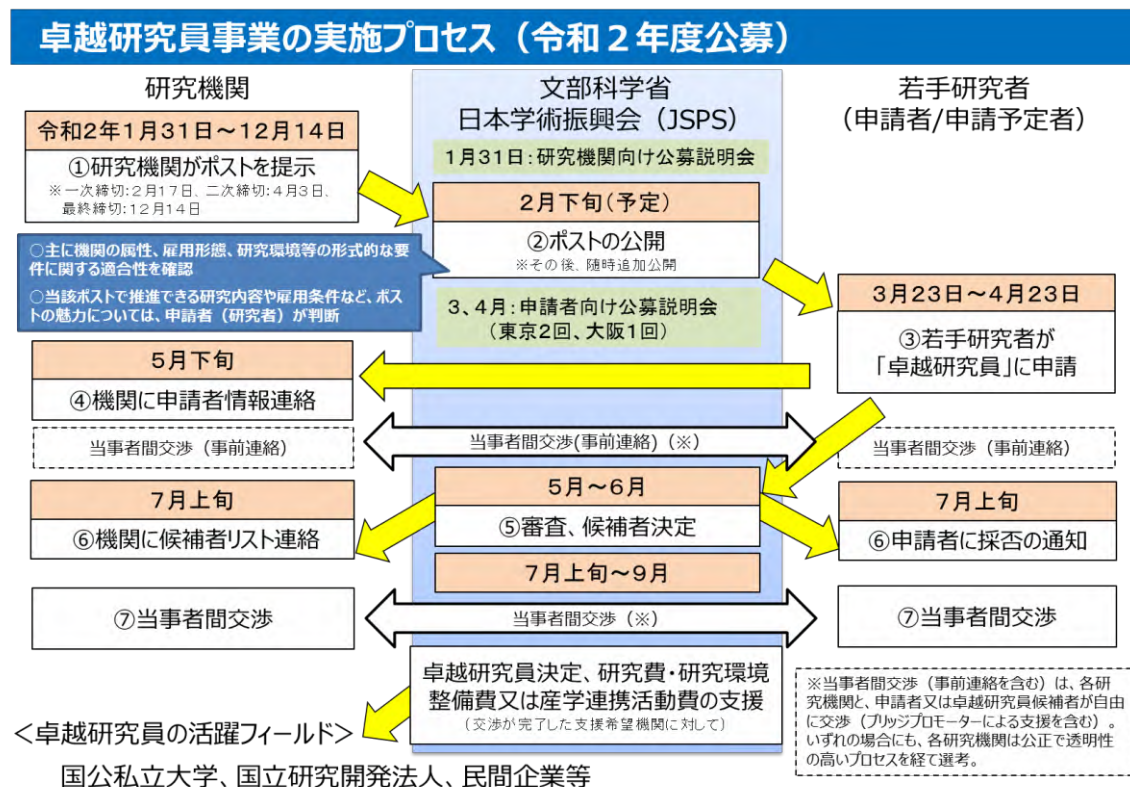
本事業では、意欲や柔軟性を有し、新たな研究領域の開拓等を実現できるような若手研究者が、産学官の研究機関において安定かつ自立した研究環境を得た場合に、当該研究機関に対し支援を行います。

最初に、文部科学省が、本事業への参加を希望する研究機関からポストを募集し、提示されたポストのうち要件を満たすものを文部科学省又は中立的な公的機関のウェブサイトを通じて、一覧化し、公開します。それと並行して、新たな研究領域への挑戦や、新たな研究の場での研究活動に意欲的に取り組む若手研究者に対し、卓越研究員の公募を実施します。次に、中立的な公的機関が、本事業の目的を踏まえ、申請した若手研究者の審査を実施し、文部科学省が卓越研究員候補者（以下「候補者」という。）を決定します。一方で、ポストを提示した各研究機関と候補者が個別に交渉（以下「当事者間交渉」という。）を行います。その結果、各研究機関において候補者が安定かつ自立した研究環境を得た場合に、文部科学省が当該候補者を卓越研究員として決定し、必要に応じて、一定の期間、研究費等を支援します。

令和2年度公募では、独立行政法人日本学術振興会（以下「日本学術振興会」という。）が、中立的な公的機関として、本事業に関する審査等について、文部科学省を支援します。

なお、本事業の実施は、本事業に係る令和2年度予算が成立することを前提とします。予算の状況等によっては、内容等に変更があり得ることをあらかじめ御承知おきください。

＜令和2年度公募に係る全体スケジュール＞



II. 公募の内容

1. 提示対象となるポスト（研究機関）

提示対象となるポストは、以下の要件等を満たすものに限りです。

a. 研究機関の要件

以下のいずれかに該当する機関とします。

- ・大学（学校教育法（昭和22年法律第26号）第1条に規定する大学をいう。）
ただし、学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学は除く。
- ・大学共同利用機関（国立大学法人法（平成15年法律第112号）第2条第4項に規定する大学共同利用機関をいう。）
- ・高等専門学校（学校教育法第1条に規定する高等専門学校をいう。）
- ・国立研究開発法人（独立行政法人通則法（平成11年法律第103号）第2条第3項に規定する国立研究開発法人をいう。）
- ・公設試験研究機関
- ・日本国内に法人格を有する企業等（一般社団法人や一般財団法人（行政庁による公

益認定を受けている公益社団法人及び公益財団法人を含む)を含む。なお、研究開発活動を行っていること。)

b. 提示対象となるポストの研究分野等

研究分野は、人文学、社会科学及び自然科学の全分野とします。

また、提示対象となるポストは、各研究機関の長（学長等）のリーダーシップの下、当該機関の将来構想に基づくポストであって、以下のいずれかの雇用形態を満たすものとします。なお、給与形態としては、年俸制の導入を原則とします。

○テニユアトラック制又はこれと同趣旨の公正で透明性が高く、安定性の高い人事システムでの雇用。なお、研究機関が策定・公表する規程等に基づき、上位職（教授相当）の全員に再任回数の限度のある任期制を適用している機関においては、当該ポストでの雇用を可とする。

○任期の定めのない雇用。

c. 研究環境

- ① 卓越研究員が、研究責任者若しくは若手研究責任者として、研究テーマを自ら設定し、研究を遂行できるよう、自立的な研究環境を構築すること（例：メンターの配置、研究資金の措置、研究支援体制の充実、研究スペースの確保、共用機器の配置、主任指導教員としての大学院生の研究室への配置等）。ただし、卓越研究員として所属する研究機関と相談して、研究テーマの一部変更等を行うことは排除しません。
- ② 年間の全業務時間を 100%とした場合、原則として雇用後 5 年間は、研究活動に関するエフォートが 50%以上であること（50%以上の範囲内で、研究機関の特性に応じて 70%や 80%などに設定することも可とする）。

※卓越研究員は、全国の研究機関をフィールドとして活躍することが期待されており、各研究機関において、クロスアポイントメント制度等（企業及び大学間等、異なる機関種間を想定）を積極的に活用していくことが望まれます。

<参考>

- ・クロスアポイントメント制度の基本的枠組と留意点（平成 26 年 12 月 26 日 経済産業省産業技術環境局 文部科学省高等教育局）（特に「第 2 3 「在籍型出向」形態によるクロスアポイントメント制度の推奨される実施例」）

(URL : https://www.meti.go.jp/policy/innovation_corp/cross_appointment.html)

- ・産学官連携による共同研究強化のためのガイドライン（平成 28 年 11 月 30 日 イノベーション促進産学官対話会議事務局）（特に「2.（4）（4-1）クロスアポイントメント制度の促進」）

(URL : https://www.mext.go.jp/a_menu/kagaku/taiwa/1380912.htm)

d. 研究開始時期

下記5.に記載の当事者間交渉ののち、各研究機関における卓越研究員としての研究開始時期は、原則として、令和2年度中とします。ただし、令和2年度に科学技術人材育成費補助金（以下「補助金」という。）による支援を受けることができる者は、原則として、令和2年9月末までに当事者間交渉が完了した場合に限ります。

e. 留意事項

- ・企業においては、上記 b. c. の要件について、その特性を踏まえて、任期や職位・職責等を設定することを可能とします。
- ・各研究機関は、本事業へのポスト提示と並行して、当該ポストについて独自に公募を行うことも可能ですが、申請者（若手研究者）の申請期限終了（令和2年4月23日（木）17時）までは、採用予定者の内定等を行わないように留意してください。

2. 申請者（若手研究者）の要件等

申請者（若手研究者）（以下「申請者」という。）は、産学官の多様な研究機関において活躍しようとする若手研究者のうち、以下の要件を満たす者とします。申請時において、以下の要件を全て満たしていることが必要です。

a. 学位取得等

次の①から④の要件を全て満たす者

- ① 博士の学位を取得した者又は博士課程に標準修業年限以上在学し、所定の単位を修得の上、退学した者（いわゆる「満期退学者」）
- ② 令和3年4月1日現在、40歳未満（ただし、臨床研修を課された医学系分野に在籍した者においては43歳未満）の者
なお、出産又は育児により、合計3か月以上の間、研究を中断した者（性別を問わない）については、個別の事情に応じ、1～2年程度、上記の年齢要件について配慮します。
※この場合、申請時に出産・育児により研究を中断した旨を申請書類に記入し、本事由を証明する書類を追加提出していただきます。IV. 1の「(カ) 出産・育児のため、3か月以上研究活動を中断した場合」を確認してください。
- ③ 直近5年間（2015年度以降）に研究実績（博士の学位を取得した者は、博士論文を含めてもよい）があること
- ④ これまで文部科学省から卓越研究員として決定されたことがない者

b. 国籍

次の①又は②のいずれかに該当する者

- ① 日本国籍を持つ者、又は我が国に永住を許可されている外国人
- ② 我が国と国交がある国の国籍を有する者（台湾及びパレスチナの研究者については、これに準じて取り扱う。）

c. 留意事項

- ・卓越研究員は、自ら研究テーマを設定し、研究室主宰者又はそれに準ずる形で研究を遂行することや、全国の産学官の研究機関をフィールドとして、新たな研究課題に挑戦することが求められるため、原則として、博士課程在学時に所属していた研究室（以下「出身研究室」という。）及び申請時に所属する研究室（以下「現所属研究室」という。）以外で研究を遂行する研究者を卓越研究員として決定することに留意してください。
- ・下記5.「当事者間交渉」に記載のとおり、候補者となった者は、ポストを提示した研究機関と当事者間交渉を行っていただきます。なお、文部科学省又は日本学術振興会は、候補者の決定後、当該候補者のリスト及び申請書情報（「研究者_様式1」及び「研究者_様式1別紙」）について、ポストを提示した全ての研究機関及び当事者間交渉支援機関（5.（2）参照。）に送付します。また、当事者間交渉支援機関には、「第一希望機関属性」も提供します。ついては、申請時に申請システム上で本事項を含め、公募要領等の内容に了解していただく必要があります。
また、申請段階においてポスト提示機関及び当事者間交渉支援機関へ申請書情報を提供することに同意した者については、申請後、候補者決定前にポスト提示機関及び当事者間交渉支援機関へ申請書情報を提供しますので、申請時に申請システム上で同意するかについて、それぞれ選択していただきます。
- ・令和元年度（2019年度）公募において、候補者に決定され、当該年度中にポストを提示した研究機関との当事者間交渉が完了しなかった者は、最長で令和3年度まで候補者資格の継続が可能です（平成30年度に候補者となり、令和元年度（2019年度）に候補者資格を継続した者は含みません。）。令和2年度にポストを提示した研究機関との当事者間交渉を行う意思がある場合は、候補者資格の継続を申請することで、令和2年度の当事者間交渉に参加することが可能となります。当該者は、IV. に記載の電子申請システムを通じて、申請者の申請期限（令和2年4月23日（木）17時）までに候補者資格の継続について申請してください。
なお、継続の申請がなされなかった場合は、令和3年度の当事者間交渉にも参加できませんので、令和3年度まで候補者資格の継続を希望する場合は、申請期限までに申請してください。

3. ポストの公開

各研究機関は、申請書に基づき、本事業の対象ポスト（複数可）を文部科学省に提示します。文部科学省において、上記1.に記載の要件への適合性の観点から確認を行い、その上で、文部科学省又は日本学術振興会のウェブサイトを通じて、当該要件を満たすポストを一覧化し、公開します。

各ポストに関する更に詳細な情報は、原則として日本語と英語の双方で、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）が運営するJREC-IN Portal (<https://jrecin.jst.go.jp/seek/SeekTop>) に登録するか、各研究機関のウェブサイト等において公開してください。その際、申請書（研究機関_様式2）の記載内容と、JREC-IN Portal や各研究機関のウェブサイトに掲載する情報に齟齬が生じないように十分留意してください。また、

JREC-IN Portal を活用することで、より多くの研究者にポストをアピールできることから、積極的な活用を推奨します。

ポストの提示は令和2年2月17日（月）を一次締切とし、提示されたポストについては、要件を確認後、2月下旬に公開します。その後、4月3日（金）を二次締切とし、4月中旬までに随時追加で公開します。ただし、申請者への早期の情報提供等の観点から、2月末までのポスト提示を推奨します。

また、令和2年度においては、ポスト提示期間の柔軟化の観点から、令和2年12月までの間、随時ポストの提示を受け付けます。なお、下記5.にも記載のとおり、透明・公平な選考プロセスとなるよう留意してください。

- ・ポスト公開日　：令和2年2月下旬（以降、随時公開）

- ・ポスト提示一次締切：令和2年2月17日（月）17時
二次締切：令和2年4月3日（金）17時
最終締切：令和2年12月14日（月）17時
（二次締切までに提示があったポストは、申請者の申請締切までに公開されます。ポストを提示した研究機関は、令和2年12月末までポスト情報の修正が可能です。）

4. 卓越研究員候補者の選考

申請者については、日本学術振興会に設置する「卓越研究員候補者選考委員会（以下「選考委員会」という。）」において候補者の選考のための審査を行います。審査は、申請者から提出された申請書（研究者_様式1（別紙を含む）及び研究者_様式2）に基づき、選考委員会における委員の書面審査により行います。（具体的な審査方法については、「令和2年度卓越研究員事業 審査要領」を参照してください。）

選考委員会における委員の審査結果を踏まえ、文部科学省が候補者を決定し、日本学術振興会が設置・運営する電子申請システムにより、本人に通知します。

5. 当事者間交渉

（1）当事者間交渉について

本事業では、ポストを提示した各研究機関と候補者又は申請者が個別に雇用について交渉を行う必要があります。当事者間交渉においては、候補者又は申請者本人が機関に連絡、訪問等すること、機関側が申請書情報等を確認し、候補者又は申請者に連絡をとること、どちらでも構いません。

各研究機関は、円滑な当事者間交渉のため、ポストごとの事前連絡の要否や、各研究機関における選考プロセスやスケジュール等の概要を、文部科学省に対するポスト提示時に登録します。ポストの公開後、各研究機関における選考プロセス・スケジ

ュール等の情報を更新することも可能です。

各研究機関は、公開したポスト情報（JREC-IN Portal や各研究機関のウェブサイトに掲載する情報含む。）で示す選考プロセスやスケジュール等に反して候補者や申請者からの連絡締切前に採用予定者を内定し、候補者や申請者からの希望を受け付けないということがないように、透明・公平な選考プロセスとしてください。また、当事者間交渉に当たっては、海外からの申請者が不利益を被ることのないよう、応募書類の提出に電子メールや JREC-IN Portal の「Web 応募機能」、面接の実施にテレビ会議システムやビデオ通話ツールを活用するなど、応募・面接のオンライン化を推奨します。

申請者は本事業の申請書類以外の書類の提出を研究機関から求められることがありますので、ポスト情報を確認ください。

なお、各研究機関における当事者間交渉の時期及び事前連絡が可能となる時期に関わらず、補助金の交付先を決定するのは、卓越研究員決定後となります。

（２）当事者間交渉支援機関について

令和２年度においては、産学官の研究機関をフィールドとして活躍できる優秀な若手研究者の発掘を促し、当事者間交渉がより一層円滑に進むよう、当事者間交渉支援機関（以下「ブリッジプロモーター」という。）による当事者間交渉支援の導入を予定しています。当事者間交渉支援は、文部科学省と委託契約を締結した機関が、ブリッジプロモーターとして実施します。当事者間交渉支援の詳細については、後日連絡します。

（３）当事者間交渉における事前連絡について

ポストの公開後であれば、候補者の決定前であっても、事前連絡を「要」とするポストについては、当事者間交渉を行うことが可能です。この場合、研究者は各ポストの定める期限までに機関に連絡を取ることが必要です。

（事前連絡における注意事項）

- ・候補者決定前から研究者と連絡を取り合い、内定者の選考を進める場合は、必ず公開するポスト情報において、事前連絡「要」とし、連絡の方法、期限を明示してください。
- ・各研究機関においては、申請者の申請期限（令和２年４月２３日（木））までは、採用予定者の内定等を行わないことに留意してください。
- ・事前連絡を必要とするポストから、事前連絡を不要とするポストに変更することは可能です。（ただし、事前連絡を不要とするポストから必要とするポストへの変更は、申請者にとって不利益が生じる可能性があるため、不可とします。）

（４）候補者リスト及び申請書情報の研究機関への提供について

当事者間交渉が円滑に進むよう、候補者決定後に、当該候補者のリスト及び申請書情報（「研究者_様式１」及び「研究者_様式１別紙」）について、ポストを提示した全

ての研究機関に送付します。また、申請段階において、ポスト提示機関へ申請書情報を提供することに同意した者及び候補者資格継続者については、申請後、候補者決定前にポスト提示機関へ当該申請書情報を提供します。

(5) 候補者リスト及び申請書情報の当事者間交渉支援機関への提供について

研究機関と候補者又は申請者との当事者間交渉支援の促進を図るため、同意のあった申請者及び候補者の申請書情報（「研究者_様式1」、「研究者_様式1別紙」及び第一希望機関属性）をブリッジプロモーターへ提供します。

6. 卓越研究員の決定及び予定数

(1) 卓越研究員の決定

候補者について、ポストを提示した研究機関と候補者間の当事者間交渉が、令和2年9月末までに完了し、令和2年度中に雇用が開始される場合、令和2年度の卓越研究員として、文部科学省が決定します。

また、令和2年度に公開されたポストについて、令和2年10月から令和3年3月末までに交渉が完了した候補者や、交渉の結果、令和3年度から雇用開始となった候補者についても、卓越研究員として決定し、補助金による支援対象となる可能性があります。

なお、卓越研究員として決定する者は、以下のやむを得ない事由を除き、出身研究室及び現所属研究室以外で研究を遂行する者であることを原則とします。

（やむを得ない事由）

- ・身体の障害、出産・育児等の理由により、出身研究室及び現所属研究室以外で研究に従事することが難しい場合
- ・研究目的・内容及び研究計画等から、研究に従事する研究室を出身研究室及び現所属研究室以外の研究室に変更することが我が国の研究機関における研究の現状において、極めて困難な場合

(2) 卓越研究員候補者資格の継続

令和2年度に新たに候補者に決定され、当該年度中に当事者間交渉が完了しなかった候補者については、翌年度以降も候補者資格の継続の申請をすることにより、候補者資格を令和4年度まで継続することができるものとし、令和3年度及び令和4年度に新たに公開されるポストについて、審査を経ずに、当該ポストを提示した研究機関と当事者間交渉を行うことを可能とします。

なお、令和3年度中に当事者間交渉が完了し、卓越研究員として決定された場合、翌年度の候補者資格の継続には申請できません。また、令和4年度まで候補者資格を継続するためには、令和3年度に候補者資格の継続の申請を行っている必要がありますので留意願います。

(3) 卓越研究員の予定人数

令和2年度は、55名程度を卓越研究員として新たに決定する予定です。

なお、この予定人数は補助金による支援人数であり、上記2. c. の候補者資格継続者が当事者間交渉を完了した場合も含めた人数となります。

7. 支援内容

(1) 補助対象となる経費

本事業により、卓越研究員に決定した若手研究者を採用する研究機関に対して、支援を希望する場合に、日本学術振興会から、以下の【A】又は【B】のいずれかを補助金として交付します。

研究機関との当事者間交渉を完了した若手研究者が、上記6. (3)に記載の予定人数を超過する場合等、各研究機関が申請した補助金額（令和3年度以降を含む）を支援できない可能性がありますので、あらかじめ御承知おきください。

使用できる経費の種類は、原則として、別表-1から別表-3に示すものとします。

なお、特定の研究機関に対する支援の過度な集中を排除する観点から、令和2年度から支援を開始する卓越研究員に係る一研究機関当たりの補助金総額の上限は1億円とします。

【A】研究費及び研究環境整備費

卓越研究員に決定した若手研究者が安定かつ自立して研究を遂行するための経費として以下のa及びbを補助金として交付します。

a. 卓越研究員の研究費

卓越研究員の研究活動に係るスタートアップに要する研究費として、卓越研究員の決定後1～2年度目（翌年度に雇用開始となり、補助金による支援対象となった場合は2～3年度目）に限り、卓越研究員一人当たり2年間で1,200万円を上限として支援します。2年間の配分は自由としますが、年間800万円を上限とします。なお、人文学及び社会科学については、2年間で800万円を上限として支援し、年間500万円を上限とします。

b. 研究環境整備費

卓越研究員を中心とした若手研究者（学生は含まない。）が安定かつ自立して研究を遂行する体制を構築するため、研究環境整備費（例えば、リサーチ・アシスタントや卓越研究員の研究時間を確保するために講義を代替する非常勤講師の雇用、メンターへの諸謝金、共同利用の研究機器等の購入・修理、卓越研究員の評価を行うための会議開催などに要する経費）として、卓越研究員の決定後1～5年度目に、200万円に各研究機関に在籍する（1年度目においては当該年度に決定した）卓越研究員の数を乗じた額を上限として支援します。

また、以下の条件に該当する場合は、卓越研究員の決定後1～2年度目に限り、支援上限の優遇又は追加支援を行います。

- ①申請者の申請期限（令和2年4月23日（木）。候補者資格継続の申請者も同日。）の時点において、直近1年以上日本国外の研究機関に所属していた卓越研究員を採用した場合には、300万円を上限に支援。
- ②企業及び大学間等異なる機関種間でクロスアポイントメントにより卓越研究員を採用した場合には、400万円を上限に支援。
- ③令和2年度に卓越研究員の採用を決定した機関が、令和2年度に公開したポストに候補者以外の上記2. a. 及びb. の要件に合致する若手研究者（申請者以外も含む。）を採用した場合であって、当該機関が、博士課程在学時に所属していた研究機関及び採用直前の所属研究機関でない場合、当該若手研究者の採用後1～2年度目に限り、100万円に『各年度に所属する当該若手研究者の数』と『令和2年度に採用され、各年度に在籍する（1年度目においては当該年度に決定した）卓越研究員の数』のいずれか小さい方を乗じた額を上限に追加支援。原則として、9月末時点において本要件を満たした場合に、当該時点の予算の状況に応じて、本要件における追加支援を行うこととします。

研究環境整備費の支援額一覧（金額はいずれも一人当たりの上限。）

	1～2年度目	3～5年度目
卓越研究員（①及び②を除く）	200万円	
国外機関からの採用（①）	300万円	200万円
クロスアポイントメントによる採用（②）	400万円	200万円
若手研究者の採用（③）	100万円	-

卓越研究員及び上記③の若手研究者が当該ポストから異動した場合には、その翌年度から、当初の研究機関及び異動先の研究機関のいずれに対しても、上記の支援は行わないこととします。ただし、令和3年度以降に本事業において新たに公開されるポストへ卓越研究員が異動した場合には、異動先の研究機関に対して、その翌年度から、補助金による支援を引き続いて行うことがあります。

なお、卓越研究員の研究費から研究環境整備費への流用はできません。研究環境整備費から卓越研究員の研究費への流用は禁止しませんが、卓越研究員の研究費の年間上限額（年間800万円。人文学及び社会科学については、年間500万円。）を超えて流用することはできません。また、卓越研究員の研究費と研究環境整備費を合算使用することはできません。

【B】産学連携活動費 ※企業のみ選択可能

企業において、卓越研究員に決定した若手研究者が、安定かつ自立した研究環境を得るとともに、大学、大学共同利用機関、高等専門学校及び国立研究開発法人（以下「大学等」という。）との共同研究又は受託研究（以下「共同研究等」という。）に参画する場合に、産学連携活動費を補助金として交付します。

大学等との共同研究等に卓越研究員が参画する場合、卓越研究員の決定後1～5年

度目に、その共同研究等に係る契約に基づき、企業が負担する産学連携活動費の1/2を上限に各年度1,000万円まで支援します。(例：大学との共同研究において、卓越研究員が参画し、企業が500万円を負担する契約を締結した場合、産学連携活動費として250万円を支援。)

なお、共同研究等の開始が卓越研究員の決定後2年度目となる場合、1年度目は上記【A】bの研究環境整備費200万円のみ支援します。

※企業の提示するポストが【A】の補助金対象であるか【B】の補助金対象であるかは、原則として、ポスト提示時点のポスト情報の記載項目(研究機関_様式2)にて設定します。

卓越研究員が当該ポストから異動した場合には、その翌年度から、上記の支援は行わないこととします。ただし、令和3年度以降に本事業において新たに公開されるポストへ卓越研究員が異動した場合には、異動先の研究機関に対して、その翌年度から、補助金による支援を引き続いて行うことがあります。

なお、【A】の卓越研究員の研究費及び研究環境整備費との流用はできません。また、同じく卓越研究員の研究費及び研究環境整備費と合算使用することはできません。

(2) 重複支援の排除

本事業以外の科学技術人材育成費補助事業(世界で活躍できる研究者戦略育成事業等)による支援を受けている研究機関においては、同一の研究者に対して、本事業による研究費等との重複支援を行うことはできないことに留意してください。

8. 申請から補助金交付までのスケジュール等

(1) 研究機関

令和2年2月17日	ポスト提示一次締切【Ⅱ.3.参照】
2月下旬	ポストの公開(以降、随時公開)【Ⅱ.3.参照】
4月3日	ポスト提示二次締切【Ⅱ.3.参照】
5月下旬	申請書情報、候補者資格継続者情報の送付【Ⅱ.5.(4)参照】
7月上旬	候補者リストの送付【Ⅱ.5.(4)参照】
7月上旬～	当事者間交渉【Ⅱ.5.参照】
	※候補者の決定前であってもポスト公開以降は各研究機関と申請者及び候補者資格継続者は事前連絡や当事者間交渉を行うことが可能です。
8月下旬	当事者間交渉完了報告書の提出(中間)(予定)【Ⅲ.2.参照】
	※候補者数等によっては、8月下旬を目処に、当事者間交渉完了報告書が提出された者について、卓越研究員に決定することがあります。
9月30日	当事者間交渉完了報告書の提出締切【Ⅲ.2.参照】
10月以降	卓越研究員としての研究活動開始
	※8月下旬以降9月30日以前に卓越研究員を決定し、その時点から卓越

研究員として研究活動開始となる場合があります。

(2) 申請者（若手研究者）

- 2月下旬～ ポスト公開【Ⅱ. 3. 参照】
- 3月23日 申請開始【Ⅳ. 1. 参照】
- 4月23日 申請締切【Ⅳ. 1. 参照】
- 5月～6月 候補者選考に係る審査【Ⅱ. 4. 参照】
- 7月上旬 候補者としての採否通知【Ⅳ. 2. 参照】
- 7月上旬～ 当事者間交渉【Ⅱ. 5. 参照】

※候補者の決定前であってもポスト公開以降は各研究機関と申請者及び候補者資格継続者は事前連絡や当事者間交渉を行うことが可能です。また、事前連絡を必要とするポストについては、研究者は期限までに機関に連絡を取ることが必要です。

- 10月以降 卓越研究員としての研究活動開始

※8月下旬以降9月30日以前に卓越研究員を決定し、その時点から卓越研究員として研究活動開始となる場合があります。

Ⅲ. 研究機関の手続等

1. 申請書類の作成・申請方法等

本事業への申請方法の詳細は、日本学術振興会のウェブサイトにおける「卓越研究員事業」の「公募情報（研究機関向け）」を参照してください。

URL：https://www.jspss.go.jp/j-le/koubo_kenkyu_kikan.html

(ア) 申請書類

別添の申請書（研究機関_様式1・2）に記載する事項について、必要事項を入力して提出してください。

「研究機関_様式1」は、研究機関の基本情報を入力していただく様式です。機関全体として1回作成してください。「研究機関_様式2」は、ポストに関する詳細情報を入力していただく様式ですので、提示するポストごとに作成してください。※補助金の支援を希望する研究機関においては、本申請書とは別に、「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン（実施基準）」に基づく「体制整備等自己評価チェックリスト」及び「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」に基づく取組状況に係るチェックリスト」を文部科学省に提出することが必要になります。（詳細は、V.（3）及び（7）を参照してください。）

(イ) 申請期間

申請受付開始：令和2年1月31日（金）から
ポスト提示一次締切：令和2年2月17日（月）17時
二次締切：令和2年4月3日（金）17時
最終締切：令和2年12月14日（月）17時
（令和2年2月17日（月）までに提示されたポストは2月下旬に公開し、以降、随時公開。なお、申請開始日は変更になる可能性があります。）

（ウ）提出方法

日本学術振興会のウェブサイトから所定の様式をダウンロードし、申請書の作成・提出を行ってください。様式はExcelファイルの形式でパスワードを付したうえ、電子メールにて提出してください。郵送・持参・FAXによる申請書類の提出は受け付けません。

- ・送信メールの件名は、「【卓越研究員事業申請】機関名」とすること。
- ・添付ファイル名には、「機関名」を付した上で送信すること。
- ・複数のポスト提示を行う場合には、「研究機関_様式2」の提出用シートをコピーして、1つのファイルにまとめること。
- ・メール到着後、翌日中（土日祝日を除く）に受領通知を送信者に対して電子メールで返信するが、電子メール送付から一両日中（土日祝日を除く）に受領通知が届かない場合には、速やかに連絡すること。

（エ）提出先

独立行政法人日本学術振興会 研究者養成課 卓越研究員第一係
E-mail：takuken@jsps.go.jp

なお、電子申請システムを通じた受付の開始時期、ID・パスワードの取得及び申請書作成の詳細は、別途、日本学術振興会のウェブサイトにおける「卓越研究員事業」の「公募情報（研究機関向け）」に掲載予定です。

URL：https://www.jsps.go.jp/j-le/koubo_kenkyu_kikan.html

※電子申請システムを使用するには、日本学術振興会のウェブサイトから「ID・パスワードの発行申請」を行った上で、取得したID・パスワードを用いて電子申請システムにログインし、申請書の作成・提出を行います。

（オ）その他

- ・文部科学省又は日本学術振興会のウェブサイトを通じて、各研究機関から提示されたポストのうち、Ⅱ. 1の要件を満たすものを一覧化し、公開します。
- ・「研究機関_様式2」に記載する事項については、ポストの公開後、速やかにJSTが運営するJREC-IN Portal (<https://jrecin.jst.go.jp/seek/SeekTop>) 又は各研究機関のウェブサイト等を通じて公開してください。なお、JREC-IN Portalへの登録に当たっては、参考2に従って入力してください。その際、申請書（研究機関_様式2）の記載内容と、JREC-IN Portalや各研究機関のウエ

- ウェブサイトに掲載する情報に齟齬が生じないよう十分留意してください。
- ・申請者のうち、申請段階においてポストを提示した機関へ申請書情報を提供することに同意した者の情報については、申請後、候補者決定前に提供します。

2. 当事者間交渉完了の報告

ポストを提示した研究機関と候補者との間で当事者間交渉が完了した場合、当該機関は、以下に従って必要書類を提出してください。

(ア) 提出書類

当事者間交渉完了報告書（研究機関_様式3）に必要事項を記入して提出してください。このとき、事前に採用予定者からの「同意書」（研究機関_様式4）の写し（原本は各機関において保管）及び「誓約書」（研究機関_様式5）を併せて提出してください。

また、提出に当たり、下記に該当する場合は、当事者間交渉完了報告書と併せて各確認書類を提出してください。

	確認書類
I. 直近1年以上日本国外の研究機関に所属していた者を採用する場合	研究機関_様式6
II. 異なる機関種間でのクロスアポイントメントにより採用する場合	クロスアポイントメントによる採用を確認できる書類
III. 卓越研究員の採用を決定した機関が、令和2年度に提示したポストに候補者以外の若手研究者を採用する場合	研究機関_様式7

※詳細は研究機関_様式3の【条件】を確認してください。

なお、研究機関が当事者間交渉完了報告書を提出した後、当該採用予定者が採用を辞退した場合は、当該採用予定者本人からの「辞退届」（研究機関_様式8）を取得し、その写し（原本は各機関において保管）を速やかに提出してください。

この場合、当該ポストでの採用を自ら辞退した候補者は、卓越研究員になることを辞退したものとみなし、その後、本事業で公開されている他のポストで当事者間交渉を完了した場合であっても卓越研究員になることはできません。

(イ) 提出期間

令和2年7月17日（金）から同年9月30日（水）17時まで（※期限厳守）

※候補者の決定時期によっては、提出期間の開始日を変更する可能性があります。また、「研究機関_様式3」の提出件数によっては、令和2年9月30日（水）以前に、その時点までに提出された「研究機関_様式3」に基づき、卓越研究員を決定する

ことがあります。

なお、令和2年10月から令和3年3月末までに研究機関と候補者との間で交渉が完了した場合も、その都度、提出書類（研究機関_様式3）について、必要事項を記入して提出してください。この場合、予算の状況により、令和2年度から又は令和3年度以降2年度目から、補助金による支援を実施する可能性があります。

（ウ）提出方法

提出書類は、PDFファイルに変換した上で、電子メールにて提出してください。電子メールによる提出が困難な場合は、文部科学省まで相談してください。

- ・送信メールの件名は、「【卓越研究員決定】機関名」とすること。
- ・添付ファイル名には、「機関名」を付した上で、送信すること。
- ・メール到着後、翌日中（土日祝日を除く）に受領通知を送信者に対して電子メールで返信するが、電子メール送付から一両日中（土日祝日を除く）に受領通知が届かない場合には、速やかに連絡すること。

なお、「研究機関_様式5」については、併せて原本を郵送にて提出してください。

（エ）提出先

〒100-8959 東京都千代田区霞が関 3-2-2
文部科学省 科学技術・学術政策局 人材政策課
人材政策推進室 基礎人材推進第一係
E-Mail : takuetsu@mext. go. jp

3. 補助金の交付申請

- （1）当事者間交渉を経て、候補者を受け入れることが確定した研究機関のうち、補助金の支援を希望する研究機関（以下「支援機関」という。）は、交付申請書類及び当事者間交渉完了報告書に即した年次計画及びこれに対応した経費の積算（以下「計画書等」という。）を作成し、日本学術振興会に提出してください。詳細は、後日連絡します。
- （2）補助金の交付等については、別に定める補助金の交付要綱等に基づき行います。

4. 調査及びアンケート

我が国の科学技術イノベーションに資する人材育成の推進や卓越研究員事業の充実等を図るため、文部科学省又は日本学術振興会から卓越研究員採用機関に対して、卓越研究員の決定年度及びその後の10年程度の間、卓越研究員の研究活動状況等について調査を行いますので、御協力願います。また、本事業に申請した研究機関にも、アンケート調査を行う予定ですので、御協力願います。

IV. 申請者（若手研究者）の手続等

1. 申請書類の作成・申請方法等

本事業への申請は、日本学術振興会が設置・運営する電子申請システムを通じて行ってください。詳細は、日本学術振興会ウェブサイトにおける「卓越研究員事業」の「公募情報（研究者向け）」を参照してください。

URL：https://www.jspss.go.jp/j-le/koubo_kenkyu.html

(ア) 申請書類

別添の申請書（研究者_様式1（別紙を含む）及び研究者_様式2）について、電子申請システム上で入力又は所定の様式をダウンロードして作成の上、提出してください。

a. 研究者_様式1（別紙を含む）

電子申請システムに必要事項を入力して提出してください。別紙については所定の様式をダウンロードし、作成後、電子申請システムに登録してください。

b. 研究者_様式2

所定の様式をダウンロードし、作成後、電子申請システムに登録してください。

※令和元年度（2019年度）に候補者に決定した者のうち、令和2年度に候補者資格の継続申請をする者について

候補者資格の継続の申請では、2019年度に登録済みの「研究者_様式1」、「研究者_様式1別紙」の内容を電子申請システム上で確認・更新する必要があります。「研究者_様式2」は前年度登録済み情報から変更できませんので、登録不要です。それぞれの申請書類について、電子システム上で入力又は所定の様式をダウンロードして作成の上、登録してください。

(イ) 申請期間

令和2年3月23日（月）10時から同年4月23日（木）17時まで（期限厳守）

なお、申請開始日（3月23日）は、変更になる可能性があります。

(ウ) 提出方法・提出先

電子申請システムを使用するには、日本学術振興会が設置・運営する電子申請システムを通じて「ID・パスワード発行申請」を行った上で、取得したID・パスワードを用いて電子申請システムにログインし、申請書の作成・提出を行ってください。ID・パスワードの取得及び申請書作成の詳細は日本学術振興会ウェブサイトに掲載しますので参照してください。

なお、候補者資格の継続申請を行う場合は、システムを利用するためのIDを新たに取得せず、候補者決定時のIDにて、ログインしてください。新たにIDを取得し申請を行った場合は、令和2年度公募に改めて申請した扱いになり、候補者

資格の継続はできません。詳細は日本学術振興会ウェブサイトを参照してください。

(エ) 申請書類及び選考についての注意事項

申請書類に虚偽が発見された場合は、卓越研究員に決定後であっても、決定を取り消し、支援を打ち切ることがあります。

(オ) その他

- ・提出期限間際はシステム負荷が大きく、申請に時間がかかる、完了できない等のトラブルが発生する場合がありますので、十分に時間的余裕を持って、申請を完了してください。
- ・電子申請システムにおいて、申請手続は上記（ア）a. b. 全てが揃った状態で完了となります。
- ・申請書類に記入された情報の一部（研究者_様式1及び研究者_様式1別紙）は、候補者に決定された場合にポストを提示した全ての研究機関に開示します。
- ・申請段階においてポスト提示機関へ申請書情報を提供することに同意した者については、申請後、候補者決定前にポスト提示機関へ申請書情報を提供しますので、申請時に申請システム上で同意するかについて選択していただきます。
- ・候補者に決定された者に対して、後日、本人確認のための書類（免許証の写し等）や学位取得等に係る要件を確認できる書類（学位記の写し等）の提出を求めることがあります。詳細については、別途連絡します。
- ・本事業への申請について、日本語又は英語以外の言語を使用しての申請書類の作成を行うことはできません。
- ・申請書をカラーで作成すること、画像や図表を挿入することも可能ですが、審査等の際には白黒コピーで対応するため、白黒でも内容が判読できるようにしてください。また、様式1別紙は1MB、様式2は3MBが上限となっておりますのでご注意ください。
- ・「研究者_様式1別紙」及び「研究者_様式2」については、文字数や行数を変更することは可能ですが、レイアウトの変更、特に列幅や記載項目の順番の変更、記載項目の説明枠の削除は行わないでください。
- ・申請書の差し替えや修正は認められませんので、申請書に不備がないか、提出前に十分確認願います。候補者決定後に申請時の内容が進展している場合でも、申請書類を差し替えることはできません。

(カ) 出産・育児のため、3か月以上研究活動を中断した場合

Ⅱ. 2に記載の申請要件 a. ②に基づき、出産又は育児により研究を中断した者として申請する場合、電子申請システムでの申請時に「研究者_様式1」に研究を中断した旨を記入するとともに、下記の出産・育児の事由を証明する書類を郵送にて提出してください。（令和3年4月1日現在、40歳未満（臨床研修を課された医学系分野に在籍した者においては43歳未満）の者は、提出する必要はありません。

日本国外に居住し、書類の郵送が困難な場合は、日本学術振興会まで相談してください。)

<提出書類>

住民票(マイナンバー記載のないもの)又は戸籍謄本(又は抄本)(申請者と子、それぞれの氏名と生年月日が記載された証明書類)の原本を提出してください。なお、住民票又は戸籍謄本(又は抄本)により出産・育児の事由が確認できない場合は、これに加え、診断書等の書類を提出いただく場合があります。

<郵送先>

〒102-0083 東京都千代田区麴町 5-3-1

独立行政法人日本学術振興会 研究者養成課 卓越研究員第一係

※郵送にあたっては封筒に「卓越研究員事業申請書類在中」と朱書きしてください。

※提出物の配達遅延、紛失等については、原則、考慮しませんので、特定記録郵便等、必要に応じて、到着が確認可能な提出方法としてください。到着確認に関する問い合わせには、対応しませんので、御承知おきます。

<提出期限>

令和2年5月7日(木) 17時(必着)

電子申請システムでの申請時における、「研究者_様式1」の作成方法の詳細については、日本学術振興会ウェブサイトに掲載しますので、参照してください。

なお、申請内容に誤りがあり、Ⅱ. 2. a. ②に記載の年齢要件を満たさないことが判明した場合、卓越研究員に決定後であっても、当該決定を取り消すことがあります。

2. 卓越研究員候補者の選考及び結果の開示

候補者の選考のための審査は、日本学術振興会に設置する選考委員会において書面審査により行います。(具体的な審査方法については、「令和2年度卓越研究員事業 審査要領」を参照してください。)

選考委員会における委員の審査結果を踏まえ、文部科学省が候補者を決定し、7月上旬(予定)に電子申請システムを通じて本人に通知します。

なお、候補者が、卓越研究員候補者を辞退し、当事者間交渉を行う意思のない場合は、「卓越研究員候補者の辞退について」(研究者_様式3)にて、候補者を辞退する旨を文部科学省に届け出る必要がありますので、Ⅲ. 2. (エ)に記載の提出先まで郵送してください。

3. 調査及びアンケート

我が国の科学技術イノベーションに資する人材育成の推進や卓越研究員事業の充実

等を図るため、文部科学省又は日本学術振興会から卓越研究員本人に対して、卓越研究員の決定年度及びその後の10年程度の間、卓越研究員の研究活動状況等について調査を行いますので、御協力願います。また、本事業に申請した研究者にも、アンケート調査を行う予定ですので、御協力願います。

V. 留意事項

支援機関及び当該機関に雇用された卓越研究員においては、以下の(1)から(17)までの事項について、留意してください。また、その他の研究機関及び申請者においても、以下の(15)から(17)の事項について、留意してください。

(1) 事業の遂行及び管理

本補助金は、「補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律」、「補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律施行令」及び日本学術振興会が定める「科学技術人材育成費補助金（卓越研究員事業）取扱要領」等に基づいた適切な経理等を行わなければなりません。

本補助金の経理については、他の経理と明確に区分し、その収入及び支出の内容を記載した帳簿を備え、その収入及び支出に関する証拠書類を整理し、並びにこれらの帳簿及び書類は当該全事業完了の年度の翌年度から5年間保存してください。

なお、設備備品等を購入した場合は、それらが国から交付された補助金により購入されたものであることを踏まえ、補助の期間内のみならず、補助の終了後においても、善良な管理者の注意をもって管理し、補助金交付の目的に従って、その効率的運用を図るようにしてください。

(2) 「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン（実施基準）」に基づく体制整備について

本事業の申請、研究実施等に当たり、研究機関は、「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン（実施基準）」（平成26年2月18日改正）*の内容について遵守する必要があります。

研究機関においては、標記ガイドラインに基づいて、各研究機関の責任の下、研究費の管理・監査体制の整備を行い、研究費の適切な執行に努めるよう、お願いします。

標記ガイドラインに基づく体制整備状況の調査の結果、文部科学省が研究機関の体制整備等の状況について不備を認める場合、当該機関に対し、文部科学省及び文部科学省が所管する独立行政法人から配分される全ての競争的資金の間接経費削減等の措置を行うことがあります。

*「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン（実施基準）」については、以下のウェブサイトを参照してください。

【URL】 https://www.mext.go.jp/a_menu/kansa/houkoku/1343904.htm

(3) 「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン(実施基準)」に基づく「体制整備等自己評価チェックリスト」の提出について

本事業の申請に当たり、各研究機関では標記ガイドラインに基づく研究費の管理・監査体制を整備すること、及びその状況等についての報告書である「体制整備等自己評価チェックリスト」(以下「チェックリスト」という。)を提出することが必要です。

(チェックリストの提出がない場合の申請は認められません。)

このため、下記ウェブサイトの様式に基づいて、令和2年3月23日(月)までに、研究機関から文部科学省研究振興局振興企画課競争的資金調整室に、府省共通研究開発管理システム(e-Rad)を利用して、チェックリストが提出されていることが必要です。ただし、平成31年4月以降、別途の機会でチェックリストを提出している場合は、今回新たに提出する必要はありません。また、日本学術振興会から補助金の交付を受けない機関については、提出は不要です。チェックリストの提出方法の詳細については、下記の文部科学省ウェブサイトを確認してください。

なお、2月下旬にポストを公開した研究機関においても、上記期日までにチェックリストの提出が確認できない場合、公開を取り消し、本事業への参画を認めないことがありますので、充分注意してください。

また、標記ガイドラインにおいて「情報発信・共有化の推進」の観点を盛り込んでいるため、本チェックリストについても研究機関のウェブサイト等に掲載し、積極的な情報発信を行っていただくよう、お願いします。

【URL】 https://www.mext.go.jp/a_menu/kansa/houkoku/1301688.htm

※注意：提出には、e-Radを利用可能な環境が整っていることが必須となります。登録には通常2週間程度を要しますので十分注意してください。e-Rad利用に係る手続の詳細については、下記ウェブサイトを確認してください。

【URL】 <https://www.e-rad.go.jp/organ/index.html>

(4) 不正使用及び不正受給への対応

本事業に関する研究費の不正な使用及び不正な受給(以下「不正使用等」という。)については、以下のとおり厳格に対応します。

○研究費の不正使用等が認められた場合の措置

(i) 契約の解除等の措置

不正使用等が認められた課題について、補助金の交付決定の取消し・変更を行い、補助金の全部又は一部の返還を求めます。また、次年度以降の補助金の交付決定をしないことがあります。

(ii) 申請及び参加^{※1}の制限等の措置

本事業の研究費の不正使用等を行った研究者(共謀した研究者も含む。(以下「不正使用等を行った研究者」という。))や、不正使用等に関与したとまでは認定されなかったものの、善管注意義務に違反した研究者^{※2}に対し、不正の程度に応じて、下記の表のとおり、本事業並びに日本学術振興会が交付する全ての競争的資

金、研究奨励金及び委託費等事業への申請及び参加の制限措置、若しくは厳重注意措置をとります。

また、他府省及び他府省所管の独立行政法人を含む他の競争的資金等の担当に当該不正使用等の概要（不正使用等を行った研究者の氏名、事業名、所属機関、研究課題、予算額、研究年度、不正等の内容、講じられた措置の内容等）を提供する場合があります。

※1「申請及び参加」とは、新規課題の提案、応募、申請を行うこと、共同研究者等として新たに研究に参加すること、進行中の研究課題（継続課題）への研究代表者又は共同研究者等として参加することを指す。

※2「善管注意義務に違反した研究者」とは、不正使用又は不正受給に関与したとまでは認定されなかったものの、善良な管理者の注意をもって事業を行うべき義務に違反した研究者のことを指す。

措置の対象者	不正使用の程度		交付しない期間
I. 不正使用を行った研究者及びそれに共謀した研究者	1. 個人の利益を得るための私的流用		10年
II. 不正使用を行った研究者及びそれに共謀した研究者	2. 1. 以外	① 社会への影響が大きく、行為の悪質性も高いと判断されるもの	5年
		② ①及び③以外のもの	2～4年
		③ 社会への影響が小さく、行為の悪質性も低いと判断されるもの	1年
III. 偽りその他不正の手段により研究資金の交付を受けた研究者及びそれに共謀した研究者	—		5年
IV. 不正使用に直接関与していないが善管注意義務に違反して使用を行った研究者	—		善管注意義務を有する研究者の義務違反の程度に応じ、上限2年、下限1年

なお、以下に該当すると判断された者に対しては、「厳重注意」の措置を講ずる。

(1) 上記IIのうち、社会への影響が小さく、行為の悪質性も低いと判断され、かつ不正使用額が少額な場合。

(2) 上記IVのうち、社会への影響が小さく、行為の悪質性も低いと判断された場合。

(出典：独立行政法人日本学術振興会規程第19号「研究活動の不正行為及び研究資金の不正使用等への対応に関する規程」別表2（第16条第1項第4号不正使用等関係））

(iii) 不正事案の公表について

本事業において、研究費の不正使用等を行った研究者や、善管注意義務に違反した研究者のうち、本事業への申請及び参加が制限された研究者については、当該不正事案の概要（事業名、所属機関、研究年度、不正の内容、講じられた措置の内容）について、文部科学省及び日本学術振興会において原則公表することとします。

また、「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン（実施基準）」においては、調査の結果、不正を認定した場合、研究機関は速やかに調査結果を公表することとされていますので、各機関においては同ガイドラインを踏まえて適切に対応してください。

【URL】 https://www.mext.go.jp/a_menu/kansa/houkoku/1364929.htm

(5) 競争的資金制度及び他の科学技術人材育成費補助事業等で申請及び参加の制限が行われた研究者に対する措置

国又は独立行政法人が所管している競争的資金制度等^{*}、他の科学技術人材育成費補助事業及び日本学術振興会が研究資金を交付する事業において、研究費の不正使用等により制限が行われた研究者については、競争的資金制度等、他の科学技術人材育成費補助事業及び日本学術振興会が研究資金を交付する事業において応募資格が制限されている期間中、本事業への申請及び参加を制限します。

競争的資金制度等及び他の科学技術人材育成費補助事業について、令和2年度以降に新たに公募を開始する制度も含まれます。なお、令和元年度以前に終了した制度においても対象となります。

※現在、具体的に対象となる制度につきましては、以下ウェブサイトを確認してください。

【URL】 <https://www8.cao.go.jp/cstp/compefund/>（競争的資金制度）

提案公募型研究資金制度については、近日公開予定

(6) 「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」に基づく体制整備について

研究機関は、本事業への申請及び研究活動の実施に当たり、「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」（平成26年8月26日文部科学大臣決定、以下「ガイドライン」という。）^{*}を遵守することが求められます。

ガイドラインに基づく体制整備状況の調査等に基づき、文部科学省が機関における体制の未整備、規程の未整備、研究倫理教育の未実施等の不備を認める場合、当該機関に対し、文部科学省及び文部科学省が所管する独立行政法人から配分される全ての競争的資金の間接経費削減等の措置を行うことがあります。

※「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」については、以下の文部科学省ウェブサイトを参照してください。

【URL】 https://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/26/08/1351568.htm

(7) 「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」に基づく取組状況に係るチェックリストの提出について

本事業の申請に当たり、各研究機関は、「「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」に基づく取組状況に係るチェックリスト」（以下「研究不正行為チェックリスト」という。）を提出することが必要です。（研究不正行為チェックリストの提出がない場合の申請は認められません。）

このため、下記ウェブサイトの様式に基づいて、令和2年3月23日（月）までに、研究機関から文部科学省科学技術・学術政策局人材政策課研究公正推進室に、府省共通研究開発管理システム（e-Rad）を利用して、研究不正行為チェックリストが提出されていることが必要です。ただし、平成31年4月以降、別途の機会の研究不正行為チェックリストを提出している場合は、今回新たに提出する必要はありません。また、日本学術振興会から補助金の交付を受けない機関については、提出は不要です。

なお、2月下旬にポストを公開した研究機関においても、上記期日までに研究不正行為チェックリストの提出が確認できない場合、公開を取り消し、本事業への参画を認めないことがありますので、充分注意してください。

研究不正行為チェックリストの提出方法の詳細については、下記文部科学省ウェブサイトを確認してください。

【URL】 https://www.mext.go.jp/a_menu/jinzai/fusei/1374697.htm

※注意：提出には、e-Radの利用可能な環境が整っていることが必須となります。登録には通常2週間程度を要しますので、十分に注意してください。e-Rad利用に係る手続の詳細については、下記ウェブサイトを確認してください。

【URL】 <https://www.e-rad.go.jp/organ/index.html>

(8) 研究活動における不正行為に対する措置

本事業において、研究活動における不正行為があった場合、ガイドラインに基づき、以下のとおり厳格に対応します。

○研究活動における不正行為が認められた場合の措置

(i) 契約の解除等の措置

本事業の研究課題において、研究活動における特定不正行為（捏造、改ざん、盗用）が認められた場合、事案に応じて補助金の交付決定の取消し・変更を行い、補助金の全部又は一部の返還を求めます。また、翌年度以降の契約についても締結しないことがあります。

(ii) 申請及び参加資格の制限等の措置

本事業による研究論文・報告書等において、特定不正行為に関与した者や、関与したとまでは認定されなかったものの当該論文・報告書等の責任者としての注意義務を怠ったこと等により、一定の責任があると認定された者に対し、特定不正行為の悪質

性等や責任の程度により、下記の表のとおり、本事業並びに日本学術振興会が交付する全ての競争的資金、研究奨励金及び委託費等事業への申請及び参加資格の制限措置を講じます。

また、申請及び参加資格の制限措置を講じた場合、文部科学省及び文部科学省所管の独立行政法人が配分する競争的資金制度等（以下「文部科学省関連の競争的資金制度等」という。）の担当、他府省及び他府省所管の独立行政法人が配分する競争的資金制度（以下「他府省関連の競争的資金制度」という。）の担当に情報提供することにより、文部科学省関連の競争的資金制度等及び他府省関連の競争的資金制度において、同様に、申請及び参加資格が制限される場合があります。

措置の対象者		特定不正行為の程度	交付しない期間	
特定不正行為に関与した者	1. 研究の当初から特定不正行為を行うことを意図していた場合など、特に悪質な者		10年	
	2. 特定不正行為があった研究に係る論文等の著者	当該論文等の責任を負う著者（監修責任者、代表執筆者又はこれらの者と同等の責任を負うと認定された者）	当該分野の研究の進展への影響や社会的影響が大きく、又は行為の悪質性が高いと判断されるもの	5～7年
			当該分野の研究の進展への影響や社会的影響が小さく、又は行為の悪質性が低いと判断されるもの	3～5年
		上記以外の著者		2～3年
	3. 1. 及び2. を除く特定不正行為に関与した者		2～3年	
特定不正行為に関与していないものの、特定不正行為があった研究に係る論文等の責任者としての注意義務を怠ったこと等により、当該論文等の内容について一定の責任を負う著者（監修責任者、代表執筆者又はこれらの者と同等の責任を負うと認定された者）		当該分野の研究の進展への影響や社会的影響が大きく、又は行為の悪質性が高いと判断されるもの	2～3年	
		当該分野の研究の進展への影響や社会的影響が小さく、又は行為の悪質性が低いと判断されるもの	1～2年	

（出典：独立行政法人日本学術振興会規程第19号「研究活動の不正行為及び研究資金の不正使用等への対応に関する規程」別表1（第16条第1項第4号特定不正行為関係））

(iii) 他の競争的資金制度等及び基盤的経費で申請及び参加資格の制限が行われた研究者に対する措置

本事業以外の文部科学省関連の競争的資金制度等や国立大学法人、大学共同利用機関法人及び文部科学省所管の独立行政法人に対する運営費交付金、私学助成金等の基盤的経費、他府省関連の競争的資金制度による研究活動の特定不正行為により申請及び参加資格の制限が行われた研究者については、その期間中、本事業への申請及び参加資格を制限します。

(iv) 不正事案の公表について

本事業において、研究活動における不正行為があった場合、当該事案の内容（不正事案名、不正行為の種別、不正事案の研究分野、不正行為が行われた経費名称、不正事案の概要、研究機関が行った措置、配分機関が行った措置等）について、文部科学省及び日本学術振興会において原則公表します。

また、ガイドラインにおいては、調査の結果、不正を認定した場合、研究機関は速やかに調査結果を公表することとされていますので、各機関において適切に対応してください。

【URL】 https://www.mext.go.jp/a_menu/jinzai/fusei/1360483.htm

(9) 研究倫理教育及びコンプライアンス教育の履修義務について

本事業へ参画する研究者等は、「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」にて求められている研究活動における不正行為を未然に防止するための研究倫理教育及び「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン」にて求められているコンプライアンス教育を受講することになります。

卓越研究員として決定された後、交付申請手続の中で、実施責任者*は、参画する研究者等全員が研究倫理教育及びコンプライアンス教育を受講し、内容を理解したことを確認したとする文書を提出することが必要です。

※実施責任者とは、基本的には研究機関の代表者又は本事業における責任者を想定しています。

(参考様式)

令和〇年〇月〇日

〇〇〇〇 殿

〇〇大学長
〇〇 〇〇

研究倫理教育及びコンプライアンス教育の履修確認について

本事業に参画する研究者等全員が、「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」にて求められている研究活動における不正行為を未然に防止するための研究倫理教育及び「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン」にて求められているコンプライアンス教育を受講し、内容を理解したことを確認しました。

(10) 関係法令等に違反した場合の措置

関係法令・指針等に違反し、取組を実施した場合には、補助金の交付をしないことや、補助金の交付を取り消すことがあります。

(11) 安全保障貿易管理について（海外への技術漏洩への対処）

研究機関では多くの最先端技術が研究されており、特に大学では国際化によって留学生や外国人研究者が増加する等により、先端技術や研究用資材・機材等が流出し、大量破壊兵器等の開発・製造等に悪用される危険性が高まっています。そのため、研究機関が当該委託研究を含む各種研究活動を行うに当たっては、軍事的に転用されるおそれのある研究成果等が、大量破壊兵器の開発者やテロリスト集団など、懸念活動を行うおそれのある者に渡らないよう、研究機関による組織的な対応が求められます。

日本では、外国為替及び外国貿易法（昭和 24 年法律第 228 号）（以下「外為法」という。）に基づき輸出規制※が行われています。したがって、外為法で規制されている貨物や技術を輸出（提供）しようとする場合は、原則として、経済産業大臣の許可を受ける必要があります。外為法をはじめ、国の法令・指針・通達等を遵守してください。関係法令・指針等に違反し、研究を実施した場合には、法令上の処分・罰則に加えて、研究費の配分の停止や、研究費の配分決定を取り消すことがあります。

※現在、我が国の安全保障輸出管理制度は、国際合意等に基づき、主に①炭素繊維や数値制御工作機械などある一定以上のスペック・機能を持つ貨物（技術）を輸出（提供）しようとする場合に、原則として、経済産業大臣の許可が必要となる制度（リ

スト規制)と②リスト規制に該当しない貨物(技術)を輸出(提供)しようとする場合で、一定の要件(用途要件・需要者要件又はインフォーム要件)を満たした場合に、経済産業大臣の許可を必要とする制度(キャッチオール規制)の2つから成り立っています。

物の輸出だけではなく技術提供も外為法の規制対象となります。リスト規制技術を非居住者に提供する場合や、外国において提供する場合には、その提供に際して事前の許可が必要です。技術提供には、設計図・仕様書・マニュアル・試料・試作品などの技術情報を、紙・メールやCD・DVD・USBメモリなどの記憶媒体で提供することはもちろんのこと、技術指導や技能訓練などを通じた作業知識の提供やセミナーでの技術支援なども含まれます。外国からの留学生の受入れや、共同研究等の活動の中にも、外為法の規制対象となり得る技術のやりとりが多く含まれる場合があります。

経済産業省等のウェブサイトで、安全保障貿易管理の詳細が公開されています。詳しくは下記を参照してください。

- ・ 経済産業省：安全保障貿易管理(全般)
<https://www.meti.go.jp/policy/anpo/>
- ・ 経済産業省：安全保障貿易ハンドブック
<https://www.meti.go.jp/policy/anpo/seminer/shiryo/handbook.pdf>
- ・ 一般財団法人安全保障貿易情報センター
<http://www.cistec.or.jp/index.html>
- ・ 安全保障貿易に係る機微技術管理ガイダンス(大学・研究機関用)
https://www.meti.go.jp/policy/anpo/law_document/tutatu/t07sonota/t07sonota_jishukanri03.pdf

(12) 研究設備・機器の共用促進について

「研究成果の持続的創出に向けた競争的研究費改革について(中間取りまとめ)」(平成27年6月24日 競争的研究費改革に関する検討会)においては、そもそもの研究目的を十全に達成することを前提としつつ、汎用性が高く比較的大型の設備・機器は共用を原則とすることが適当であるとされています。

また、「研究組織のマネジメントと一体となった新たな研究設備・機器共用システムの導入について」(平成27年11月科学技術・学術審議会先端研究基盤部会)において、大学及び国立研究開発法人等において「研究組織単位の研究設備・機器の共用システム」(以下「機器共用システム」という。)を運用することが求められています。

これらを踏まえ、本事業により購入する研究設備・機器について、特に大型で汎用性のあるものについては、他の研究費における管理条件の範囲内において、所属機関・組織における機器共用システムに従って、当該研究の推進に支障のない範囲での共用、他の研究費等により購入された研究設備・機器の活用、複数の研究費の合算による購入・共用などに積極的に取り組んでください。

また、大学共同利用機関法人自然科学研究機構分子科学研究所において全国的な設

備の相互利用を目的として実施している「大学連携研究設備ネットワーク事業」や、各国立大学において「設備サポートセンター整備事業」等により構築している全学的な共用システムとも積極的に連携を図り、研究組織や研究機関の枠を越えた研究設備・機器の共用を促進してください。

○「研究組織のマネジメントと一体となった新たな研究設備・機器共用システムの導入について」

(平成 27 年 11 月 25 日 科学技術・学術審議会先端研究基盤部会)

https://www.mext.go.jp/component/b_menu/shingi/toushin/_icsFiles/afieldfile/2016/01/21/1366216_01_1.pdf

○「研究成果の持続的創出に向けた競争的研究費改革について（中間取りまとめ）」
(平成 27 年 6 月 24 日 競争的研究費改革に関する検討会)

https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shinkou/039/gaiyou/1359306.htm

○競争的資金における使用ルール等の統一について

(平成 29 年 4 月 20 日改正 競争的資金に関する関係府省連絡会申し合わせ)

https://www8.cao.go.jp/cstp/compefund/shishin3_siyoururu.pdf

○「大学連携研究設備ネットワーク事業」

<https://chem-eqnet.ims.ac.jp/>

(13) 博士課程（後期）学生の処遇の改善について

第 3 期、第 4 期及び第 5 期科学技術基本計画においては、優秀な学生、社会人を国内外から引き付けるため、大学院生、特に博士課程（後期）学生に対する経済的支援を充実すべく、「博士課程（後期）在籍者の 2 割程度が生活費相当額程度を受給できることを目指す」ことが数値目標として掲げられています。

また、「未来を牽引する大学院教育改革（審議まとめ）」（平成 27 年 9 月 15 日 中央教育審議会大学分科会）においても、博士課程（後期）学生に対する多様な財源による R A（リサーチ・アシスタント）雇用や T A（ティーチング・アシスタント）の充実を図ること、博士課程（後期）学生の R A 雇用及び T A 雇用に当たっては、生活費相当額程度の給与の支給を基本とすることが求められています。

これらを踏まえ、本事業により、博士課程（後期）学生を積極的に R A・T A として雇用するとともに、給与水準を生活費相当額とすることを目指しつつ、労働時間に見合った適切な設定に努めてください。

(14) 若手の博士研究員の多様なキャリアパスの支援について

「文部科学省の公的研究費により雇用される若手博士研究員の多様なキャリアパス支援に関する基本方針」（平成 23 年 12 月 20 日科学技術・学術審議会人材委員会）
(https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gi_jyutu/gi_jyutu10/toushin/1317945.htm)

m) において、「公的研究費により若手の博士研究員を雇用する公的研究機関及び研究代表者に対して、若手の博士研究員を対象に、国内外の多様なキャリアパスの確保に向けた支援に積極的に取り組む」ことが求められています。これを踏まえ、本事業に採択され、補助金により、若手の博士研究員を雇用する場合には、当該研究員の多様なキャリアパスの確保に向けた支援への積極的な取組をお願いします。

(15) 研究者情報の researchmap への登録について

researchmap (<https://researchmap.jp/>) は日本の研究者総覧として国内最大級の研究者情報データベースで、登録した業績情報は、インターネットを通して公開することもできます。また、researchmap は、e-Rad や多くの大学の教員データベースとも連携しており、登録した情報を他のシステムでも利用することができるため、研究者の方が様々な申請書やデータベースに何度も同じ業績を登録する必要がなくなります。

researchmap で登録された情報は、国等の学術・科学技術政策立案の調査や統計利用目的でも有効活用されておりますので、本事業の申請者は、researchmap に登録くださるよう、御協力を願います。

(16) 個人情報の取扱い

申請書類に含まれる個人情報については、「行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」その他関係する法令に基づき適切に管理し、個人情報の漏えい、滅失、毀損の防止、その他の個人情報の管理のために必要な措置を講じるものとし、文部科学省及び日本学術振興会の業務遂行（ポストを提示した研究機関及びブリッジプロモーターに対する情報提供を含む。）に利用（データの電算処理及び管理を外部の民間企業等に委託して行わせるための個人情報の提供を含む。）します。その他、文部科学省が管理運用する e-Rad を通じ、内閣府に各種の情報を提供することがあります（e-Rad 利用における個人情報の取扱いについては e-Rad の利用規約及び個人情報取扱方針を参照してください。）。なお、これらの情報作成のため、各種の作業や情報の確認等に協力していただくことがあります。

さらに、卓越研究員として決定された場合、氏名、研究分野、雇用研究機関等を文部科学省のウェブサイト等を通じて公表します。また、Ⅲ. 4. 及びⅣ. 3. に記載する調査結果等を踏まえ、卓越研究員の活動状況を文部科学省のウェブサイト等を通じて公表します。

EU を含む欧州経済領域（EEA）所在の研究者（以下「EEA 在住者」という。）の個人情報については、EU 一般データ保護規則第 2016/679 号（General Data Protection Regulation：GDPR）GDPR（General Data Protection Regulation：一般データ保護規則）に基づき取り扱いますので、EEA 在住者は以下の日本学術振興会ウェブサイトを確認してください。

・欧州経済領域（EEA）所在の方へ

【URL】 https://www.jsps.go.jp/access_contact/info.html

個人情報の取り扱いに関する問合せ窓口については、以下の文部科学省ウェブサイトも確認してください。

【URL】 https://www.mext.go.jp/b_menu/koukai/kojin/1293439.htm

(17) 自己責任原則

各研究機関から提示されたポストについて、文部科学省では、上記Ⅱ. 1に掲げる要件に関する適合性の観点から確認を行います。研究機関と候補者の当事者間交渉の結果決定する雇用条件や、その後の研究環境、テニユア審査の結果等について、文部科学省が責任を負うものではありません。

Ⅵ. 問合せ先

<事業全般に関すること>

文部科学省 科学技術・学術政策局 人材政策課 人材政策推進室

電話：03-5253-4111（内線 4021）

E-mail: takuetsu@mext.go.jp

<申請書類の作成・提出に関すること、補助金の交付・執行に関すること>

独立行政法人日本学術振興会 研究者養成課

電話：03-3263-3769（申請書類関係）

03-3263-0978（補助金関係）

E-mail: takuken@jsps.go.jp

(別表-1)

【A】 a. 卓越研究員の研究費

費目	種別	備考
設備備品費		設備備品(資産)を取得、製造する又は効用を増加させるための経費。 ※設備備品の定義・購入手続は機関の規程等によるものとします。 ※不動産及び不動産附帯設備の購入はできません(定義は機関の規程等によるものとします)。
人件費		雇用契約等を締結し事業に従事する者に、その労働の対価として支払うための経費。雇用主が負担するその法定福利費。 ※人件費の算定に当たっては、機関の給与規程等によるものとします。 ※卓越研究員の人件費には充当できません。
事業実施費	消耗品費	設備備品費に該当しない物品の購入経費。 ※消耗品の定義・購入手続は機関の規程等によるものとします。
	国内旅費	国内での出張に係る経費。国内の外部協力者(実施機関に所属する者を除く)の招へいに係る旅費を含みます。 ※旅費の算定に当たっては、機関の旅費規程等によるものとします。
	外国旅費	外国での出張(国内の移動を含む)に係る経費。 ※旅費の算定に当たっては、機関の旅費規程等によるものとします。
	外国人等招へい旅費	外国からの研究者等の招へいに係る経費。 ※旅費の算定に当たっては、機関の旅費規程等によるものとします。
	諸謝金	外部協力者(実施機関に所属する者を除く)に対する会議への出席謝金、講演等に対する謝金。 ※謝金の算定に当たっては、機関の謝金支給規程等によるものとします。
	会議開催費	学外者を含めた会議等に係る必要最低限の飲食代。 ※飲食代等の支給に当たっては、各機関の規程等に従い必要最低限とします。ただし、アルコール類については、補助金からは支出できません。
	通信運搬費	物品の運搬、データ通信に係る経費。
	印刷製本費	資料等の印刷、製本に係る経費。
	借損料	会議会場の借料、物品等の借損及び使用料に係る経費。
	雑役務費	データ分析、ソフトウェア開発等の役務の提供に係る経費。 学会の参加や論文の投稿に係る経費。
	光熱水費	本事業に係る研究の遂行上必要となる光熱水費。 ※本事業に関係しない光熱水費については、本補助金で支払うことができないので、算出根拠を明確にしておいてください。

(注1) 卓越研究員の研究費から研究環境整備費への流用はできません。研究環境整備費から卓越研究員の研究費への流用は禁止しませんが、公募要領に定める卓越研究員の研究費の年間上限額を超えて流用することはできません。

(注2) 卓越研究員の研究費と研究環境整備費を合算使用することはできません。

(別表-2)

【A】b. 研究環境整備費

費目	種別	備考
設備備品費		設備備品（資産）を取得、製造する又は効用を増加させるための経費。 ※設備備品の定義・購入手続は機関の規程等によるものとします。 ※不動産及び不動産附帯設備の購入はできません（定義は機関の規程等によるものとします）。
人件費		雇用契約等を締結し事業に従事する者に、その労働の対価として支払うための経費。雇用主が負担するその法定福利費。 ※人件費の算定に当たっては、機関の給与規程等によるものとします。 ※卓越研究員の人件費には充当できません。
事業実施費	消耗品費	設備備品費に該当しない物品の購入経費。 ※消耗品の定義・購入手続は機関の規程等によるものとします。
	国内旅費	国内での出張に係る経費。国内の外部協力者（実施機関に所属する者を除く）の招へいに係る旅費を含みます。 ※旅費の算定に当たっては、機関の旅費規程等によるものとします。
	外国旅費	外国での出張（国内の移動を含む）に係る経費。 ※旅費の算定に当たっては、機関の旅費規程等によるものとします。
	外国人等招へい旅費	外国からの研究者等の招へいに係る経費。 ※旅費の算定に当たっては、機関の旅費規程等によるものとします。
	諸謝金	外部協力者（実施機関に所属する者を除く）の会議出席やメンタリング等に対する謝金。講演等に対する謝金。 ※謝金の算定に当たっては、機関の謝金支給規程等によるものとします。
	会議開催費	卓越研究員の評価のための委員会等（学外者を含めたもの）の開催に係る必要最低限の飲食代。 ※飲食代等の支給に当たっては、各機関の規程等に従い必要最低限とします。ただし、アルコール類については、補助金からは支出できません。
	通信運搬費	物品の運搬、データ通信に係る経費。
	印刷製本費	資料等の印刷、製本に係る経費。
	借損料	会議会場の借料、物品等の借損及び使用料に係る経費。
	雑役務費	計算機・ネットワーク等の保守管理や支援業務を担う職員等の労働派遣など役務の提供に係る経費。 学会の参加や論文の投稿に係る経費。
	光熱水費	本事業実施により必要となる光熱水費。 ※本事業に関係しない光熱水費については、本補助金で支払うことができないので、算出根拠を明確にしておいてください。

(注1) 卓越研究員の研究費から研究環境整備費への流用はできません。研究環境整備費から卓越研究員の研究費への流用は禁止しますが、公募要領に定める卓越研究員の研究費の年間上限額を超えて流用することはできません。

(注2) 卓越研究員の研究費と研究環境整備費を合算使用することはできません。

(注3) 若手研究者が安定かつ自立して研究を遂行する体制を構築するために使用できますが、「若手研究者」に学生は含まれません。

(別表-3)

【B】産学連携活動費

費目	種別	備考
共同研究費		大学等との共同研究契約に基づき、大学等へ支払う共同研究経費。
委託研究費		大学等との受託研究契約に基づき、大学等へ支払う委託研究経費。

(注1) 卓越研究員の研究費及び研究環境整備費との流用はできません。

(注2) 卓越研究員の研究費及び研究環境整備費と合算使用することはできません。

研究分野・研究内容一覧について

ここでは、研究機関、研究者双方が申請する際に、その専門とする分野に従い、申請書類に入力すべき研究分野・研究内容を示します。

申請者が研究内容を理解しやすくするための参考として、研究分野・研究内容一覧の末尾に、キーワードを掲載します。ただし、例に掲げられていない内容の申請を排除するものではありません。

<研究機関>

申請書類における、提示ポストの研究分野及び関連キーワードを入力する際の参考としてください。

<研究者>

卓越研究員候補者選考のための審査は、人文学、社会科学、数物系科学、化学、工学系科学、情報学、生物系科学、農学・環境学、医歯薬学の9つの分野で行います。申請に当たっては、自身の研究計画に最も近い研究内容を、研究内容（小区分）から選択してください。

なお、研究内容（小区分）の中には、複数の研究内容（中区分）や研究分野に属するものがあります。当該研究内容（小区分）を選択した際には、研究内容（中区分）または研究分野も選択してください。

研究分野・研究内容一覧 Table of Research field/Research content

(注) ※1 中区分の選択の必要がある小区分
 ※1 Basic Section that should also select Medium-sized Section
 ※2 研究分野の選択の必要がある小区分
 ※2 Basic Section that should also select Research field

研究分野 Research field	研究内容(中区分/小区分)	Research content(Medium-sized Section/Basic Section)
人文学 Humanities	11 思想、芸術およびその関連分野	11 Philosophy, art, and related fields
	01010 哲学および倫理学関連	01010 Philosophy and ethics-related
	01020 中国哲学、印度哲学および仏教関連	01020 Chinese philosophy, Indian philosophy and Buddhist philosophy-related
	01030 宗教学関連	01030 Religious studies-related
	01040 思想史関連	01040 History of thought-related
	01050 美学および芸術論関連	01050 Aesthetics and art studies-related
	01060 美術史関連	01060 History of arts-related
	01070 芸術実践論関連	01070 Theory of art practice-related
	01080 科学社会学および科学技術史関連	01080 Sociology of science, history of science and technology-related
	90010 デザイン学関連 ※1	90010 Design-related ※1
	12 文学、言語学およびその関連分野	12 Literature, linguistics, and related fields
	02010 日本文学関連	02010 Japanese literature-related
	02020 中国文学関連	02020 Chinese literature-related
	02030 英文学および英語圏文学関連	02030 English literature and literature in the English language-related
	02040 ヨーロッパ文学関連	02040 European literature-related
02050 文学一般関連	02050 Literature in general-related	
02060 言語学関連	02060 Linguistics-related	
02070 日本語学関連	02070 Japanese linguistics-related	
02080 英語学関連	02080 English linguistics-related	
02090 日本語教育関連 ※1	02090 Japanese language education-related ※1	
02100 外国語教育関連 ※1	02100 Foreign language education-related ※1	
90020 図書館情報学および人文社会情報学関連 ※1	90020 Library and information science, humanistic and social informatics-related ※1	
13 歴史学、考古学、博物館学およびその関連分野	13 History, archaeology, museology, and related fields	
03010 史学一般関連	03010 Historical studies in general-related	
03020 日本史関連	03020 Japanese history-related	
03030 アジア史およびアフリカ史関連	03030 History of Asia and Africa-related	
03040 ヨーロッパ史およびアメリカ史関連	03040 History of Europe and America-related	
03050 考古学関連	03050 Archaeology-related	
03060 文化財科学関連	03060 Cultural assets study-related	
03070 博物館学関連	03070 Museology-related	
14 地理学、文化人類学、民俗学およびその関連分野	14 Geography, cultural anthropology, folklore, and related fields	
04010 地理学関連	04010 Geography-related	
04020 人文地理学関連	04020 Human geography-related	
04030 文化人類学および民俗学関連	04030 Cultural anthropology and folklore-related	
80010 地域研究関連 ※1	80010 Area studies-related ※1	
80020 観光学関連 ※1	80020 Tourism studies-related ※1	
80030 ジェンダー関連 ※1	80030 Gender studies-related ※1	
社会科学 Social sciences	21 法学およびその関連分野	21 Law and related fields
	05010 基礎法学関連	05010 Legal theory and history-related
	05020 公法学関連	05020 Public law-related
	05030 国際法学関連	05030 International law-related
	05040 社会法学関連	05040 Social law-related
	05050 刑事法学関連	05050 Criminal law-related
	05060 民事法学関連	05060 Civil law-related
	05070 新領域法学関連	05070 New fields of law-related
	22 政治学およびその関連分野	22 Political science and related fields
	06010 政治学関連	06010 Politics-related
	06020 国際関係論関連	06020 International relations-related
	80010 地域研究関連 ※1	80010 Area studies-related ※1
	80030 ジェンダー関連 ※1	80030 Gender studies-related ※1
	23 経済学、経営学およびその関連分野	23 Economics, business administration, and related fields
	07010 理論経済学関連	07010 Economic theory-related
	07020 経済学説および経済思想関連	07020 Economic doctrines and economic thought-related
	07030 経済統計関連	07030 Economic statistics-related
	07040 経済政策関連	07040 Economic policy-related
	07050 公共経済および労働経済関連	07050 Public economics and labor economics-related
	07060 金融およびファイナンス関連	07060 Money and finance-related
07070 経済史関連	07070 Economic history-related	
07080 経営学関連	07080 Business administration-related	
07090 商学関連	07090 Commerce-related	
07100 会計学関連	07100 Accounting-related	
80020 観光学関連 ※1	80020 Tourism studies-related ※1	
24 社会学およびその関連分野	24 Sociology and related fields	
08010 社会学関連	08010 Sociology-related	
08020 社会福祉学関連	08020 Social welfare-related	
08030 家政学および生活科学関連	08030 Family and consumer sciences, and culture and living-related	
80020 観光学関連 ※1	80020 Tourism studies-related ※1	
80030 ジェンダー関連 ※1	80030 Gender studies-related ※1	

研究分野・研究内容一覧 Table of Research field/Research content

(注) ※1 中区分の選択の必要がある小区分
 ※1 Basic Section that should also select Medium-sized Section
 ※2 研究分野の選択の必要がある小区分
 ※2 Basic Section that should also select Research field

研究分野 Research field	研究内容(中区分/小区分)	Research content(Medium-sized Section/Basic Section)	
社会科学 (続き) Social sciences (continued)	25 教育学およびその関連分野	25 Education and related fields	
	09010 教育学関連	09010 Education-related	
	09020 教育社会学関連	09020 Sociology of education-related	
	09030 子ども学および保育学関連	09030 Childhood and nursery/pre-school education-related	
	09040 教科教育学および初等中等教育学関連	09040 Education on school subjects and primary/secondary education-related	
	09050 高等教育学関連	09050 Tertiary education-related	
	09060 特別支援教育関連	09060 Special needs education-related	
	09070 教育工学関連	09070 Educational technology-related	
	09080 科学教育関連	09080 Science education-related	
	02090 日本語教育関連 ※1	02090 Japanese language education-related ※1	
02100 外国語教育関連 ※1	02100 Foreign language education-related ※1		
社会科学 (続き) Social sciences (continued)	26 心理学およびその関連分野	26 Psychology and related fields	
	10010 社会心理学関連	10010 Social psychology-related	
	10020 教育心理学関連	10020 Educational psychology-related	
	10030 臨床心理学関連	10030 Clinical psychology-related	
	10040 実験心理学関連	10040 Experimental psychology-related	
	90030 認知科学関連 ※1	90030 Cognitive science-related ※1	
	数物系科学 Mathematical and physical sciences	31 代数学、幾何学およびその関連分野	31 Algebra, geometry, and related fields
		11010 代数学関連	11010 Algebra-related
		11020 幾何学関連	11020 Geometry-related
		32 解析学、応用数学およびその関連分野	32 Analysis, applied mathematics, and related fields
12010 基礎解析学関連		12010 Basic analysis-related	
12020 数理解析学関連		12020 Mathematical analysis-related	
12030 数学基礎関連		12030 Basic mathematics-related	
12040 応用数学および統計数学関連		12040 Applied mathematics and statistics-related	
33 物性物理学およびその関連分野		33 Condensed matter physics and related fields	
13010 数理解析学および物性基礎関連		13010 Mathematical physics and fundamental theory of condensed matter physics-related	
13020 半導体、光物性および原子物理関連		13020 Semiconductors, optical properties of condensed matter and atomic physics-related	
13030 磁性、超伝導および強相関系関連		13030 Magnetism, superconductivity and strongly correlated systems-related	
13040 生物物理、化学物理およびソフトマターの物理関連		13040 Biophysics, chemical physics and soft matter physics-related	
34 プラズマ学およびその関連分野		34 Plasma science and related fields	
14010 プラズマ科学関連		14010 Fundamental plasma-related	
14020 核融合学関連		14020 Nuclear fusion-related	
14030 プラズマ応用科学関連		14030 Applied plasma science-related	
80040 量子ビーム科学関連 ※1		80040 Quantum beam science-related ※1	
35 素粒子、原子核、宇宙物理学およびその関連分野		35 Particle-, nuclear-, astro-physics, and related fields	
80040 量子ビーム科学関連 ※1		80040 Quantum beam science-related ※1	
15010 素粒子、原子核、宇宙線および宇宙物理に関連する理論	15010 Theoretical studies related to particle-, nuclear-, cosmic ray and astro-physics		
15020 素粒子、原子核、宇宙線および宇宙物理に関連する実験	15020 Experimental studies related to particle-, nuclear-, cosmic ray and astro-physics		
36 天文学およびその関連分野	36 Astronomy and related fields		
16010 天文学関連	16010 Astronomy-related		
37 地球惑星科学およびその関連分野	37 Earth and planetary science and related fields		
17010 宇宙惑星科学関連	17010 Space and planetary sciences-related		
17020 大気水圏科学関連	17020 Atmospheric and hydrospheric sciences-related		
17030 地球人間圏科学関連	17030 Human geosciences-related		
17040 固体地球科学関連	17040 Solid earth sciences-related		
17050 地球生命科学関連	17050 Biogeosciences-related		

研究分野・研究内容一覧 Table of Research field/Research content

(注) ※1 中区分の選択の必要がある小区分
 ※1 Basic Section that should also select Medium-sized Section
 ※2 研究分野の選択の必要がある小区分
 ※2 Basic Section that should also select Research field

研究分野 Research field	研究内容(中区分/小区分)	Research content (Medium-sized Section/Basic Section)
化学 Chemistry	41 物理化学、機能物性化学、無機・錯体化学、分析化学、無機材料化学、エネルギー関連化学およびその関連分野	41 Physical chemistry, functional solid state chemistry, inorganic/coordination chemistry, analytical chemistry, inorganic materials chemistry, energy-related chemistry, and related fields
	物理化学、機能物性化学およびその関連分野	Physical chemistry, functional solid state chemistry, and related fields
	32010 基礎物理化学関連	32010 Fundamental physical chemistry-related
	32020 機能物性化学関連	32020 Functional solid state chemistry-related
	無機・錯体化学、分析化学およびその関連分野	Inorganic/coordination chemistry, analytical chemistry, and related fields
	34010 無機・錯体化学関連	34010 Inorganic/coordination chemistry-related
	34020 分析化学関連	34020 Analytical chemistry-related
	34030 グリーンサステイナブルケミストリーおよび環境化学関連	34030 Green sustainable chemistry and environmental chemistry-related
	無機材料化学、エネルギー関連化学およびその関連分野	Inorganic materials chemistry, energy-related chemistry, and related fields
	36010 無機物質および無機材料化学関連	36010 Inorganic compounds and inorganic materials chemistry-related
	36020 エネルギー関連化学	36020 Energy-related chemistry
	42 有機化学、高分子、有機材料、生体分子化学およびその関連分野	42 Organic chemistry, polymers, organic materials, biomolecular chemistry, and related fields
	有機化学およびその関連分野	Organic chemistry and related fields
	33010 構造有機化学および物理有機化学関連	33010 Structural organic chemistry and physical organic chemistry-related
33020 有機合成化学関連	33020 Synthetic organic chemistry-related	
高分子、有機材料およびその関連分野	Polymers, organic materials, and related fields	
35010 高分子化学関連	35010 Polymer chemistry-related	
35020 高分子材料関連	35020 Polymer materials-related	
35030 有機機能材料関連	35030 Organic functional materials-related	
生体分子化学およびその関連分野	Biomolecular chemistry and related fields	
37010 生体関連化学	37010 Bio-related chemistry	
37020 生物分子化学関連	37020 Chemistry and chemical methodology of biomolecules-related	
37030 ケミカルバイオロジー関連	37030 Chemical biology-related	
工学系科学 Engineering sciences	51 材料工学、生産工学、設計工学、原子力工学、地球資源工学、エネルギー学、流体工学、熱工学、機械工学、ロボティクス、航空宇宙工学、船舶海洋工学およびその関連分野	51 Mechanics of materials, production engineering, design engineering, nuclear engineering, earth resources engineering, energy engineering, fluid engineering, thermal engineering, mechanical dynamics, robotics, aerospace engineering, marine and maritime engineering, and related fields
	材料工学、生産工学、設計工学およびその関連分野	Mechanics of materials, production engineering, design engineering, and related fields
	18010 材料工学および機械材料関連	18010 Mechanics of materials and materials-related
	18020 加工工学および生産工学関連	18020 Manufacturing and production engineering-related
	18030 設計工学関連	18030 Design engineering-related
	18040 機械要素およびトライボロジー関連	18040 Machine elements and tribology-related
	原子力工学、地球資源工学、エネルギー学およびその関連分野	Nuclear engineering, earth resources engineering, energy engineering, and related fields
	31010 原子力工学関連	31010 Nuclear engineering-related
	31020 地球資源工学およびエネルギー学関連	31020 Earth resource engineering, Energy sciences-related
	流体工学、熱工学およびその関連分野	Fluid engineering, thermal engineering, and related fields
	19010 流体工学関連	19010 Fluid engineering-related
	19020 熱工学関連	19020 Thermal engineering-related
	機械工学、ロボティクスおよびその関連分野	Mechanical dynamics, robotics, and related fields
	20010 機械工学およびメカトロニクス関連	20010 Mechanics and mechatronics-related
	20020 ロボティクスおよび知能機械システム関連	20020 Robotics and intelligent system-related
	航空宇宙工学、船舶海洋工学およびその関連分野	Aerospace engineering, marine and maritime engineering, and related fields
	24010 航空宇宙工学関連	24010 Aerospace engineering-related
	24020 船舶海洋工学関連	24020 Marine engineering-related
	52 電気電子工学、応用物理物性、応用物理工学およびその関連分野	52 Electrical and electronic engineering, applied condensed matter physics, applied physics and engineering, and related fields
	電気電子工学およびその関連分野	Electrical and electronic engineering and related fields
	21010 電力工学関連	21010 Power engineering-related
	21020 通信工学関連	21020 Communication and network engineering-related
	21030 計測工学関連	21030 Measurement engineering-related
	21040 制御およびシステム工学関連	21040 Control and system engineering-related
21050 電気電子材料工学関連	21050 Electric and electronic materials-related	
21060 電子デバイスおよび電子機器関連	21060 Electron device and electronic equipment-related	
応用物理物性およびその関連分野	Applied condensed matter physics and related fields	
29010 応用物性関連	29010 Applied physical properties-related	
29020 薄膜および表面界面物性関連	29020 Thin film/surface and interfacial physical properties-related	
29030 応用物理一般関連	29030 Applied condensed matter physics-related	
応用物理工学およびその関連分野	Applied physics and engineering and related fields	
30010 結晶工学関連	30010 Crystal engineering-related	
30020 光学工学および光子科学関連	30020 Optical engineering and photon science-related	

研究分野・研究内容一覧 Table of Research field/Research content

(注) ※1 中区分の選択の必要がある小区分
 ※1 Basic Section that should also select Medium-sized Section
 ※2 研究分野の選択の必要がある小区分
 ※2 Basic Section that should also select Research field

研究分野 Research field	研究内容(中区分/小区分)	Research content (Medium-sized Section/Basic Section)
工学系科学 (続き) Engineering sciences (continued)	53 土木工学、社会システム工学、安全工学、防災工学、建築学およびその関連分野	53 Civil engineering, social systems engineering, safety engineering, disaster prevention engineering, architecture, building engineering, and related fields
	土木工学およびその関連分野	Civil engineering and related fields
	22010 土木材料、施工および建設マネジメント関連	22010 Civil engineering material, execution and construction management-related
	22020 構造工学および地震工学関連	22020 Structure engineering and earthquake engineering-related
	22030 地盤工学関連	22030 Geotechnical engineering-related
	22040 水工学関連	22040 Hydroengineering-related
	22050 土木計画学および交通工学関連	22050 Civil engineering plan and transportation engineering-related
	22060 土木環境システム関連	22060 Environmental systems for civil engineering-related
	社会システム工学、安全工学、防災工学およびその関連分野	Social systems engineering, safety engineering, disaster prevention engineering, and related fields
	25010 社会システム工学関連	25010 Social systems engineering-related
	25020 安全工学関連	25020 Safety engineering-related
	25030 防災工学関連	25030 Disaster prevention engineering-related
	建築学およびその関連分野	Architecture, building engineering, and related fields
	23010 建築構造および材料関連	23010 Building structures and materials-related
	23020 建築環境および建築設備関連	23020 Architectural environment and building equipment-related
	23030 建築計画および都市計画関連	23030 Architectural planning and city planning-related
	23040 建築史および意匠関連	23040 Architectural history and design-related
	90010 デザイン学関連 ※1	90010 Design-related ※1
	54 材料工学、化学工学、ナノマイクロ科学およびその関連分野	54 Materials engineering, chemical engineering, nano/micro science, and related fields
	材料工学およびその関連分野	Materials engineering and related fields
	26010 金属材料物性関連	26010 Metallic material properties-related
	26020 無機材料および物性関連	26020 Inorganic materials and properties-related
	26030 複合材料および界面関連	26030 Composite materials and interfaces-related
	26040 構造材料および機能材料関連	26040 Structural materials and functional materials-related
	26050 材料加工および組織制御関連	26050 Material processing and microstructure control-related
	26060 金属生産および資源生産関連	26060 Metals production and resources production-related
	化学工学およびその関連分野	Chemical engineering and related fields
27010 移動現象および単位操作関連	27010 Transport phenomena and unit operations-related	
27020 反応工学およびプロセスシステム工学関連	27020 Chemical reaction and process system engineering-related	
27030 触媒プロセスおよび資源化学プロセス関連	27030 Catalyst and resource chemical process-related	
27040 バイオ機能応用およびバイオプロセス工学関連	27040 Biofunction and bioprocess engineering-related	
ナノマイクロ科学およびその関連分野	Nano/micro science and related fields	
28010 ナノ構造化学関連	28010 Nanometer-scale chemistry-related	
28020 ナノ構造物理関連	28020 Nanostructural physics-related	
28030 ナノ材料科学関連	28030 Nanomaterials-related	
28040 ナノバイオサイエンス関連	28040 Nanobioscience-related	
28050 ナノマイクロシステム関連	28050 Nano/micro-systems-related	
90 人間工学およびその関連分野	90 Biomedical engineering and related fields	
90110 生体工学関連 ※2	90110 Biomedical engineering-related ※2	
90120 生体材料学関連 ※2	90120 Biomaterials-related ※2	
90130 医用システム関連 ※2	90130 Medical systems-related ※2	
90140 医療技術評価学関連 ※2	90140 Medical technology assessment-related ※2	
90150 医療福祉工学関連 ※2	90150 Medical assistive technology-related ※2	
情報学 Informatics	61 情報科学、情報工学、応用情報学およびその関連分野	61 Information science, computer engineering, applied informatics, and related fields
	情報科学、情報工学およびその関連分野	Information science, computer engineering, and related fields
	60010 情報学基礎論関連	60010 Theory of informatics-related
	60020 数理情報学関連	60020 Mathematical informatics-related
	60030 統計科学関連	60030 Statistical science-related
	60040 計算機システム関連	60040 Computer system-related
	60050 ソフトウェア関連	60050 Software-related
	60060 情報ネットワーク関連	60060 Information network-related
	60070 情報セキュリティ関連	60070 Information security-related
	60080 データベース関連	60080 Database-related
	60090 高性能計算関連	60090 High performance computing-related
	60100 計算科学関連	60100 Computational science-related
	応用情報学およびその関連分野	Applied informatics and related fields
	62010 生命、健康および医療情報学関連	62010 Life, health and medical informatics-related
	62020 ウェブ情報学およびサービス情報学関連	62020 Web informatics and service informatics-related
	62030 学習支援システム関連	62030 Learning support system-related
	62040 エンタテインメントおよびゲーム情報学関連	62040 Entertainment and game informatics-related
	90020 図書館情報学および人文社会情報学関連 ※1	90020 Library and information science, humanistic and social informatics-related ※1
	62 人間情報学およびその関連分野	62 Human informatics and related fields
	61010 知覚情報処理関連	61010 Perceptual information processing-related
	61020 ヒューマンインタフェースおよびインタラクション関連	61020 Human interface and interaction-related
	61030 知能情報学関連	61030 Intelligent informatics-related
	61040 ソフトコンピューティング関連	61040 Soft computing-related
	61050 知能ロボティクス関連	61050 Intelligent robotics-related
	61060 感性情報学関連	61060 Kansei informatics-related
	90010 デザイン学関連 ※1	90010 Design-related ※1
	90030 認知科学関連 ※1	90030 Cognitive science-related ※1

研究分野・研究内容一覧 Table of Research field/Research content

(注) ※1 中区分の選択の必要がある小区分
 ※1 Basic Section that should also select Medium-sized Section
 ※2 研究分野の選択の必要がある小区分
 ※2 Basic Section that should also select Research field

研究分野 Research field	研究内容(中区分/小区分)	Research content(Medium-sized Section/Basic Section)
生物系科学 Biological sciences	71 分子レベルから細胞レベルの生物学およびその関連分野	71 Biology at molecular to cellular levels, and related fields
	43010 分子生物学関連	43010 Molecular biology-related
	43020 構造生物化学関連	43020 Structural biochemistry-related
	43030 機能生物化学関連	43030 Functional biochemistry-related
	43040 生物物理学関連	43040 Biophysics-related
	43050 ゲノム生物学関連	43050 Genome biology-related
	43060 システムゲノム科学関連	43060 System genome science-related
	72 細胞レベルから個体レベルの生物学およびその関連分野	72 Biology at cellular to organismal levels, and related fields
	44010 細胞生物学関連	44010 Cell biology-related
	44020 発生生物学関連	44020 Developmental biology-related
	44030 植物分子および生理科学関連	44030 Plant molecular biology and physiology-related
	44040 形態および構造関連	44040 Morphology and anatomical structure-related
	44050 動物生理化学、生理学および行動学関連	44050 Animal physiological chemistry, physiology and behavioral biology-related
	73 個体レベルから集団レベルの生物学と人類学およびその関連分野	73 Biology at organismal to population levels and anthropology, and related fields
	45010 遺伝学関連	45010 Genetics-related
	45020 進化生物学関連	45020 Evolutionary biology-related
45030 多様性生物学および分類学関連	45030 Biodiversity and systematics-related	
45040 生態学および環境学関連	45040 Ecology and environment-related	
45050 自然人類学関連	45050 Physical anthropology-related	
45060 応用人類学関連	45060 Applied anthropology-related	
74 神経科学およびその関連分野	74 Neuroscience and related fields	
46010 神経科学一般関連	46010 Neuroscience-general-related	
46020 神経形態学関連	46020 Anatomy and histopathology of nervous system-related	
46030 神経機能学関連	46030 Function of nervous system-related	
農学・環境学 Agriculture /Environmental sciences	81 農芸化学およびその関連分野	81 Agricultural chemistry and related fields
	38010 植物栄養学および土壌学関連	38010 Plant nutrition and soil science-related
	38020 応用微生物学関連	38020 Applied microbiology-related
	38030 応用生物化学関連	38030 Applied biochemistry-related
	38040 生物有機化学関連	38040 Bioorganic chemistry-related
	38050 食品科学関連	38050 Food sciences-related
	38060 応用分子細胞生物学関連	38060 Applied molecular and cellular biology-related
	82 生産環境農学、社会経済農学、農業工学およびその関連分野	82 Agricultural and environmental biology, agricultural economics and rural sociology, agricultural engineering, and related fields
	生産環境農学およびその関連分野	Agricultural and environmental biology and related fields
	39010 遺伝育種科学関連	39010 Science in plant genetics and breeding-related
	39020 作物生産科学関連	39020 Crop production science-related
	39030 園芸科学関連	39030 Horticultural science-related
	39040 植物保護科学関連	39040 Plant protection science-related
	39050 昆虫科学関連	39050 Insect science-related
	39060 生物資源保全学関連	39060 Conservation of biological resources-related
	39070 ランドスケープ科学関連	39070 Landscape science-related
	社会経済農学、農業工学およびその関連分野	Agricultural economics and rural sociology, agricultural engineering, and related fields
	41010 食料農業経済関連	41010 Agricultural and food economics-related
	41020 農業社会構造関連	41020 Rural sociology and agricultural structure-related
	41030 地域環境工学および農村計画学関連	41030 Rural environmental engineering and planning-related
	41040 農業環境工学および農業情報工学関連	41040 Agricultural environmental engineering and agricultural information engineering-related
	41050 環境農学関連	41050 Environmental agriculture-related
	83 森林園科学、水圏応用科学およびその関連分野	83 Forestry and forest products science, applied aquatic science, and related fields
	40010 森林科学関連	40010 Forest science-related
40020 木質科学関連	40020 Wood science-related	
40030 水圏生産科学関連	40030 Aquatic bioproduction science-related	
40040 水圏生命科学関連	40040 Aquatic life science-related	
84 獣医学、畜産学およびその関連分野	84 Veterinary medical science, animal science, and related fields	
42010 動物生産科学関連	42010 Animal production science-related	
42020 獣医学関連	42020 Veterinary medical science-related	
42030 動物生命科学関連	42030 Animal life science-related	
42040 実験動物学関連	42040 Laboratory animal science-related	
85 環境解析評価、環境保全対策およびその関連分野	85 Environmental analyses and evaluation, environmental conservation measure, and related fields	
環境解析評価およびその関連分野	Environmental analyses and evaluation and related fields	
63010 環境動態解析関連	63010 Environmental dynamic analysis-related	
63020 放射線影響関連	63020 Radiation influence-related	
63030 化学物質影響関連	63030 Chemical substance influence on environment-related	
63040 環境影響評価関連	63040 Environmental impact assessment-related	
環境保全対策およびその関連分野	Environmental conservation measure and related fields	
64010 環境負荷およびリスク評価管理関連	64010 Environmental load and risk assessment-related	
64020 環境負荷低減技術および保全修復技術関連	64020 Environmental load reduction and remediation-related	
64030 環境材料およびリサイクル技術関連	64030 Environmental materials and recycle technology-related	
64040 自然共生システム関連	64040 Social-ecological systems-related	
64050 循環型社会システム関連	64050 Sound material-cycle social systems-related	
64060 環境政策および環境配慮型社会関連	64060 Environmental policy and social systems-related	

研究分野・研究内容一覧 Table of Research field/Research content

(注) ※1 中区分の選択の必要がある小区分
 ※1 Basic Section that should also select Medium-sized Section
 ※2 研究分野の選択の必要がある小区分
 ※2 Basic Section that should also select Research field

研究分野 Research field	研究内容(中区分/小区分)	Research content(Medium-sized Section/Basic Section)
医歯薬学 Medicine dentistry and pharmacy	91 薬学およびその関連分野	91 Pharmaceutical sciences and related fields
	47010 薬系化学および創薬科学関連	47010 Pharmaceutical chemistry and drug development sciences-related
	47020 薬系分析および物理化学関連	47020 Pharmaceutical analytical chemistry and physicochemistry-related
	47030 薬系衛生および生物化学関連	47030 Pharmaceutical hygiene and biochemistry-related
	47040 薬理学関連(A)	47040 Pharmacology-related(A)
	47050 環境および天然医薬資源学関連	47050 Environmental and natural pharmaceutical resources-related
	47060 医療薬学関連	47060 Clinical pharmacy-related
	92 生体の構造と機能およびその関連分野	92 Biomedical structure and function and related fields
	48010 解剖学関連	48010 Anatomy-related
	48020 生理学関連	48020 Physiology-related
	48030 薬理学関連(B)	48030 Pharmacology-related(B)
	48040 医化学関連	48040 Medical biochemistry-related
	93 病理病態学、感染・免疫学およびその関連分野	93 Pathology, infection/immunology, and related fields
	49010 病態生化学関連	49010 Pathological biochemistry-related
	49020 人体病理学関連	49020 Human pathology-related
	49030 実験病理学関連	49030 Experimental pathology-related
	49040 寄生虫学関連	49040 Parasitology-related
	49050 細菌学関連	49050 Bacteriology-related
	49060 ウイルス学関連	49060 Virology-related
	49070 免疫学関連	49070 Immunology-related
	94 腫瘍学、ブレインサイエンスおよびその関連分野	94 Oncology, brain sciences, and related fields
	腫瘍学およびその関連分野	Oncology and related fields
	50010 腫瘍生物学関連	50010 Tumor biology-related
	50020 腫瘍診断および治療学関連	50020 Tumor diagnostics and therapeutics-related
	ブレインサイエンスおよびその関連分野	Brain sciences and related fields
	51010 基盤脳科学関連	51010 Basic brain sciences-related
	51020 認知脳科学関連	51020 Cognitive and brain science-related
	51030 病態神経科学関連	51030 Pathophysiological neuroscience-related
	95 内科学一般、器官システム内科学、生体情報内科学およびその関連分野	95 General internal medicine, organ-based internal medicine, internal medicine of the bio-information integration, and related fields
	内科学一般およびその関連分野	General internal medicine and related fields
	52010 内科学一般関連	52010 General internal medicine-related
	52020 神経内科学関連	52020 Neurology-related
	52030 精神神経科学関連	52030 Psychiatry-related
	52040 放射線科学関連	52040 Radiological sciences-related
	52050 胎児医学および小児成育学関連	52050 Embryonic medicine and pediatrics-related
	器官システム内科学およびその関連分野	Organ-based internal medicine and related fields
	53010 消化器内科学関連	53010 Gastroenterology-related
	53020 循環器内科学関連	53020 Cardiology-related
	53030 呼吸器内科学関連	53030 Respiratory medicine-related
	53040 腎臓内科学関連	53040 Nephrology-related
	53050 皮膚科学関連	53050 Dermatology-related
	生体情報内科学およびその関連分野	Internal medicine of the bio-information integration and related fields
	54010 血液および腫瘍内科学関連	54010 Hematology and medical oncology-related
	54020 膠原病およびアレルギー内科学関連	54020 Connective tissue disease and allergy-related
	54030 感染症内科学関連	54030 Infectious disease medicine-related
	54040 代謝および内分泌学関連	54040 Metabolism and endocrinology-related
	96 恒常性維持器官の外科学、生体機能および感覚に関する外科学およびその関連分野	96 Surgery of the organs maintaining homeostasis, surgery related to the biological and sensory functions, and related fields
	恒常性維持器官の外科学およびその関連分野	Surgery of the organs maintaining homeostasis and related fields
	55010 外科学一般および小児外科学関連	55010 General surgery and pediatric surgery-related
	55020 消化器外科学関連	55020 Digestive surgery-related
	55030 心臓血管外科学関連	55030 Cardiovascular surgery-related
	55040 呼吸器外科学関連	55040 Respiratory surgery-related
	55050 麻酔科学関連	55050 Anesthesiology-related
	55060 救急医学関連	55060 Emergency medicine-related
	生体機能および感覚に関する外科学およびその関連分野	Surgery related to the biological and sensory functions and related fields
	56010 脳神経外科学関連	56010 Neurosurgery-related
	56020 整形外科科学関連	56020 Orthopedics-related
	56030 泌尿器科学関連	56030 Urology-related
	56040 産婦人科学関連	56040 Obstetrics and gynecology-related
	56050 耳鼻咽喉科学関連	56050 Otorhinolaryngology-related
	56060 眼科学関連	56060 Ophthalmology-related
	56070 形成外科学関連	56070 Plastic and reconstructive surgery-related
	97 口腔科学およびその関連分野	97 Oral science and related fields
	57010 常態系口腔科学関連	57010 Oral biological science-related
	57020 病態系口腔科学関連	57020 Oral pathological science-related
	57030 保存治療系歯学関連	57030 Conservative dentistry-related
	57040 口腔再生医学および歯科医用工学関連	57040 Regenerative dentistry and dental engineering-related
	57050 補綴系歯学関連	57050 Prosthodontics-related
	57060 外科系歯学関連	57060 Surgical dentistry-related
	57070 成長および発育系歯学関連	57070 Developmental dentistry-related
	57080 社会系歯学関連	57080 Social dentistry-related

研究分野・研究内容一覧 Table of Research field/Research content

(注) ※1 中区分の選択の必要がある小区分
 ※1 Basic Section that should also select Medium-sized Section
 ※2 研究分野の選択の必要がある小区分
 ※2 Basic Section that should also select Research field

研究分野 Research field	研究内容(中区分/小区分)	Research content (Medium-sized Section/Basic Section)
医歯薬学 (続き) Medicine dentistry and pharmacy (continued)	98 社会医学、看護学、スポーツ科学、体育、健康科学およびその関連分野	98 Society medicine, nursing, sports sciences, physical education, health sciences, and related fields
	社会医学、看護学およびその関連分野	Society medicine, nursing, and related fields
	58010 医療管理学および医療系社会学関連	58010 Medical management and medical sociology-related
	58020 衛生学および公衆衛生学分野関連: 実験系を含む	58020 Hygiene and public health-related: including laboratory approach
	58030 衛生学および公衆衛生学分野関連: 実験系を含まない	58030 Hygiene and public health-related: excluding laboratory approach
	58040 法医学関連	58040 Forensics medicine-related
	58050 基礎看護学関連	58050 Fundamental of nursing-related
	58060 臨床看護学関連	58060 Clinical nursing-related
	58070 生涯発達看護学関連	58070 Lifelong developmental nursing-related
	58080 高齢者看護学および地域看護学関連	58080 Gerontological nursing and community health nursing-related
	スポーツ科学、体育、健康科学およびその関連分野	Sports sciences, physical education, health sciences, and related fields
	59010 リハビリテーション科学関連	59010 Rehabilitation science-related
	59020 スポーツ科学関連	59020 Sports sciences-related
	59030 体育および身体教育学関連	59030 Physical education, and physical and health education-related
	59040 栄養学および健康科学関連	59040 Nutrition science and health science-related
	90 人間工医学およびその関連分野	90 Biomedical engineering and related fields
	90110 生体工医学関連 ※2	90110 Biomedical engineering-related ※2
	90120 生体材料学関連 ※2	90120 Biomaterials-related ※2
	90130 医用システム関連 ※2	90130 Medical systems-related ※2
	90140 医療技術評価学関連 ※2	90140 Medical technology assessment-related ※2
90150 医療福祉工学関連 ※2	90150 Medical assistive technology-related ※2	

キーワード表

研究内容 (小区分)	内容の例	対応する研究内容（中区分）、研究分野	
		研究内容 (中区分)	研究分野
01010	〔哲学および倫理学関連〕 哲学一般、倫理学一般、西洋哲学、西洋倫理学、日本哲学、日本倫理学、応用倫理学、など	11	人文学
01020	〔中国哲学、印度哲学および仏教学関連〕 中国哲学思想、インド哲学思想、仏教思想、書誌学、文献学、など	11	人文学
01030	〔宗教学関連〕 宗教史、宗教哲学、神学、宗教社会学、宗教心理学、宗教人類学、宗教民俗学、神話学、書誌学、文献学、など	11	人文学
01040	〔思想史関連〕 思想史一般、西洋思想史、東洋思想史、日本思想史、など	11	人文学
01050	〔美学および芸術論関連〕 芸術哲学、感性論、各種芸術論、など	11	人文学
01060	〔美術史関連〕 日本美術、東洋美術、西洋美術、現代美術、工芸、デザイン、建築、服飾、写真、など	11	人文学
01070	〔芸術実践論関連〕 各種芸術表現法、アートマネジメント、芸術政策、芸術産業、など	11	人文学
01080	〔科学社会学および科学技術史関連〕 科学社会学、科学史、技術史、医学史、産業考古学、科学哲学、科学基礎論、科学技術社会論、など	11	人文学
02010	〔日本文学関連〕 日本文学一般、古代文学、中世文学、漢文学、書誌学、文献学、近世文学、近代文学、現代文学、関連文学理論、など	12	人文学
02020	〔中国文学関連〕 中国文学、書誌学、文献学、関連文学理論、など	12	人文学
02030	〔英文学および英語圏文学関連〕 英文学、米文学、英語圏文学、関連文学理論、書誌学、文献学、など	12	人文学
02040	〔ヨーロッパ文学関連〕 仏文学、仏語圏文学、独文学、独語圏文学、西洋古典学、ロシア東欧文学、その他のヨーロッパ語系文学、関連文学理論、書誌学、文献学、など	12	人文学
02050	〔文学一般関連〕 諸地域諸言語の文学、文学理論、比較文学、書誌学、文献学、文学教育、など	12	人文学
02060	〔言語学関連〕 音声音韻論、意味語用論、形態統語論、社会言語学、対照言語学、心理言語学、神経言語学、通時の研究、コーパス言語学、危機言語、など	12	人文学
02070	〔日本語学関連〕 音声音韻、表記、語彙と意味、文法、文体、語用論、言語生活、方言、日本語史、日本語学史、など	12	人文学
02080	〔英語学関連〕 音声音韻、語彙と意味、文法、文体、語用論、社会言語学、英語の多様性、コーパス研究、英語史、英語学史、など	12	人文学
02090	〔日本語教育関連〕 学習者研究、言語習得、教材開発、カリキュラム評価、目的別日本語教育、バイリンガル教育、教師研究、日本語教育のための日本語研究、日本語教育史、異文化理解、など	12、25	人文学, 社会科学
02100	〔外国語教育関連〕 学習法、コンピュータ支援学習（CALL）、教材開発、言語テスト、第二言語習得論、早期英語教育、外国語教育政策史、カリキュラム評価、外国語教師養成、異文化理解、など	12、25	人文学, 社会科学

キーワード表

研究内容 (小区分)	内容の例	対応する研究内容（中区分）、研究分野	
		研究内容 (中区分)	研究分野
03010	〔史学一般関連〕	13	人文学
	歴史理論、歴史学方法論、史料研究、記憶とメディア、世界史、交流史、比較史、など		
03020	〔日本史関連〕	13	人文学
	日本史一般、古代史、中世史、近世史、近現代史、地方史、文化史、宗教史、環境史、都市史、交流史、比較史、史料研究、など		
03030	〔アジア史およびアフリカ史関連〕	13	人文学
	中国前近代史、中国近現代史、東アジア史、中央ユーラシア史、東南アジア史、オセアニア史、南アジア史、西アジア史、アフリカ史、交流史、比較史、史料研究、など		
03040	〔ヨーロッパ史およびアメリカ史関連〕	13	人文学
	ヨーロッパ古代史、ヨーロッパ中世史、西ヨーロッパ近現代史、東ヨーロッパ近現代史、南北アメリカ史、交流史、比較史、史料研究、など		
03050	〔考古学関連〕	13	人文学
	考古学一般、先史学、歴史考古学、日本考古学、アジア考古学、古代文明学、物質文化学、実験考古学、情報考古学、埋蔵文化財研究、など		
03060	〔文化財科学関連〕	13	人文学
	年代測定、材質分析、製作技法、保存科学、遺跡探査、動植物遺体、人骨、文化遺産、文化資源、文化財政策、など		
03070	〔博物館学関連〕	13	人文学
	博物館展示学、博物館教育学、博物館情報学、博物館経営学、博物館行財政学、博物館資料論、博物館学史、など		
04010	〔地理学関連〕	14	人文学
	地理学一般、土地利用、景観、環境システム、地形学、気候学、水文学、地図学、地理情報システム、地域計画、など		
04020	〔人文地理学関連〕	14	人文学
	人文地理学一般、経済地理学、社会地理学、政治地理学、文化地理学、都市地理学、農村地理学、歴史地理学、地誌学、地理教育、など		
04030	〔文化人類学および民俗学関連〕	14	人文学
	文化人類学一般、民俗学一般、物質文化、生態、社会関係、宗教、芸術、医療、越境、マイノリティ、など		
80010	〔地域研究関連〕	14、22	人文学, 社会科学
	地域研究一般、地域間比較、援助、国際協力、地域間交流、環境、トランスナショナリズム、グローバリゼーション、社会開発、など		
80020	〔観光学関連〕	14、23、24	人文学, 社会科学
	観光研究一般、ツーリズム、観光資源、観光政策、観光産業、地域振興、旅行者、聖地巡礼、など		
80030	〔ジェンダー関連〕	14、22、24	人文学, 社会科学
	ジェンダー研究一般、フェミニズム、セクシュアリティ、クィアスタディーズ、労働、暴力、売買春、生殖医療、男女共同参画、など		
05010	〔基礎法学関連〕	21	社会科学
	法哲学・法理学、ローマ法、法制史、法社会学、比較法、外国法、法政策学、法と経済、司法制度論、など		
05020	〔公法学関連〕	21	社会科学
	憲法、行政法、租税法、など		
05030	〔国際法学関連〕	21	社会科学
	国際公法、国際私法、国際人権法、国際経済法、EU法、など		
05040	〔社会法学関連〕	21	社会科学
	労働法、経済法、社会保障法、教育法、など		
05050	〔刑事法学関連〕	21	社会科学
	刑法、刑事訴訟法、犯罪学、刑事政策、少年法、法と心理、など		

キーワード表

研究内容 (小区分)	内容の例	対応する研究内容（中区分）、研究分野	
		研究内容 (中区分)	研究分野
05060	〔民事法学関連〕 民法、商法、民事訴訟法、倒産法、紛争処理法制、など	21	社会科学
	〔新領域法学関連〕 環境法、医事法、情報法、消費者法、知的財産法、法とジェンダー、法曹論、など		
06010	〔政治学関連〕 政治理論、政治思想史、政治史、日本政治史、現代日本政治、政治過程論、選挙研究、政治経済学、行政学、地方自治、比較政治、公共政策、など	22	社会科学
	〔国際関係論関連〕 国際関係理論、現代国際関係、外交史、国際関係史、対外政策論、安全保障論、国際政治経済論、グローバルガバナンス論、国際協力論、など		
07010	〔理論経済学関連〕 ミクロ経済学、マクロ経済学、ゲーム理論、行動経済学、実験経済学、経済理論、進化経済学、経済制度、経済体制、など	23	社会科学
	〔経済学説および経済思想関連〕 経済学説、経済思想、社会思想、経済哲学、など		
07030	〔経済統計関連〕 統計制度、統計調査、人口統計、所得分布、資産分布、国民経済計算、計量経済学、計量ファイナンス、など	23	社会科学
	〔経済政策関連〕 国際経済学、産業組織論、経済発展論、都市経済学、地域経済、環境資源経済学、日本経済論、経済政策一般、交通経済学、開発経済学、国際開発、など		
07050	〔公共経済および労働経済関連〕 財政学、公共経済学、医療経済学、労働経済学、社会保障論、教育経済学、法と経済学、政治経済学、など	23	社会科学
	〔金融およびファイナンス関連〕 金融論、ファイナンス、国際金融論、企業金融、金融工学、保険論、など		
07070	〔経済史関連〕 経済史、経営史、産業史、など	23	社会科学
	〔経営学関連〕 企業論、経営組織論、経営戦略論、経営管理論、人的資源管理論、技術経営論、国際経営論、経営情報論、経営工学、経営一般、など		
07090	〔商学関連〕 マーケティング論、消費者行動論、流通論、商学一般、ロジスティクス、など	23	社会科学
	〔会計学関連〕 財務会計論、管理会計論、監査論、会計一般、など		
08010	〔社会学関連〕 社会学一般、地域社会、家族、労働、福祉社会学、ジェンダー、メディア、エスニシティ、社会運動、社会調査法、医療社会学、社会人口学、など	24	社会科学
	〔社会福祉学関連〕 ソーシャルワーク、社会福祉政策学、社会事業史、児童福祉、障がい者福祉、高齢者福祉、地域福祉、貧困、ボランティア、社会福祉学一般、など		
08030	〔家政学および生活科学関連〕 生活文化、家庭経済、消費生活、ライフスタイル、衣文化、食文化、住文化、衣生活、食生活、住生活、生活科学一般、家政学一般、家政教育、など	24	社会科学

キーワード表

研究内容 (小区分)	内容の例	対応する研究内容（中区分）、研究分野	
		研究内容 (中区分)	研究分野
09010	〔教育学関連〕	25	社会科学
	教育史、教育哲学、教育方法学、教育評価、教育指導者、学校教育、社会教育、職業教育訓練、生涯学習、教育制度、など		
09020	〔教育社会学関連〕	25	社会科学
	教育社会学、社会化、教育組織、進路キャリア形成、階層格差、ジェンダー、教育政策、比較教育、国際開発、など		
09030	〔子ども学および保育学関連〕	25	社会科学
	子ども学、保育学、子どもの権利、発達、保育の内容方法、子育て施設、保育者、保育子育て支援制度、こども文化、歴史と思想、など		
09040	〔教科教育学および初等中等教育学関連〕	25	社会科学
	各教科の教育、教科外教育、生徒指導、キャリア教育、学校経営、教師教育、ESD、環境教育、リテラシー、など		
09050	〔高等教育学関連〕	25	社会科学
	政策、入学者選抜、カリキュラム、学習進路支援、教職員、学術研究、地域連携貢献、国際化、大学経営、非大学型高等教育、など		
09060	〔特別支援教育関連〕	25	社会科学
	理念と歴史、インクルージョンと共生社会、指導と支援、発達障害、情緒障害、知的障害、言語障害、身体障害、キャリア教育、など		
09070	〔教育工学関連〕	25	社会科学
	カリキュラム開発、教授学習支援システム、メディアの活用、ICTの活用、教師教育、情報リテラシー、など		
09080	〔科学教育関連〕	25	社会科学
	科学教育、科学コミュニケーション、科学リテラシー、科学と社会、など		
10010	〔社会心理学関連〕	26	社会科学
	社会心理学一般、自己、集団、態度と行動、感情、対人関係、社会問題、文化、など		
10020	〔教育心理学関連〕	26	社会科学
	教育心理学一般、発達、家庭、学校、臨床、パーソナリティ、学習、測定評価、など		
10030	〔臨床心理学関連〕	26	社会科学
	臨床心理学一般、心理的障害、アセスメント、心理学的介入、養成訓練、健康、犯罪非行、コミュニティ、など		
10040	〔実験心理学関連〕	26	社会科学
	実験心理学一般、感覚、知覚、注意、記憶、言語、情動、学習、など		
11010	〔代数学関連〕	31	数物系科学
	群論、環論、表現論、代数的組み合わせ論、数論、数論幾何学、代数幾何、代数解析、代数学一般、など		
11020	〔幾何学関連〕	31	数物系科学
	微分幾何学、リーマン幾何学、シンプレクティック幾何学、複素幾何学、位相幾何学、微分位相幾何学、低次元トポロジー、幾何学一般、など		
12010	〔基礎解析学関連〕	32	数物系科学
	函数解析学、複素解析、確率論、調和解析、作用素論、スペクトル解析、作用素環論、代数解析、表現論、基礎解析学一般、など		
12020	〔数理解析学関連〕	32	数物系科学
	函数方程式論、実解析、力学系、変分法、非線形解析、応用解析一般、など		
12030	〔数学基礎関連〕	32	数物系科学
	数学基礎論、情報理論、離散数学、計算機数学、数学基礎一般、など		
12040	〔応用数学および統計数学関連〕	32	数物系科学
	数値解析、数理モデル、最適制御、ゲーム理論、統計数学、応用数学一般、など		

キーワード表

研究内容 (小区分)	内容の例	対応する研究内容（中区分）、研究分野	
		研究内容 (中区分)	研究分野
13010	〔数理物理および物性基礎関連〕	33	数物系科学
	統計物理、物性基礎論、数理物理、非平衡非線形物理、流体物理、計算物理、量子情報理論、など		
13020	〔半導体、光物性および原子物理関連〕	33	数物系科学
	半導体、誘電体、原子分子、メソスコピック系、結晶、表面界面、光物性、量子エレクトロニクス、量子情報、など		
13030	〔磁性、超伝導および強相関系関連〕	33	数物系科学
	磁性、強相関電子系、超伝導、量子流体固体、分子性固体、など		
13040	〔生物物理、化学物理およびソフトマターの物理関連〕	33	数物系科学
	生命現象の物理、生体物質の物理、液体とガラス、ソフトマター、レオロジー、など		
14010	〔プラズマ科学関連〕	34	数物系科学
	基礎プラズマ、磁化プラズマ、レーザープラズマ、強結合プラズマ、プラズマ診断、宇宙天体プラズマ、など		
14020	〔核融合学関連〕	34	数物系科学
	プラズマ閉じ込め、プラズマ制御、プラズマ加熱、プラズマ計測、周辺プラズマ、プラズマ壁相互作用、慣性核融合、核融合材料、核融合システム学、など		
14030	〔プラズマ応用科学関連〕	34	数物系科学
	プラズマプロセス、プラズマフォトンクス、プラズマ材料科学、プラズマ応用一般、など		
80040	〔量子ビーム科学関連〕	34、35	数物系科学
	加速器、ビーム物理、放射線検出器、計測制御、量子ビーム応用、など		
15010	〔素粒子、原子核、宇宙線および宇宙物理に関連する理論〕	35	数物系科学
	素粒子、原子核、宇宙線、宇宙物理、相対論、重力、など		
15020	〔素粒子、原子核、宇宙線および宇宙物理に関連する実験〕	35	数物系科学
	素粒子、原子核、宇宙線、宇宙物理、相対論、重力、など		
16010	〔天文学関連〕	36	数物系科学
	光学赤外線天文学、電波天文学、太陽物理学、位置天文学、理論天文学、X線γ線天文学、など		
17010	〔宇宙惑星科学関連〕	37	数物系科学
	太陽地球系科学、超高層物理学、惑星科学、系外惑星科学、地球外物質科学、など		
17020	〔大気水圏科学関連〕	37	数物系科学
	気候システム学、大気科学、海洋科学、陸水学、雪氷学、古気候学、など		
17030	〔地球人間圏科学関連〕	37	数物系科学
	自然環境科学、自然災害科学、地理空間情報学、第四紀学、資源および鉱床学、など		
17040	〔固体地球科学関連〕	37	数物系科学
	固体地球物理学、地質学、地球内部物質科学、固体地球化学、など		
17050	〔地球生命科学関連〕	37	数物系科学
	生命の起源および進化学、極限生物学、生物地球化学、古環境学、古生物学、など		

キーワード表

研究内容 (小区分)	内容の例	対応する研究内容 (中区分)、研究分野	
		研究内容 (中区分)	研究分野
32010	〔基礎物理化学関連〕 理論化学、分子分光化学、構造化学、電子状態動力学、化学反応ダイナミクス、表面・界面、クラスターとナノ物質、生体関連物理化学、液体構造ダイナミクス、固体物性、分子物性、など	41	化学
	〔機能物性化学関連〕 光物性、スピン、デバイスと分子素子、超分子、液晶、結晶、表面・界面、微粒子、コロイド、電気化学、電子物性、など		
34010	〔無機・錯体化学関連〕 金属錯体化学、有機金属化学、無機固体化学、生物無機化学、溶液化学、クラスター、超分子、配位高分子、典型元素、機能物性、など	41	化学
	〔分析化学関連〕 スペクトル分析、先端計測、表面・界面分析、分離分析、分析試薬、放射化学、電気化学分析、バイオ分析、新分析法、など		
34030	〔グリーンサステナブルケミストリーおよび環境化学関連〕 グリーンプロセス、グリーン触媒、リサイクル、環境計測、環境調和型物質、環境負荷低減、環境修復、省資源、地球化学、環境放射能、など	41	化学
	〔無機物質および無機材料化学関連〕 結晶、アモルファス、セラミックス、半導体、無機デバイス関連材料、低次元化合物関連化学、多孔体関連化学、ナノ粒子関連化学、多元系化合物、ハイブリッド材料、など		
36020	〔エネルギー関連化学〕 エネルギー資源、エネルギー変換材料、エネルギーキャリア関連、光エネルギー利用、物質分離、物質変換と触媒、電池と電気化学材料、省エネルギー材料、再生可能エネルギー、未利用エネルギー、など	41	化学
	〔構造有機化学および物理有機化学関連〕 有機結晶、分子認識、超分子、有機機能物質、拡張 π 電子系化合物、複素環化学、有機元素化学、有機反応機構、有機光化学、理論有機化学、など		
33020	〔有機合成化学関連〕 選択的合成、不斉合成、有機金属錯体、触媒設計、有機分子触媒、生体触媒、環境調和型合成、天然物合成、プロセス化学、有機電気化学、など	42	化学
	〔高分子化学関連〕 高分子合成、高分子反応、精密重合、機能性高分子、自己組織化高分子、キラル高分子、生体関連高分子、高分子物性、高分子構造、高分子薄膜・表面、など		
35020	〔高分子材料関連〕 高分子材料物性、高分子材料合成、高分子機能材料、高分子液晶材料、繊維材料、ゴム材料、ゲル、生体関連高分子材料、高分子複合材料、高分子加工、など	42	化学
	〔有機機能材料関連〕 有機半導体材料、液晶、光学材料、デバイス関連材料、導電機能材料、ハイブリッド材料、分子機能材料、有機複合材料、エネルギー変換材料、など		
37010	〔生体関連化学〕 生物有機化学、生物無機化学、生体反応化学、生体機能化学、生体機能材料、バイオテクノロジー、など	42	化学
	〔生物分子化学関連〕 天然物化学、生物活性分子、活性発現の分子機構、生体機能分子、コンビナトリアル化学、メタボローム解析、など		
37030	〔ケミカルバイオロジー関連〕 生体内機能発現、生体内化学反応、創薬科学、化合物ライブラリー、構造活性相関、化学プローブ、分子計測、分子イメージング、プロテオミクス、など	42	化学

キーワード表

研究内容 (小区分)	内容の例	対応する研究内容（中区分）、研究分野	
		研究内容 (中区分)	研究分野
18010	〔材料力学および機械材料関連〕 構造力学、疲労、破壊、生体力学、材料設計、材料物性、材料評価、など	51	工学系科学
18020	〔加工学および生産工学関連〕 工作機械、機械加工、特殊加工、超精密加工、アディティブマニュファクチャリング、精密計測、生産システム、コンピュータ援用技術、工程設計、など	51	工学系科学
18030	〔設計工学関連〕 製品設計、サービス設計、信頼性設計、保全性設計、ライフサイクルエンジニアリング、リパースエンジニアリング、安全設計、設計学、など	51	工学系科学
18040	〔機械要素およびトライボロジー関連〕 機械要素、機構学、トライボロジー、アクチュエータ、マイクロマシン、など	51	工学系科学
31010	〔原子力工学関連〕 炉物理安全設計、熱流動構造、燃料材料、原子力化学、原子力ライフサイクル、放射線安全、放射線ビーム工学、核融合炉プラズマ工学、核融合炉機器材料工学、原子力社会環境、など	51	工学系科学
31020	〔地球資源工学およびエネルギー学関連〕 地球資源論、資源探査、資源開発、資源循環、資源経済、エネルギーシステム、環境負荷評価、再生可能エネルギー、資源エネルギー技術政策、など	51	工学系科学
19010	〔流体工学関連〕 流体機械、流体計測、数値流体力学、乱流、混相流、圧縮性流体、非圧縮性流体、など	51	工学系科学
19020	〔熱工学関連〕 伝熱、対流、燃焼、熱物性、冷凍空調、熱機関、エネルギー変換、など	51	工学系科学
20010	〔機械力学およびメカトロニクス関連〕 運動学、動力学、振動学、音響学、自動制御、学習制御、メカトロニクス、マイクロナノメカトロニクス、バイオメカニクス、など	51	工学系科学
20020	〔ロボティクスおよび知能機械システム関連〕 ロボティクス、知能機械システム、人間機械システム、ヒューマンインタフェース、プランニング、空間知能化システム、仮想現実感、拡張現実感、など	51	工学系科学
24010	〔航空宇宙工学関連〕 熱流体力学、構造強度、推進、航空宇宙機設計、生産技術、航空機システム、特殊航空機、航行ダイナミクス、宇宙機システム、宇宙利用、など	51	工学系科学
24020	〔船舶海洋工学関連〕 航行性能、構造体力学、設計、生産技術、船用機関、海上輸送、海洋開発工学、海中工学、極地工学、海洋環境技術、など	51	工学系科学
21010	〔電力工学関連〕 電気エネルギー関連、省エネルギー、電力系統工学、電気機器、パワーエレクトロニクス、電気有効利用、電磁環境、など	52	工学系科学
21020	〔通信工学関連〕 情報理論、非線形理論、信号処理、有線通信方式、無線通信方式、変復調、アンテナ、ネットワーク、マルチメディア通信、暗号、など	52	工学系科学
21030	〔計測工学関連〕 計測理論、計測機器、波動応用計測、システム化技術、信号情報処理、センシングデバイス、など	52	工学系科学
21040	〔制御およびシステム工学関連〕 制御理論、システム理論、制御システム、知能システム、システム情報処理、システム制御応用、バイオシステム工学、など	52	工学系科学
21050	〔電気電子材料工学関連〕 半導体、誘電体、磁性体、有機物、超伝導体、複合材料、薄膜、量子構造、厚膜、作製評価技術、など	52	工学系科学
21060	〔電子デバイスおよび電子機器関連〕 電子デバイス、回路設計、光デバイス、スピンドデバイス、ミリ波テラヘルツ波、波動応用デバイス、ストレージ、ディスプレイ、微細プロセス技術、実装技術、など	52	工学系科学

キーワード表

研究内容 (小区分)	内容の例	対応する研究内容（中区分）、研究分野	
		研究内容 (中区分)	研究分野
29010	〔応用物性関連〕 磁性体、超伝導体、誘電体、微粒子、有機分子、液晶、新機能材料、有機分子バイオエレクトロニクス、スピントロニクス、など	52	工学系科学
29020	〔薄膜および表面界面物性関連〕 薄膜工学、薄膜エレクトロニクス、酸化物エレクトロニクス、真空、表面科学、分析、計測、ナノ顕微技術、表面界面制御、先端機器、など	52	工学系科学
29030	〔応用物理一般関連〕 基本物理量、標準、単位、物理量計測、物理量検出、エネルギー変換、など	52	工学系科学
30010	〔結晶工学関連〕 金属材料、半導体材料、セラミックス材料、非晶質材料、結晶成長プロセス、人工構造、結晶評価、プラズマ材料工学、プラズマプロセス応用、プラズマ工学、など	52	工学系科学
30020	〔光工学および光量子科学関連〕 光材料、光学素子、光物性、光情報処理、レーザー、光計測、光記録、光エレクトロニクス、非線形光学、視覚光学、など	52	工学系科学
22010	〔土木材料、施工および建設マネジメント関連〕 コンクリート、鋼材、複合材料、木材、舗装材料、補修補強材料、施工、維持管理、建設マネジメント、地下空間、など	53	工学系科学
22020	〔構造工学および地震工学関連〕 応用力学、構造工学、鋼構造、コンクリート構造、複合構造、風工学、地震工学、耐震構造、地震防災、など	53	工学系科学
22030	〔地盤工学関連〕 土質力学、基礎工学、岩盤工学、土木地質、地盤の挙動、土構造物、地盤防災、地盤環境工学、トンネル工学、土壌環境、など	53	工学系科学
22040	〔水工学関連〕 水理学、環境水理学、水文学、河川工学、水資源工学、海岸工学、港湾工学、海洋工学、など	53	工学系科学
22050	〔土木計画学および交通工学関連〕 土木計画、地域都市計画、国土計画、防災計画、交通計画、交通工学、鉄道工学、測量・リモートセンシング、景観デザイン、土木史、など	53	工学系科学
22060	〔土木環境システム関連〕 環境計画、環境システム、環境保全、用排水システム、廃棄物、水環境、大気循環、騒音振動、環境生態、環境モニタリング、など	53	工学系科学
25010	〔社会システム工学関連〕 社会システム、経営工学、オペレーションズリサーチ、インダストリアルマネジメント、信頼性工学、政策科学、規制科学、品質管理、など	53	工学系科学
25020	〔安全工学関連〕 安全工学、安全システム、リスク工学、リスクマネジメント、労働安全、製品安全、安全情報、人間工学、信頼性工学、など	53	工学系科学
25030	〔防災工学関連〕 災害予測、ハザードマップ、建造物防災、ライフライン防災、地域防災計画、災害リスク評価、防災政策、災害レジリエンス、など	53	工学系科学
23010	〔建築構造および材料関連〕 荷重論、構造解析、構造設計、各種構造、耐震設計、基礎構造、地盤、構造材料、維持管理、建築工法、など	53	工学系科学
23020	〔建築環境および建築設備関連〕 音環境、振動環境、光環境、熱環境、空気環境、環境心理生理、建築設備、火災工学、都市環境、環境設計、など	53	工学系科学
23030	〔建築計画および都市計画関連〕 計画論、設計論、住宅論、各種建物、都市計画、行政、建築経済、生産管理、防災計画、景観、など	53	工学系科学
23040	〔建築史および意匠関連〕 建築史、都市史、建築論、意匠、景観、保存、再生、など	53	工学系科学

キーワード表

研究内容 (小区分)	内容の例	対応する研究内容（中区分）、研究分野	
		研究内容 (中区分)	研究分野
26010	〔金属材料物性関連〕	54	工学系科学
	電気磁気物性、電子情報物性、準安定状態、拡散、相変態、状態図、結晶格子欠陥、力学物性、熱光物性、材料計算科学、など		
26020	〔無機材料および物性関連〕	54	工学系科学
	機能性セラミックス、機能性ガラス、構造用セラミックス、カーボン系材料、結晶構造解析、組織制御、電気物性、力学物性、物理的・化学的性質、粒界物性、など		
26030	〔複合材料および界面関連〕	54	工学系科学
	機能性複合材料、構造用複合材料、生体用複合材料、複合高分子、表面処理、分散制御、接合、接着、界面物性、傾斜機能、など		
26040	〔構造材料および機能材料関連〕	54	工学系科学
	社会基盤構造材料、靱性、医療福祉材料、機能性高分子材料、信頼性、光機能材料、センサー材料、エネルギー材料、電池機能材料、環境機能材料、など		
26050	〔材料加工および組織制御関連〕	54	工学系科学
	加工成形、加工熱処理、結晶組織制御、レーザー加工、精密加工、研磨、粉末冶金、コーティング、めっき、腐食防食、など		
26060	〔金属生産および資源生産関連〕	54	工学系科学
	分離精製、融解凝固、結晶成長、鑄造、資源保障確保、希少資源代替、低環境負荷、リサイクル、エコマテリアル、省エネルギー、など		
27010	〔移動現象および単位操作関連〕	54	工学系科学
	相平衡、輸送物性、移動速度論、流体系単位操作、吸着、膜分離、攪拌混合操作、粉粒体操作、晶析操作、製膜成形、など		
27020	〔反応工学およびプロセスシステム工学関連〕	54	工学系科学
	反応操作論、新規反応場、反応機構、反応装置設計、材料合成プロセス、マイクロプロセス、プロセス制御、プロセスシステム設計、プロセス情報処理、など		
27030	〔触媒プロセスおよび資源化学プロセス関連〕	54	工学系科学
	触媒反応論、触媒調製化学、触媒機能、エネルギー変換プロセス、エネルギー開発、省エネルギー技術、資源有効利用技術、など		
27040	〔バイオ機能応用およびバイオプロセス工学関連〕	54	工学系科学
	生体触媒工学、生物機能応用工学、食品工学、医用化学工学、バイオ生産プロセス、ナノバイオプロセス、バイオリクター、バイオセパレーション、バイオセンサー、バイオリファイナリー、など		
28010	〔ナノ構造化学関連〕	54	工学系科学
	ナノ構造作製、クラスター、ナノ粒子、メゾスコピック化学、超構造、ナノ表面、ナノ界面、自己組織化、ナノカーボン化学、分子デバイス、ナノ光デバイス、など		
28020	〔ナノ構造物理関連〕	54	工学系科学
	ナノ物性、ナノプローブ、量子効果、量子ドット、量子デバイス、電子デバイス、スピンドデバイス、ナノトライポロジー、ナノカーボン物理、など		
28030	〔ナノ材料科学関連〕	54	工学系科学
	ナノ材料創製、ナノ材料解析、ナノ表面、ナノ界面、ナノ機能材料、ナノ構造、ナノ粒子、ナノカーボン材料、ナノ結晶材料、ナノコンポジット、ナノ欠陥、ナノ加工プロセス、など		
28040	〔ナノバイオサイエンス関連〕	54	工学系科学
	バイオ分子デバイス、分子マニピュレーション、分子イメージング、ナノ計測、ナノ合成、1分子科学、ナノバイオインターフェース、バイオ分子アレイ、ゲノム工学、など		
28050	〔ナノマイクロシステム関連〕	54	工学系科学
	MEMS、NEMS、BioMEMS、ナノマイクロ加工、ナノマイクロ光デバイス、ナノマイクロ化学システム、ナノマイクロバイオシステム、ナノマイクロ生体システム、ナノマイクロメカニクス、ナノマイクロセンサー、など		

キーワード表

研究内容 (小区分)	内容の例	対応する研究内容（中区分）、研究分野	
		研究内容 (中区分)	研究分野
60010	〔情報学基礎論関連〕 離散構造、数理論理学、計算理論、プログラム理論、計算量理論、アルゴリズム理論、情報理論、符号理論、暗号理論、学習理論、など	61	情報学
60020	〔数理情報学関連〕 最適化理論、数理システム理論、システム制御理論、システム分析、システム方法論、システムモデリング、システムシミュレーション、組合せ最適化、待ち行列論、数理ファイナンス、など	61	情報学
60030	〔統計科学関連〕 統計学、データサイエンス、モデル化、統計的推測、多変量解析、時系列解析、統計の品質管理、応用統計学、など	61	情報学
60040	〔計算機システム関連〕 計算機アーキテクチャ、回路とシステム、LSI設計、LSIテスト、リコンフィギュラブルシステム、ディペンダブルアーキテクチャ、低消費電力技術、ハードウェア・ソフトウェア協調設計、組込みシステム、など	61	情報学
60050	〔ソフトウェア関連〕 プログラミング言語、プログラミング方法論、オペレーティングシステム、並列分散処理、ソフトウェア工学、仮想化技術、クラウドコンピューティング、ソフトウェアディペンダビリティ、ソフトウェアセキュリティ、など	61	情報学
60060	〔情報ネットワーク関連〕 ネットワークアーキテクチャ、ネットワークプロトコル、インターネット、モバイルネットワーク、パーベイシブコンピューティング、センサーネットワーク、IoT、トラフィックエンジニアリング、ネットワーク管理、サービス構築基盤技術、など	61	情報学
60070	〔情報セキュリティ関連〕 暗号、耐タンパー技術、認証、バイオメトリクス、アクセス制御、マルウェア対策、サービス妨害攻撃対策、プライバシー保護、デジタルフォレンジクス、セキュリティ評価認証、など	61	情報学
60080	〔データベース関連〕 データモデル、データベースシステム、マルチメディアデータベース、情報検索、コンテンツ管理、メタデータ、ビッグデータ、地理情報システム、など	61	情報学
60090	〔高性能計算関連〕 並列処理、分散処理、クラウドコンピューティング、数値解析、可視化、コンピュータグラフィクス、高性能計算アプリケーション、など	61	情報学
60100	〔計算科学関連〕 数理工学、計算力学、数値シミュレーション、マルチスケール、大規模計算、超並列計算、数値計算手法、先進アルゴリズム、など	61	情報学
62010	〔生命、健康および医療情報学関連〕 バイオインフォマティクス、生命情報、生体情報、ニューロインフォマティクス、脳型情報処理、生命分子計算、DNAコンピュータ、医療情報、健康情報、医用画像、など	61	情報学
62020	〔ウェブ情報学およびサービス情報学関連〕 ウェブシステム、ソーシャルウェブ、セマンティックウェブ、ウェブマイニング、社会ネットワーク分析、サービス工学、教育サービス、医療サービス、福祉サービス、社会サービス、情報文化、など	61	情報学
62030	〔学習支援システム関連〕 メディアリテラシー、学習メディア、ソーシャルメディア、学習コンテンツ、学習管理、学習支援、遠隔学習、eラーニング、など	61	情報学
62040	〔エンタテインメントおよびゲーム情報学関連〕 音楽情報処理、3Dコンテンツ、アニメーション、ゲームプログラミング、ネットワークエンタテインメント、メディアアート、デジタルミュージアム、体験デザイン、など	61	情報学

キーワード表

研究内容 (小区分)	内容の例	対応する研究内容（中区分）、研究分野	
		研究内容 (中区分)	研究分野
61010	〔知覚情報処理関連〕	62	情報学
	パターン認識、画像処理、コンピュータビジョン、視覚メディア処理、音メディア処理、メディア編集、メディアデータベース、センシング、センサ融合、など		
61020	〔ヒューマンインタフェースおよびインタラクション関連〕	62	情報学
	ヒューマンインタフェース、マルチモーダルインタフェース、ヒューマンコンピュータインタラクション、協同作業環境、バーチャルリアリティ、拡張現実、臨場感コミュニケーション、ウェアラブル機器、ユーザビリティ、人間工学、など		
61030	〔知能情報学関連〕 探索、推論、機械学習、知識獲得、知的システム、知能情報処理、自然言語処理、データマイニング、オントロジー、エージェントシステム、など	62	情報学
61040	〔ソフトコンピューティング関連〕	62	情報学
	ニューラルネットワーク、進化計算、ファジィ理論、カオス、複雑系、確率の情報処理、など		
61050	〔知能ロボティクス関連〕	62	情報学
	知能ロボット、行動環境認識、プランニング、感覚行動システム、自律システム、デジタルヒューマン、実世界情報処理、物理エージェント、知能化空間、など		
61060	〔感性情報学関連〕	62	情報学
	感性デザイン学、感性認知科学、感性心理学、感性ロボティクス、感性計測評価、感性インタフェース、感性生理学、感性材料科学、感性教育学、感性脳科学、など		
43010	〔分子生物学関連〕	71	生物系科学
	染色体機能、クロマチン、エピジェネティクス、遺伝情報の維持、遺伝情報の継承、遺伝情報の再編、遺伝情報の発現、タンパク質の機能調節、分子遺伝、など		
43020	〔構造生物化学関連〕	71	生物系科学
	タンパク質、核酸、脂質、糖、生体膜、分子認識、変性、立体構造解析、立体構造予測、分子動力学、など		
43030	〔機能生物化学関連〕	71	生物系科学
	酵素、糖鎖、生体エネルギー変換、生体微量元素、生理活性物質、細胞情報伝達、膜輸送、タンパク質分解、分子認識、など		
43040	〔生物物理学関連〕	71	生物系科学
	構造生物学、生体分子の物性、生体膜、光生物、分子モーター、生体計測、バイオイメージング、システム生物学、合成生物学、理論生物学、など		
43050	〔ゲノム生物学関連〕	71	生物系科学
	ゲノム構造、ゲノム機能、ゲノム多様性、ゲノム分子進化、ゲノム修復維持、トランスオミックス、エピゲノム、遺伝子資源、ゲノム動態、など		
43060	〔システムゲノム科学関連〕	71	生物系科学
	ネットワーク解析、合成生物学、バイオデータベース、バイオインフォマティクス、ゲノム解析技術、ゲノム生物学、など		
44010	〔細胞生物学関連〕	72	生物系科学
	細胞骨格、タンパク質分解、オルガネラの動態、核の構造機能、細胞外マトリックス、シグナル伝達、細胞周期、細胞運動、細胞間相互作用、細胞遺伝、など		
44020	〔発生生物学関連〕	72	生物系科学
	細胞分化、幹細胞、再生、胚葉形成、形態形成、器官形成、受精、生殖細胞、遺伝子発現調節、発生遺伝、進化発生、など		
44030	〔植物分子および生理科学関連〕	72	生物系科学
	光合成、成長生理、植物発生、オルガネラ、細胞壁、環境応答、植物微生物相互作用、代謝、植物分子機能、など		
44040	〔形態および構造関連〕	72	生物系科学
	動植物形態、微生物形態、分子形態、微細構造、組織構築、形態形成、比較内分泌、顕微鏡技術、イメージング、など		
44050	〔動物生理化学、生理学および行動学関連〕	72	生物系科学
	代謝生理、神経生理、神経行動、行動生理、動物生理化学、時間生物学、比較生理学、など		

キーワード表

研究内容 (小区分)	内容の例	対応する研究内容（中区分）、研究分野	
		研究内容 (中区分)	研究分野
45010	〔遺伝学関連〕	73	生物系科学
	遺伝機構、分子遺伝、細胞遺伝、集団遺伝、進化遺伝、発生遺伝、行動遺伝、遺伝的多様性、など		
45020	〔進化生物学関連〕	73	生物系科学
	進化全般、分子進化、表現型進化、発生進化、生態進化、行動進化、実験進化、進化理論、共生進化、系統進化、種分化、など		
45030	〔多様性生物学および分類学関連〕	73	生物系科学
	分類形質、分類群、分類体系、多様性全般、系統、進化、自然史、種分化、など		
45040	〔生態学および環境学関連〕	73	生物系科学
	化学生態、分子生態、生理生態、進化生態、行動生態、個体群生態、群集生態、生態系、保全生態、自然環境、など		
45050	〔自然人類学関連〕	73	生物系科学
	分子と遺伝、形態全般、骨考古全般、行動認知、生態、霊長類、進化、個体発生、変異、など		
45060	〔応用人類学関連〕	73	生物系科学
	生理人類学、人間工学、法医人類学、医療人類学、生理的多型性、環境適応能全般、生体機能全般、生体計測全般、など		
46010	〔神経科学一般関連〕	74	生物系科学
	神経化学、神経細胞、グリア細胞、ゲノム、エピジェネティクス、神経生物、情報処理、シナプス、神経発生、など		
46020	〔神経形態学関連〕	74	生物系科学
	形態形成、脳構造、回路構造、神経病理、など		
46030	〔神経機能学関連〕	74	生物系科学
	神経生理、神経薬理、情報伝達、情報処理、行動、システム生理、脳循環、自律神経、など		
38010	〔植物栄養学および土壌学関連〕	81	農学・環境学
	植物代謝生理、植物の栄養元素、土壌分類、土壌物理化学、土壌生物、など		
38020	〔応用微生物学関連〕	81	農学・環境学
	微生物遺伝育種、微生物機能、微生物代謝生理、微生物利用、微生物制御、微生物生態、物質生産、など		
38030	〔応用生物化学関連〕	81	農学・環境学
	細胞生化学、応用生化学、構造生物学、活性制御、代謝生理、細胞機能、分子機能、物質生産、など		
38040	〔生物有機化学関連〕	81	農学・環境学
	生物活性物質、シグナル伝達調節物質、天然物化学、天然物生合成、構造活性相関、有機合成化学、ケミカルバイオロジー、など		
38050	〔食品科学関連〕	81	農学・環境学
	食品機能、食品化学、栄養化学、食品分析、食品工学、食品衛生、機能性食品、栄養疫学、臨床栄養、など		
38060	〔応用分子細胞生物学関連〕	81	農学・環境学
	分子細胞生物学、細胞生物工学、機能分子工学、発現制御、細胞分子間相互作用、細胞機能、物質生産、など		

キーワード表

研究内容 (小区分)	内容の例	対応する研究内容（中区分）、研究分野	
		研究内容 (中区分)	研究分野
39010	〔遺伝育種科学関連〕 遺伝資源、育種理論、ゲノム育種、新規形質創生、品質成分、ストレス耐性、収量性、生殖増殖、生長生理、発生、など	82	農学・環境学
39020	〔作物生産科学関連〕 土地利用型作物、作物収量、作物品質、作物形態、生育予測、作物生理、耕地管理、低コスト栽培技術、環境保全型農業、耕地生態系、など	82	農学・環境学
39030	〔園芸科学関連〕 成長開花結実制御、種苗生産、作型、栽培技術、施設園芸、環境制御、品種開発、品質、ポストハーベスト、社会園芸、など	82	農学・環境学
39040	〔植物保護科学関連〕 植物病理学、植物医科学、農業害虫、天敵、雑草、農薬、総合的有害生物管理、など	82	農学・環境学
39050	〔昆虫科学関連〕 蚕系昆虫利用学、昆虫遺伝、昆虫病理、昆虫生理生化学、昆虫生態、化学生態学、系統分類、寄生・共生、社会性昆虫、衛生昆虫、など	82	農学・環境学
39060	〔生物資源保全学関連〕 保全生物、生物多様性保全、系統生物保全、遺伝子資源保全、生態系保全、在来種保全、微生物保全、など	82	農学・環境学
39070	〔ランドスケープ科学関連〕 造園、緑地計画、景観計画、文化的景観、自然環境保全、ランドスケープエコロジー、公園緑地管理、公園、環境緑化、参加型まちづくり、など	82	農学・環境学
41010	〔食料農業経済関連〕 食料消費経済、農業生産経済、農林水産政策、フードシステム、食料マーケティング、国際農業開発、農畜産物貿易、農村資源環境、など	82	農学・環境学
41020	〔農業社会構造関連〕 農業経営組織、農業経営管理、農業構造、農業市場、農業史、農村社会、農村生活、協同組合、など	82	農学・環境学
41030	〔地域環境工学および農村計画学関連〕 灌漑排水、農地整備、農村計画、地域環境、資源エネルギー循環、地域防災、農業用施設ストックマネジメント、水理水文、土壌物理、材料施工、など	82	農学・環境学
41040	〔農業環境工学および農業情報工学関連〕 生物生産施設、農業機械システム、生産環境調節、農業気象環境、農業情報システム、施設園芸、植物工場、農産物貯蔵流通加工、非破壊生体計測、遠隔計測情報処理、など	82	農学・環境学
41050	〔環境農学関連〕 バイオマス、環境利用改善、生物多様性、環境分析、生態系サービス、資源循環システム、低炭素社会、ライフサイクルアセスメント、環境調和型農業、流域管理、など	82	農学・環境学
40010	〔森林科学関連〕 森林生態、森林生物多様性、森林遺伝育種、造林、森林保護、森林環境、山地保全、森林計画、森林政策、など	83	農学・環境学
40020	〔木質科学関連〕 組織構造、材質、リグノセルロース、微量成分、菌類、木材加工、バイオマスリファイナリー、木質材料、木造建築、林産教育、など	83	農学・環境学
40030	〔水圏生産科学関連〕 水圏環境、漁業、水産資源管理、水圏生物、水圏生態系、水産増殖、水産工学、水産政策、水産経営経済、水産教育、など	83	農学・環境学
40040	〔水圏生命科学関連〕 水生生物栄養、水生生物病理、水生生物繁殖育種、水生生物生理、水生生物利用、水生生物化学、水生生物工学、水産食品科学、など	83	農学・環境学

キーワード表

研究内容 (小区分)	内容の例	対応する研究内容（中区分）、研究分野	
		研究内容 (中区分)	研究分野
42010	〔動物生産科学関連〕	84	農学・環境学
	遺伝育種、繁殖、栄養飼養、形態生理、畜産物利用、環境管理、行動、アニマルセラピー、草地、放牧、など		
42020	〔獣医学関連〕	84	農学・環境学
	基礎獣医学、病態獣医学、応用獣医学、臨床獣医学、動物看護、動物福祉、野生動物、など		
42030	〔動物生命科学関連〕	84	農学・環境学
	恒常性、細胞機能、生体防御、総合遺伝、発生分化、生命工学、など		
42040	〔実験動物学関連〕	84	農学・環境学
	遺伝子工学、発生工学、疾患モデル、施設整備、実験動物福祉、実験動物関連技術、バイオリソース、など		
63010	〔環境動態解析関連〕	85	農学・環境学
	地球温暖化、環境変動、水・物質循環、極域、化学海洋、生物海洋、環境計測、環境モデル、環境情報、リモートセンシング、など		
63020	〔放射線影響関連〕	85	農学・環境学
	放射線、測定、管理、修復、生物影響、リスク、など		
63030	〔化学物質影響関連〕	85	農学・環境学
	トキシコロジー、人体有害物質、微量化学物質、内分泌かく乱物質、修復、など		
63040	〔環境影響評価関連〕	85	農学・環境学
	大気圏、水圏、陸圏、健康影響評価、社会経済影響評価、次世代影響評価、環境アセスメント、評価手法、モニタリング、シミュレーション、など		
64010	〔環境負荷およびリスク評価管理関連〕	85	農学・環境学
	環境分析技術、環境負荷解析、調査モニタリング、汚染質動態、モデリング、汚染質評価、暴露評価、毒性評価、リスク評価管理、化学物質管理、など		
64020	〔環境負荷低減技術および保全修復技術関連〕	85	農学・環境学
	汚染物質除去技術、廃棄物処理技術、排出発生抑制、適正処理処分、環境負荷低減、汚染修復技術、騒音振動対策、地盤沈下等対策、生物機能利用、放射能除染、など		
64030	〔環境材料およびリサイクル技術関連〕	85	農学・環境学
	循環再生材料、有価物回収、分離精製高純度化、環境配慮設計、リサイクル化学、グリーンプロダクション、ゼロエミッション、資源循環、再生可能エネルギー、バイオマス利活用、など		
64040	〔自然共生システム関連〕	85	農学・環境学
	生物多様性、保全生物、生態系サービス、自然資本、生態系影響解析、生態系管理、生態系修復、生態工学、地域環境計画、気候変動影響、など		
64050	〔循環型社会システム関連〕	85	農学・環境学
	物質循環システム、物質エネルギー収支解析、低炭素社会、未利用エネルギー、地域創生、水システム、産業共生、ライフサイクル評価、統合的環境管理、3R社会システム、など		
64060	〔環境政策および環境配慮型社会関連〕	85	農学・環境学
	環境理念、環境法、環境経済、環境情報、環境教育、環境社会活動、環境マネジメント、合意形成、安全安心、社会公共システム、持続可能発展、など		

キーワード表

研究内容 (小区分)	内容の例	対応する研究内容（中区分）、研究分野	
		研究内容 (中区分)	研究分野
47010	〔薬系化学および創薬科学関連〕	91	医歯薬学
	無機化学、有機化学、医薬品化学、医薬分子設計、医薬品探索、生体関連物質、ケミカルバイオロジー、など		
47020	〔薬系分析および物理化学関連〕	91	医歯薬学
	環境分析、生体分析、物理化学、生物物理、構造解析、放射化学、イメージング、製剤設計、計算科学、情報科学、など		
47030	〔薬系衛生および生物化学関連〕	91	医歯薬学
	環境衛生、健康栄養、疾病予防、毒性学、薬物代謝、生体防御、分子生物学、細胞生物学、生化学、など		
47040	〔薬理学関連(A)〕	91	医歯薬学
	薬理学、ゲノム薬理学、応用薬理学、シグナル伝達、薬物相互作用、薬物応答、薬物治療、安全性学、など		
47050	〔環境および天然医薬資源学関連〕	91	医歯薬学
	環境資源学、天然物化学、天然活性物質、薬用資源、薬用食品、微生物薬品学、など		
47060	〔医療薬学関連〕	91	医歯薬学
	薬物動態学、医療情報学、社会薬学、医療薬学、医療薬剤学、レギュラトリーサイエンス、薬剤師教育、など		
48010	〔解剖学関連〕	92	医歯薬学
	解剖学、組織学、発生学、など		
48020	〔生理学関連〕	92	医歯薬学
	一般生理学、病態生理学、比較生理学、環境生理学、など		
48030	〔薬理学関連(B)〕	92	医歯薬学
	ゲノム薬理、分子細胞薬理、病態薬理、行動薬理、創薬薬理学、臨床薬理、など		
48040	〔医化学関連〕	92	医歯薬学
	生体機能分子医化学、ゲノム医科学、人類遺伝学、疾患モデル、など		
49010	〔病態医化学関連〕	93	医歯薬学
	分子病態、代謝異常、分子診断、など		
49020	〔人体病理学関連〕	93	医歯薬学
	分子病理、細胞組織病理、診断病理、など		
49030	〔実験病理学関連〕	93	医歯薬学
	疾患モデル、病態制御、組織再生、など		
49040	〔寄生虫学関連〕	93	医歯薬学
	寄生虫、媒介生物、寄生虫病原性、寄生虫疫学、寄生虫感染制御、など		
49050	〔細菌学関連〕	93	医歯薬学
	細菌、真菌、薬剤耐性、細菌病原性、細菌疫学、細菌感染制御、など		
49060	〔ウイルス学関連〕	93	医歯薬学
	ウイルス、プリオン、ウイルス病原性、ウイルス疫学、ウイルス感染制御、など		
49070	〔免疫学関連〕	93	医歯薬学
	免疫システム、免疫応答、炎症、免疫疾患、免疫制御、など		

キーワード表

研究内容 (小区分)	内容の例	対応する研究内容 (中区分)、研究分野	
		研究内容 (中区分)	研究分野
50010	〔腫瘍生物学関連〕 がんと遺伝子、腫瘍形成、浸潤、転移、がん微小環境、がんとシグナル伝達、がん細胞の特性、など	94	医歯薬学
50020	〔腫瘍診断および治療学関連〕 ゲノム解析、診断マーカー、分子イメージング、化学療法、核酸治療、遺伝子治療、免疫療法、標的治療、物理療法、放射線療法、など	94	医歯薬学
51010	〔基盤脳科学関連〕 ブレインマシンインターフェイス、モデル動物、計算論、デコーディング、操作技術、脳画像、計測科学、など	94	医歯薬学
51020	〔認知脳科学関連〕 社会行動、コミュニケーション、情動、意志決定、意識、学習、ニューロエコノミクス、神経心理、など	94	医歯薬学
51030	〔病態神経科学関連〕 臨床神経科学、疼痛学、感覚異常、運動異常、神経疾患、神経再生、神経免疫、細胞変性、病態モデル、など	94	医歯薬学
52010	〔内科学一般関連〕 臨床検査医学、総合診療、老年医学、心療内科、東洋医学、緩和医療、など	95	医歯薬学
52020	〔神経内科学関連〕 神経内科学、神経機能画像学、など	95	医歯薬学
52030	〔精神神経科学関連〕 臨床精神医学、基礎精神医学、司法精神医学、など	95	医歯薬学
52040	〔放射線科学関連〕 画像診断学、放射線治療学、放射線基礎医学、放射線技術学、など	95	医歯薬学
52050	〔胎児医学および小児成育学関連〕 胎児医学、新生児医学、小児科学、など	95	医歯薬学
53010	〔消化器内科学関連〕 上部消化管、下部消化管、肝臓、胆道、膵臓、など	95	医歯薬学
53020	〔循環器内科学関連〕 虚血性心疾患、心臓弁膜症、不整脈、心筋症、心不全、末梢動脈疾患、動脈硬化、高血圧、など	95	医歯薬学
53030	〔呼吸器内科学関連〕 呼吸器内科学、喘息、びまん性肺疾患、COPD、肺がん、肺高血圧、など	95	医歯薬学
53040	〔腎臓内科学関連〕 急性腎障害、慢性腎臓病、糖尿病性腎症、高血圧、水電解質代謝、人工透析、など	95	医歯薬学
53050	〔皮膚科学関連〕 皮膚科学、皮膚免疫疾患、皮膚感染、皮膚腫瘍、など	95	医歯薬学
54010	〔血液および腫瘍内科学関連〕 血液腫瘍学、血液免疫学、貧血、血栓止血、化学療法、など	95	医歯薬学
54020	〔膠原病およびアレルギー内科学関連〕 膠原病学、アレルギー学、臨床免疫学、炎症学、など	95	医歯薬学
54030	〔感染症内科学関連〕 感染症診断学、感染症治療学、生体防御学、国際感染症学、など	95	医歯薬学
54040	〔代謝および内分泌学関連〕 エネルギー代謝、糖代謝、脂質代謝、プリン代謝、骨代謝、電解質代謝、内分泌学、神経内分泌学、生殖内分泌学、など	95	医歯薬学

キーワード表

研究内容 (小区分)	内容の例	対応する研究内容（中区分）、研究分野	
		研究内容 (中区分)	研究分野
55010	〔外科学一般および小児外科学関連〕	96	医歯薬学
	外科総論、乳腺外科、内分泌外科、小児外科、移植、人工臓器、再生、手術支援、など		
55020	〔消化器外科学関連〕	96	医歯薬学
	上部消化管外科、下部消化管外科、肝臓外科、胆道外科、膵臓外科、など		
55030	〔心臓血管外科学関連〕	96	医歯薬学
	冠動脈外科、弁膜疾患外科、心筋疾患外科、大血管外科、脈管外科、先天性心疾患、など		
55040	〔呼吸器外科学関連〕	96	医歯薬学
	肺外科、縦隔外科、胸壁外科、気道外科、など		
55050	〔麻酔科学関連〕	96	医歯薬学
	麻酔、周術期管理、疼痛管理、蘇生、緩和医療、など		
55060	〔救急医学関連〕	96	医歯薬学
	集中治療、救急救命、外傷外科、災害医学、災害医療、など		
56010	〔脳神経外科学関連〕	96	医歯薬学
	脳神経外科学、脊髄脊椎疾患学、など		
56020	〔整形外科学関連〕	96	医歯薬学
	整形外科学、リハビリテーション学、スポーツ医学、など		
56030	〔泌尿器科学関連〕	96	医歯薬学
	泌尿器科学、男性生殖器学、など		
56040	〔産婦人科学関連〕	96	医歯薬学
	周産期学、生殖内分泌学、婦人科腫瘍学、女性ヘルスケア学、など		
56050	〔耳鼻咽喉科学関連〕	96	医歯薬学
	耳鼻咽喉科学、頭頸部外科学、など		
56060	〔眼科学関連〕	96	医歯薬学
	眼科学、眼光学、など		
56070	〔形成外科学関連〕	96	医歯薬学
	形成外科学、再建外科学、美容外科学、など		
57010	〔常態系口腔科学関連〕	97	医歯薬学
	口腔解剖学、口腔組織発生学、口腔生理学、口腔生化学、硬組織薬理学、など		
57020	〔病態系口腔科学関連〕	97	医歯薬学
	口腔感染症学、口腔病理学、口腔腫瘍学、免疫炎症科学、病態検査学、など		
57030	〔保存治療系歯学関連〕	97	医歯薬学
	保存修復学、歯内治療学、歯周病学、など		
57040	〔口腔再生医学および歯科医用工学関連〕	97	医歯薬学
	口腔再生医学、生体材料、歯科材料学、顎顔面補綴学、歯科インプラント学、など		
57050	〔補綴系歯学関連〕	97	医歯薬学
	歯科補綴学、咀嚼嚥下機能回復学、老年歯科医学、など		

キーワード表

研究内容 (小区分)	内容の例	対応する研究内容（中区分）、研究分野	
		研究内容 (中区分)	研究分野
57060	〔外科系歯学関連〕 口腔外科学、顎顔面再建外科学、歯科麻酔学、歯科心身医学、歯科放射線学、など	97	医歯薬学
57070	〔成長および発育系歯学関連〕 歯科矯正学、小児歯科学、など	97	医歯薬学
57080	〔社会系歯学関連〕 口腔衛生学、予防歯科学、口腔保健学、歯科医療管理学、歯学教育学、歯科法医学、など	97	医歯薬学
58010	〔医療管理学および医療系社会学関連〕 医療管理学、医療社会学、医学倫理、医療倫理、医歯薬学教育、医学史、医療経済学、臨床試験、保健医療行政、災害医学、など	98	医歯薬学
58020	〔衛生学および公衆衛生学分野関連：実験系を含む〕 衛生学、公衆衛生学、疫学、国際保健、など	98	医歯薬学
58030	〔衛生学および公衆衛生学分野関連：実験系を含まない〕 衛生学、公衆衛生学、疫学、国際保健、など	98	医歯薬学
58040	〔法医学関連〕 法医学、法医病理、法中毒、法医遺伝、自殺、虐待、突然死、など	98	医歯薬学
58050	〔基礎看護学関連〕 基礎看護学、看護教育学、看護管理学、など	98	医歯薬学
58060	〔臨床看護学関連〕 重篤救急看護学、周術期看護学、慢性病看護学、がん看護学、精神看護学、緩和ケア、など	98	医歯薬学
58070	〔生涯発達看護学関連〕 女性看護学、母性看護学、助産学、家族看護学、小児看護学、学校看護学、など	98	医歯薬学
58080	〔高齢者看護学および地域看護学関連〕 高齢者看護学、地域看護学、公衆衛生看護学、災害看護学、など	98	医歯薬学
59010	〔リハビリテーション科学関連〕 リハビリテーション医学、リハビリテーション看護学、リハビリテーション医療、理学療法学、作業療法学、福祉工学、言語聴覚療法学、など	98	医歯薬学
59020	〔スポーツ科学関連〕 スポーツ生理学、スポーツ生化学、スポーツ医学、スポーツ社会学、スポーツ経営学、スポーツ心理学、スポーツ教育学、トレーニング科学、スポーツバイオメカニクス、アダプテッドスポーツ科学、ドーピング、など	98	医歯薬学
59030	〔体育および身体教育学関連〕 発育発達、身体教育、学校教育、教育生理学、身体システム学、脳高次機能学、武道論、野外教育、など	98	医歯薬学
59040	〔栄養学および健康科学関連〕 栄養生理学、栄養生化学、栄養教育、臨床栄養、機能性食品、生活習慣病、ヘルスプロモーション、老化、など	98	医歯薬学
90010	〔デザイン学関連〕 情報デザイン、環境デザイン、工業デザイン、空間デザイン、デザイン史、デザイン論、デザイン規格、デザイン支援、デザイン評価、デザイン教育、など	11、53、62	人文学、工学系科学、情報学
90020	〔図書館情報学および人文社会情報学関連〕 図書館学、情報サービス、情報組織化、情報検索、情報メディア、計量情報学、情報資源、情報倫理、人文情報学、社会情報学、デジタルアーカイブス、など	12、61	人文学、情報学
90030	〔認知科学関連〕 認知科学一般、認知モデル、感性、ヒューマンファクターズ、認知脳科学、比較認知、認知言語学、認知工学、など	26、62	社会科学、情報学

キーワード表

研究内容 (小区分)	内容の例	対応する研究内容（中区分）、研究分野	
		研究内容 (中区分)	研究分野
90110	〔生体医工学関連〕	90	工学系科学, 医歯薬学
	医用画像、生体モデリング、生体シミュレーション、生体計測、人工臓器学、再生医工学、生体物性、生体制御、バイオメカニクス、ナノバイオシステム、など		
90120	〔生体材料学関連〕	90	工学系科学, 医歯薬学
	生体機能材料、細胞組織工学材料、生体適合材料、ナノバイオ材料、再生医工学材料、薬物送達システム、刺激応答材料、遺伝子工学材料、など		
90130	〔医用システム関連〕	90	工学系科学, 医歯薬学
	医用超音波システム、画像診断システム、検査診断システム、低侵襲治療システム、遠隔診断治療システム、臓器保存システム、医療情報システム、コンピュータ外科学、医用ロボット、など		
90140	〔医療技術評価学関連〕	90	工学系科学, 医歯薬学
	レギュラトリーサイエンス、安全性評価、臨床研究、医療技術倫理、医療機器、など		
90150	〔医療福祉工学関連〕	90	工学系科学, 医歯薬学
	健康福祉工学、生活支援技術、介護支援技術、バリアフリー、ユニバーサルデザイン、福祉介護用ロボット、生体機能代行、福祉用具、看護理工学、など		

JREC-IN Portal での求人公募情報掲載の手引き

公募要領Ⅱ. 3に記載のとおり、文部科学省に提出する研究機関_様式2とは別に、各ポストに関する詳細な情報については、JREC-IN Portal に登録するか、各研究機関のウェブサイト等において公開することを求めています。

このうち、JREC-IN Portal で登録する場合には、以下に示す手続に則ってください。JREC-IN Portal の英語画面に登録する場合は、別紙「JREC-IN Portal 求人公募情報 入力例」に記載の英語例を参考に入力してください。

(JREC-IN Portal とは)

JREC-IN Portal は2014年10月1日にJREC-IN よりリニューアルオープンした、国立研究開発法人科学技術振興機構が運営している「研究人材のための能力開発およびキャリア支援ポータルサイト」です。求人公募情報掲載サービスは、2001年よりJREC-IN の名称にて、国内の大学や公的研究機関等の研究職ポストの公募情報を一元的に無料にて提供しています。

2014年10月1日からは、求人求職情報掲載だけでなく、WEBでの応募管理やresearchmapからの情報フィードによる応募書類作成等が使えるようになりました。同時に能力開発に資するコンテンツやキャリアイベント情報等も提供しています。

1. 公開までの流れ

求人公募情報を登録する際に求人機関IDが必要となります。

求人機関IDを持っていない機関

① 求人機関登録→②求人公募情報登録→③求人公募情報公開の順となります。

求人機関IDを持っている機関

② 求人公募情報登録→③求人公募情報公開の順となります。

① 求人機関登録

- ・ <https://jrecin.jst.go.jp/offer/OrgRegistMember> にて登録求人機関向け利用規約に同意し、求人機関登録情報入力画面へ進んでください。
- ・ その他必要項目を入力の上、[確認]ボタン押し、画面確認後[申請]ボタンを押してください。
- ・ JREC-IN Portal 事務局側で登録内容を確認・必要に応じ軽微な修正を加え、申請のあった求人機関のメールアドレス宛てに、メールにて求人機関IDを発行し、これによりパスワードの設定が可能となります。申請してからすぐには発行されませんのでご注意ください。

② 求人公募情報登録

- ・ <https://jrecin.jst.go.jp/offer/OrgTop> 求人機関用ページの画面右側[求人機関ログイン]からログインした後、求人機関メニュー[求人公募情報管理]から[登録・一時保存]、[新規作成]を選択し必要項目を入力し[確認]→「登録依頼」を押してください。
- ・ 求人公募情報は「登録依頼中」となります。登録依頼中の公募内容は求人機関メニュー[登録／修正依頼中の求人公募情報]から確認できます。
- ・ 情報入力画面右上の「入力の手引き」https://jrecin.jst.go.jp/offer/inputguide_jor.html をご利用ください。

※ 通常、求人機関登録から、求人情報公開までは、目安として約一週間かかりますが、今回の卓越研究員事業におけるポスト公開は一斉に行うため、求人公募の登録の際は、原則として、**公開開始日を2020年2月28日**として入力してください（公開開始日は前後する可能性があります。また、上記の公募開始日以降にポスト情報を登録する場合、新たにポストを提示する場

合などは、求人機関より公開開始日の指定がない限り、実際に公開される日付に合わせて JREC-IN Portal 事務局で修正します。) このほか詳細については、2. 求人公募情報登録の際の注意事項及び別紙「JREC-IN Portal 求人公募情報入力例」を参考に入力してください。

③ 求人公募情報公開

- ・ 通常は、登録内容を JREC-IN Portal 事務局で確認後、登録完了となりますが、卓越研究員事業では、文部科学省による確認を経て公募情報が掲載されます。
- ・ JREC-IN Portal 事務局で公募内容確認後、掲載内容に不備がない場合は、公募情報登録後に求人公募情報登録完了のお知らせメールにてお知らせします。
- ・ 但し、文部科学省又は日本学術振興会のウェブサイトに掲載されない公募情報については、求人公募情報登録完了のお知らせメール通知が送付された場合でも、JREC-IN Portal 事務局にて速やかに削除します。
- ・ 求人公募情報を修正する場合は、https://jrecin.jst.go.jp/offer/job_offer_help.html#kyj03 を参照してください。なお、ポスト提示に当たって、文部科学省より指摘があり研究機関_様式 2 に修正がある機関は速やかに JREC-IN Portal の掲載内容についても修正を忘れないようにしてください。

なお、求人機関用ページにログインされる際の ID を忘れた方は、JREC-IN Portal 連絡窓口まで機関名と登録時の情報（担当者氏名、メールアドレス等）を連絡の上、メールにて求人機関 ID をお問い合わせください。

パスワードを忘れた方は、[ログイン]ボタン下の「パスワードを忘れた方」をクリックして、「パスワード再発行」画面で再発行してください。

2. 求人公募情報登録の際の注意事項

求人公募情報を登録する際には、以下の点に注意して、文部科学省に提出する研究機関_様式 2 と同一の内容を入力してください。また、別紙「JREC-IN Portal 求人公募情報入力例」を参考にしてください。なお、基本として 1 ポストにつき 1 公募情報となります。ただし、同じポストに複数人数募集という場合は 1 公募で掲載可能です。

○「1. 公開開始日」関係

求人公募の登録の際は、原則として、公開開始日を 2020 年 2 月 28 日として入力ください（公開開始日は前後する可能性があります。また、上記の公募開始日以降にポスト情報を登録する場合、新たにポストを提示する場合などは、求人機関より公開開始日の指定がない限り、実際に公開される日付に合わせて JREC-IN Portal 事務局で修正します。）

○「2. 求人件名」関係

- ・ 求人公募情報の依頼時には、必ず求人件名（タイトル）の文頭に【卓越研究員】を入れてください。
※求人タイトルに【卓越研究員】を入れることで、他の求人との差別化が図れ、求職者へのアピールと求職者からの求人公募検索が容易となります。JREC-IN Portal 事務局が求人内容を確認する際に、タイトルに【卓越研究員】が入っていない場合、【卓越研究員】という文字を入力します。

○「8. 求人内容」関係

- ・ 求人内容の[機関の説明(募集の背景、機関の詳細、プロジェクトの説明等)]部分に「卓越研究員事業」の名称及び本事業のスキームを用いて採用を予定している旨を明記してください。

○「10. 職種」関係

- ・ 職種の設定は、1. に機関にて募集する職種を選択するか、該当がない場合は「その他」を選択し募集する職種を適宜入力ください。また2. にて「その他」を選択し、フリーワード入力欄に「卓越研究員」と入力してください。

○「13. 応募資格」関係

- ・ 応募資格については、「卓越研究員事業に申請する者（本ポストは卓越研究員を受け入れる予定のポストである）」(https://www.mext.go.jp/a_menu/jinzai/takuetsu/index.htm)と記入してください。

○「14. 待遇」関係

- ・ 採用後のトラブル防止の為、できるだけ詳しく入力してください。

○「15. 募集期間」関係

- ・ 募集期間は、原則として、
 - ①事前連絡が必要なポストについては、「2020年3月23日 から 実際の事前連絡期限日」
 - ②事前連絡が不要なポストについては、「2020年3月23日 から 2020年9月30日」
と設定してください。それぞれ期限日を越えた場合は、当該情報は自動的に削除されます。募集期間を延長等により変更する必要がある場合は、JREC-IN Portal のウェブにて募集期限を延長し、公募の修正を依頼してください。
 - ※募集期限は機関の判断で設定をお願いします。募集締め切り日をもって、JREC-IN Portal 上での募集情報の公開が終了しますのでご注意ください。なお、公募の公開終了後、2週間以内であれば、公募内容を修正し、再度公開することができます。

- ・ コメント欄には、「卓越研究員事業への申請期間は2020年3月23日から2020年4月23日までです。」と入力してください。

○「16. 応募・選考・結果通知・連絡先」関係

- ・ 応募・選考・結果通知・連絡先について、必ず「応募・選考・結果通知は、卓越研究員事業の公募要領に従う」(https://www.mext.go.jp/a_menu/jinzai/takuetsu/index.htm)旨と連絡先を記入ください。
- ・ 卓越研究員候補者と各研究機関との当事者間交渉を行う際の選考・結果通知方法・連絡先が既に決まっている場合には当該情報を記入ください。
- ・ 公募要領Ⅱ. 5.に記載のとおり卓越研究員候補者決定前であっても、各研究機関は、研究者から希望等を受け付け、研究者と連絡を取り合うことが可能です。当該ポストを希望する研究者からの事前の連絡を必要とする場合は、連絡期限・連絡先を必ず記入ください。また、当事者間交渉を行う際に、資料等の提出が必要な場合は、詳細をなるべく詳しく記載してください。

○「18. 電子応募」関係

- ・ 卓越研究員候補者と各研究機関との当事者間交渉を行う際に、電子応募での書類受付について選択してください。
- ・ 電子応募での書類受付を選択した場合には、電子応募方法（電子メール応募の場合は送付先メールアドレス、求人機関 Web 応募の場合は応募サイト URL）の入力が必須となります。
- ・ 電子応募（電子応募での書類受付及び、電子応募方法の説明）については、https://jrecin.jst.go.jp/offer/denshi_ouubo_help.html を参照してください。

○「19. 応募上の配慮」関係

- ・ 卓越研究員候補者と各研究機関との当事者間交渉を行う際において、海外など遠方にお住まいの方、障害のある方、その他応募の際に配慮している場合は、詳細を入力してください。
- ・ 応募上の配慮についての詳細説明は、https://jrecin.jst.go.jp/offer/oubo_hairyo_help.html を参照してください。

○ 「21. 連携先サイトへの公募情報提供」 関係

- ・ JREC-IN Portal では、研究人材の活躍の場の拡大を促進するため、外部機関の連携先サイトに公募情報を提供しています。国内の公的機関（博士人材データベース（JGRAD））及び海外の公的機関（研究人材求人サイト EURAXESS）のウェブサイトに掲載を希望されない場合は、チェックボックスの選択を外してください。なお、海外の公的機関（EURAXESS）については英語の公募のみ掲載となりますが、日本の民間企業の公募は対象外となります。

外部連携機関の詳細は、https://jrecin.jst.go.jp/offer/renkei_org_list.html を参照してください。

3. 求人公募情報の結果アンケートについて

- ・ JREC-IN Portal では、公募掲載終了から 2 か月後にシステムより出される「求人公募情報の結果アンケート」への回答をお願いしております。文部科学省施策への事業結果フィードバックのためには、皆様からのご協力が必要となります。ご面倒をおかけいたしますが何卒よろしくお願い申し上げます。

4. メンテナンスに伴う機能の停止について

- ・ JREC-IN Portal では、システム向上の為、定期的にメンテナンスを行っております。これに伴い、一時的に上記の登録作業等ができない場合があります。定期メンテナンスを行う際は、JREC-IN Portal サイトのお知らせ欄にて、事前に周知させていただきます。公募情報の登録、修正、取り下げを行う予定がある場合は、予めご確認をお願い致します。

5. JREC-IN Portal 登録の際の連絡窓口

国立研究開発法人科学技術振興機構

（JREC-IN Portal 事務局）

情報基盤事業部 サービス支援センター JREC-IN Portal 担当

E-mail: jrecinportal@jst.go.jp

TEL: 03-5214-8459

（電話受付時間 平日 9:30～12:00、13:00～17:00）

JREC-IN Portal 求人公募情報 入力例

項番	項目	求人公募内容(上段は記入要領)
	データ番号 Data number	データ番号はJREC-IN Portalで公募情報を入力・確定した際に発行される番号(Dから始まる10桁の番号)です。文科省提出用資料(研究機関_様式2:卓越研究員受入れポストの登録フォーマット)に記載してください。
1	公開開始日 Date of publication	<p>・JREC-IN Portalでの公開予定日です。原則として、公開開始日を2020年2月28日として入力ください。公募開始日以降にポスト情報を登録する場合、新たにポストを提示する場合などは、求人機関より公開開始日の指定がない限り、実際に公開される日付に合わせてJREC-IN Portal事務局で修正します。</p> <p>2020年2月28日</p>
2	求人件名 Title	<p>・最初に【卓越研究員】と記載してください。(英語画面では、[Excellent Young Researchers])</p> <p>・「准教授または講師の公募(〇〇分野)」等、具体的な内容を示すものとしてください。</p> <p>【卓越研究員】△△△△△の募集(〇〇〇分野) [Excellent Young Researchers] Recruitment for △△△△△ Position(〇〇〇 field)</p>
3	機関名 Institution	<p>・JREC-IN Portalの実際の入力画面では求人機関登録の機関名が自動的に表示されます。</p> <p>(入力不要:自動表示)求人機関登録時の機関名になります。</p>
4	機関または部署URL URL of institution or department	・機関または部署(研究室等)ホームページのURLを入力してください。
5	部署名 Department	・勤務する部署名を入力してください。
6	機関種別 Institution type	<p>・求人機関登録の機関種別が自動的に表示されます。</p> <p>(入力不要:自動表示)</p>
7	公募のURL Job posting URL	・求人公募情報、様式等をダウンロードできるURLを入力してください。
8	求人内容 Content of job information	<p>・項目ごとにできるだけ詳しく入力してください。</p> <p>[機関の説明(募集の背景、機関の詳細、プロジェクトの説明等)]</p> <p>文部科学省の卓越研究員事業(https://www.mext.go.jp/a_menu/jinzai/takuetsu/index.htm)のスキームを用いて、採用予定</p> <p>-The candidate will be screened and employed based on the procedure "Leading Initiative for Excellent Young Researchers (LEADER)" by MEXT. (https://www.mext.go.jp/a_menu/jinzai/takuetsu/index.htm)</p> <p>[仕事内容(業務内容、担当科目等)]</p> <p>[勤務地住所等(住所の詳細、最寄り駅等)]</p> <p>[募集人員(職名・採用人数等)]</p> <p>[着任時期(着任日、採用日等)]</p>
9	研究分野 Research field	<p>・3つまで選択できます。「研究分野一覧表」をご確認の上、選択してください。</p> <p>・該当分野がない場合は「その他」として、研究分野をフリー入力してください。</p> <p>研究分野一覧表 https://irecin.ist.go.jp/seek/SeekDescription?id=005</p> <p>1. (大分類) (小分類)</p> <p>2. (大分類) (小分類)</p> <p>3. (大分類) (小分類)</p>
10	職種 Job type	<p>・4つまで選択できます。「職種一覧表」をご確認の上、選択してください。</p> <p>・「教授」などの職名は、「待遇」欄に入力してください。</p> <p>・該当職種がない場合は「その他」として、職種名をフリー入力してください。</p> <p>職種一覧表 https://irecin.ist.go.jp/seek/SeekDescription?id=012</p> <p>1. 機関にて募集する職種を選択頂くか、該当がない場合は「その他」を選択し募集する職種を適宜入力ください</p> <p>2. 「その他」を選択し、フリーワード入力欄で「卓越研究員」 (英語画面では、「Excellent Young Researchers」)を入力</p> <p>3.</p> <p>4.</p>

11	勤務形態 Employment status	○ 常勤 ○ 非常勤 ※いずれかを選択
		○ 任期あり ○ 任期なし ○ テニョアトラック ※いずれか1つを選択
		・「任期〇年」「再任可」等のコメントがあればご記入ください。(コメントは省略可) (コメント)
12	勤務地 Work location	・採用後の勤務場所(都道府県名、海外、在宅など)を入力してください
13	応募資格 Qualifications	・必要な公的資格、学歴、経験、要件等を入力してください。 [業務に必要な特定分野の資格・条件(学位などを含む)・経験(何年以上)、及び専門性等の詳細]
		<p>卓越研究員事業に申請する者(本ポストは卓越研究員を受け入れる予定のポストである) (https://www.mext.go.jp/a_menu/jinzai/takuetsu/index.htm)</p> <p>The candidate who apply for "Leading Initiative for Excellent Young Researchers (LEADER)."</p> <p>このポストは当事者間交渉に当たって事前連絡が必要である (This post requires "Advance notice" for negotiation among the parties) (https://www.mext.go.jp/a_menu/jinzai/takuetsu/index.htm)</p>
14	待遇 Compensation	・採用後の待遇(職名、給与、勤務時間、休日、各種保険等、退職金など)をできるだけ詳しく入力してください。 [採用後の待遇(職名、給与、勤務時間、休日、雇用期間、保険等)]
15	募集期間 Application period	・募集期間につきましては次のとおり入力してください。 ①事前連絡が必要なポストについては、「2020年3月23日 から 実際の事前連絡期限日」 ②事前連絡が不要なポストについては、「2020年3月23日 から 2020年9月30日」 と設定してください。それぞれ期限日を越えた場合は、当該情報は自動的に削除されます。募集期間を延長等により変更する必要がある場合は、JREC-IN Portalのウェブにて募集期限を延長し、公募の修正を依頼してください。 ※募集期限は機関の判断で設定をお願いします。募集締め切り日をもって、JREC-IN Portal上での募集情報の公開が終了しますのでご注意ください。
		2020年 3月 23日 から 2020年 9月 30日まで 必着 ○消印有効
		・募集終了日前に採用者を決定する可能性がある場合は、その旨をコメント欄に明記してください。(コメントは省略可) 例)適任者の採用が決まり次第、募集を締め切ります。 (コメント) 卓越研究員事業への申請は2020年3月23日から2020年4月23日までです。 The application period for "Leading Initiative for Excellent Young Researchers (LEADER)" is from 2020/03/23 to 2020/04/23
16	応募・選考・結果通知・連絡先 Application/selection/ notification of result/contact details	当事者間交渉を行う際の入力について: ・項目ごとにできるだけ詳しく入力してください。 ・応募書類の取り扱いについてもなるべく記入してください。(利用目的、返却の可否など)。 ・JREC-IN PortalのWeb応募を利用する場合は詳細(具体的な提出方法)を記入してください。 例) JREC-IN Portalの「Web応募」機能を使用し、指定の書類を圧縮するなどして1つのファイルにまとめて応募してください。 ・JREC-IN Portal様式の履歴書・業績リストでの応募受付を是非ご検討ください。 ※応募方法において、求職者が応募書類(個人情報を含む)をメールに添付でお送りいただく場合は、フリーメール以外でセキュリティ上問題のない、メールアドレスをお願い致します。
		[応募方法(提出書類/郵送・メール添付・Web応募利用の詳細などの提出方法/住所・メールアドレスなどの送付先)] 卓越研究員事業の公募要領に従う。 (https://www.mext.go.jp/a_menu/jinzai/takuetsu/index.htm) (各機関での最終審査は・・・) -Follow the Application Guidelines of "Leading Initiative for Excellent Young Researchers (LEADER)." Details are specified by the following URL. (https://www.mext.go.jp/a_menu/jinzai/takuetsu/index.htm)
		[選考内容(選考方法、採否の決定)、結果通知方法] 卓越研究員事業の公募要領に従う。 (卓越研究員候補者決定前から当事者間交渉を開始する場合はその詳細) (各機関での最終審査は・・・) -Follow the Application Guidelines of "Leading Initiative for Excellent Young Researchers (LEADER)."
17	添付書類 Attached documents	・JREC-IN Portalで、指定の様式等を添付する項目です。添付ファイルの名称はそのまま公開されます。 (添付できるファイル拡張子 .gif/.jpg/.pdf/.jtd/.rtf/.doc/.docx/.xls/.xlsx/.txt)
		(入力不要:添付書類があれば添付可)

18	電子応募 Online Submission	<p>・当事者間交渉を行う際に、電子応募を受け付けるか、以下から1つ選択して下さい。 電子応募について(電子応募での書類受付) https://jrecin.jst.go.jp/offer/denshi_ouubo_help.html</p> <p><input type="radio"/> 全書類可 <input type="radio"/> 一部書類可 <input type="radio"/> 不可 ※いずれか1つを選択</p> <p>・以下は電子応募方法について、選択して下さい。 電子応募について(電子応募方法の説明) https://jrecin.jst.go.jp/offer/denshi_ouubo_help.html</p> <p><input type="checkbox"/> JREC-IN Portal Web応募 ※JREC-IN PortalのWeb応募機能を利用して応募書類を受け付ける場合は、チェックボックスにチェックを入れてください。</p> <p><input type="checkbox"/> 電子メール応募 ※電子メールに応募書類を添付して受け付ける場合は、チェックボックスにチェックを入れてください。</p> <p>上記チェックを入れた場合は、こちらに応募用の電子メールアドレスを入力してください。 ※その際には、応募・選考・結果通知・連絡先欄に連絡先ご担当者名、部署名等も入力してください。</p> <p><input type="checkbox"/> 求人機関 Web応募 ※求人機関が準備した応募サイトURLで応募書類を受け付ける場合は、チェックボックスにチェックを入れてください。</p> <p>上記チェックを入れた場合は、こちらに求人機関で用意したWeb応募サイトのURLを入力してください。 ※その際には、「16.応募・選考・結果通知・連絡先」欄にも応募方法等の詳細を入力してください。</p>
19	応募上の配慮 Additional considerations when applying	<p>・当事者間交渉を行う際に、応募上の配慮がある場合は、チェックボックスにチェックを入れて、詳細を入力してください。 応募上の配慮の詳細説明 https://jrecin.jst.go.jp/offer/ouubo_hairyo_help.html</p> <p><input type="checkbox"/> 海外など遠方にお住まいの方</p> <p>上記チェックを入れた場合は、こちらに詳細を入力してください。 記載例を参照して、該当する欄に応募上の配慮の内容を具体的に記入してください。 記載例: 最終面接は対面が原則ですが、海外在住者や国内遠隔地在住者については、1次面接をオンラインで行う選択も可能とします。</p> <p><input type="checkbox"/> 障害のある方</p> <p>上記チェックを入れた場合は、こちらに詳細を入力してください。 記載例を参照して、該当する欄に応募上の配慮の内容を具体的に記入してください。 記載例: 障害者手帳の写し(職場内での配慮を考慮するため)を可能であればご提出ください。</p> <p><input type="checkbox"/> その他</p> <p>上記チェックを入れた場合は、こちらに詳細を入力してください。 記載例を参照して、該当する欄に応募上の配慮の内容を具体的に記入してください。 記載例: 出産・育児・介護による研究中断期間に対して考慮を希望される場合、履歴書に記載してください。</p>
20	備考 Additional information	<p>・上記の項目以外を入力してください。(個人情報の取り扱い、男女共同参画の取り組み等) (こちらの欄にURLを入力した場合、表示のみで直接リンクは張られません。)</p>
21	連携先サイトへの公募情報提供 Provision of job posting to affiliated institutions	<p>※JREC-IN Portalは、研究人材の活躍の場の拡大を促進するため、多様な求人公募情報の提供を目指して、外部機関と連携しています。本公募情報を連携先機関に提供し、当該サイトで一部掲載されることを承諾する場合は、下記の機関種別ごとにチェックを付けて下さい。</p> <p>連携先機関一覧 https://jrecin.jst.go.jp/offer/renkei_org_list.html</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 国内の公的機関 ※初期値では公募情報提供可能な連携先機関としてチェックが入っています。 <input checked="" type="checkbox"/> 海外の公的機関 必要に応じてチェックを外してください。</p>

令和 2 年度

卓越研究員事業

審査要領

文部科学省 科学技術・学術政策局

令和 2 年 1 月

1. 審査体制

令和2年度の卓越研究員事業に関する審査等については、文部科学省を支援する中立的な公的機関（独立行政法人日本学術振興会（以下「日本学術振興会」という。））において、有識者によって構成される卓越研究員候補者選考委員会（以下「選考委員会」という。）を設置し、卓越研究員候補者（以下「候補者」という。）の選考のための審査を付託します。

候補者の選考のための審査は、選考委員会の委員（以下「委員」という。）による書面審査により行います。

候補者は、委員による書面審査の結果を踏まえ、文部科学省が決定します。

2. 審査方法

各研究機関より提示されたポストや申請のあった研究者（以下「申請者」という。）の研究分野を考慮し設定する区分ごとに、以下の方法で審査を実施します。

（1）書面審査

- ・書面審査は、各委員が申請者から提出された申請書類（研究者_様式1（別紙を含む）及び研究者_様式2）に基づき、後述の「3. 審査の観点」に基づき、審査を行います。

（2）候補者の決定

- ・各委員による書面審査の結果を踏まえ、文部科学省において、候補者を決定します。
- ・候補者の決定に際しては、海外での研究実績、卓越研究員候補者の多様性（分野、性別等）、研究分野ごとの提示ポスト数や申請者数等を考慮することがあります。

3. 審査の観点

主な審査の観点は、以下のとおりです。

- ① 我が国の科学技術や学術研究、科学技術イノベーションの将来を担う優れた研究リーダーとなることが期待できること
- ② 世界水準の研究力を有し、新たな研究領域や技術分野等の開拓が期待できること（海外での研究経験歴も考慮する。）
- ③ 研究目的及び研究計画が明確かつ具体的であり、優れていること
- ④ 産学官の研究機関で活躍し得る意欲や柔軟性を有すること

4. その他

(1) 審査の開示・非開示

- ・委員の審査資料については、非公開とします。
- ・審査の内容や経過等についての問合せには、応じられません。
- ・委員の氏名については、委員としての任期終了後に公表します。

(2) 委員の遵守事項

①利害関係者の排除

- ・申請者と利害関係のある委員は、日本学術振興会にその旨を申し出ることとし、当該申請者の審査に加わることができないこととします。

<利害関係の範囲>

- ・委員と親族関係にあるものが申請者である場合
- ・委員が、申請者が現在所属する研究機関に専任又は兼任の役員、職員、教員等として在職（就任予定を含む。）している場合
- ・委員が中立・公正に審査を行うことが難しいと自ら判断する場合

②秘密保持

- ・委員は、審査の過程で知り得た個人情報及び申請者の審査内容に係る情報については、外部に漏洩してはなりません。また、委員として取得した情報（申請書類等の各種資料を含む。）は、厳重に管理しなければなりません。

令和2年度卓越研究員事業 研究機関申請書

申請機関名	
機関種別	※大学、大学共同利用機関法人、国立研究開発法人、企業など、選択肢に従って記入してください。

■申請機関・総括責任者

本事業による科学技術人材育成費補助金の支援を希望する機関については、機関の長（学長、理事長、機構長、社長等）を、総括責任者としてください。補助金の支援を希望しない機関については、下記の機関全体の実施責任者と同一の者としても構いません。

氏名	
フリガナ	
役職名	

■当該取組における機関全体の実施責任者

氏名	
フリガナ	
役職名	

■当該取組における機関全体の事務連絡担当者

本項目の担当者へ登録完了の連絡や、卓越研究員候補者の情報の通知等すべての連絡を行います。

氏名	
フリガナ	
役職名	
所属組織・部署名	
事務連絡先	▼郵便番号 ▼所在地 ▼TEL ▼FAX ▼E-mail

■補助金支援の希望の有無

補助金支援の希望の有無	
-------------	--

■機関における経理責任者

※本事業による補助金の支援を希望しない機関については記載不要です。

氏名	
フリガナ	
役職名	
所属組織・部署名	

■当該取組における機関全体の経理管理担当者

※本事業による補助金の支援を希望しない機関については記載不要です。

氏名	
フリガナ	
役職名	
所属組織・部署名	
事務連絡先	▼郵便番号 ▼所在地 ▼TEL ▼FAX ▼E-mail

■ポスト提示理由

貴機関の将来構想も踏まえて、ポストを提示した理由について記載してください。複数のポストを提示する場合には、総括的に、もしくは、個別に、当該ポストを提示した理由を記載してください。また、本年度に追加でポストを提示する予定がある場合、予定時期や予定ポスト数についても可能な限り記載してください。

※全角 1024 文字 (半角 2048 文字) 以内で記載してください。

■実施体制

研究機関において、卓越研究員が自ら研究テーマを設定し、研究を遂行できるよう、自立的な研究環境をどのように整備するかについて具体的に記載してください。(例えば、テニュアトラック制の規程の制定状況や実施体制等) 特に、補助金の支援を希望する場合は、研究環境整備費として補助する経費の想定する用途について記載してください。

なお、企業等においては、その業務特性を踏まえつつ、卓越研究員の能力を活かすことのできる体制をどのように整備するかについて記載してください。

※全角 1024 文字 (半角 2048 文字) 以内で記載してください。

**令和2年度卓越研究員事業
研究機関申請書（研究環境関係）**

公募番号【Post No.】			
(1)機関名 【Institution】		(2)部署名 【Department】	
(3)募集人数 【Number of positions】		(4)着任（予定）時期 【Starting date】	
(5)想定する人材(分野など) 【Type of researchers to seek】	※日本語は全角 1024 文字以内、英語は半角 2048 文字以内		
(6)研究分野 【Research field】	<input type="checkbox"/> 主分野 (The main field)		
	<input type="checkbox"/> 主分野 (The main field)		
	<input type="checkbox"/> 主分野 (The main field)		
(7)関連キーワード 【Key words】	※日本語は全角 128 文字以内、英語は半角 256 文字以内		
(8)職種 【Job type】			
(9)勤務形態 【Employment status】			
(10)勤務地 【Work location】			
(11)待遇・研究環境等 【Compensation・Research environment etc】	※日本語は全角 512 文字以内、英語は半角 1024 文字以内		
(12)事前連絡の要否 【Advance notice】		(13)事前連絡期限 【Advance notice deadline】	
(14)事前連絡の方法 【Method of advance notice】	※日本語は全角 256 文字以内、英語は半角 512 文字以内		
(15)選考プロセス、スケジュール概要(予定) 【Process,schedule】	※日本語は全角 1024 文字以内、英語は半角 2048 文字以内		
(16)HP アドレス(詳細情報) 【HP address for more information】	JREC-IN Portal アドレス	(17)問い合わせ先 【Contact address】	担当部署：
	JREC-IN Portal のデータ番号		電話番号：
	各機関の HP アドレス		E-mail：
(18)備考【Notes】	※全角 256 文字（半角 512 文字）以内		

(企業のみ) 産学連携活動費による支援を希望する場合に記載

<p>(19) 共同研究又は受託研究のテーマ・内容</p> <p>【Theme and contents of joint research or commissioned research】</p>	<p>※日本語は全角 512 文字以内、英語は半角 1024 文字以内</p>
<p>(20) 共同研究又は受託研究において卓越研究員に求める役割</p> <p>【Role required for EYR in joint research or commissioned research】</p>	<p>※日本語は全角 512 文字以内、英語は半角 1024 文字以内</p>

- 注 1. 上記、(1)～(20)に原則として日本語と英語の双方で、公募情報を入力してください。(1)～(20)の情報を一覧化し、公開します。
2. (3)～(4)については、当該ポストの募集人数、着任（予定）時期を記載してください。
 3. (5)については、機関として求める人材像（研究分野、分野融合、専門性等含む）、（予定がある場合は）将来的なキャリアパス等について記載してください。
 4. (6)については、当該ポストの研究分野に該当するものを選択してください。複数の分野に関係する場合は3つまで選択することができます。さらに主たる分野を設定する場合は、当該分野は一つ目から入力し、主分野にチェックを入れてください。また、分野を指定せずに募集したい場合等は「分野を指定しない」を選択してください。（参考1も参照のこと）
 5. (7)については、(6)で定めた研究分野関連、あるいはこれに限らず、機関として申請者に対して求める関連のキーワードを記載してください。（参考1も参照のこと）
 6. (8)については、雇用した際に予定される職種について選択してください。研究者の経歴等に応じて決定する場合などは、複数選択することもできます。選択肢は「教授」「准教授」「講師」「助教」「グループリーダー」「主任研究員」「その他」です。「その他」を選択した場合には詳細を記載してください。
 7. (9)については、雇用した際に予定される雇用形態について選択してください。研究者の経歴等に応じて決定する場合などは、複数選択することもできます。選択肢は「無期雇用」「テニユアトラック雇用」「その他任期付」です。「その他任期付」を選択した場合には、公募要領 II. 1. b. のとおり、公正で透明性が高く、安定性の高いポストであることがわかる記載をしてください。なお、企業においては、その業務特性を踏まえて記載してください。
 8. (11)については、採用後の待遇（給与、勤務時間、休日、保険等）や研究環境（利用可能な設備、大学院生の配置等）など上記の項目に限らない、機関として卓越研究員の受入に際しアピールしたい点を記載してください。クロスアポイントメント制度による受入を予定している場合も当該欄に記載してください。また、卓越研究員として受け入れた場合のみならず、機関として若手研究者の将来のキャリアパス等について検討されている場合は、それらを記載していただいても結構です。
 9. (12)については、卓越研究員候補者決定前から研究者と連絡を取り合い、当事者間交渉を進める場合は「要」を、卓越研究員候補者決定後のみ当事者間交渉を受け付ける場合は「不要」を記入してください。「要」とする場合は、(13)に、事前連絡期限を記載してください。ポスト提示時点で、未定の場合は、「未定」、または、いつ頃公表予定かを記載してください。決まり

次第当該情報を更新していただきます。(例：令和2年5月31日(予定)、令和2年5月下旬予定 等) また、(14)に事前連絡の連絡方法、必要な手続等を記載してください。

10. (15)については、卓越研究員候補者決定後の当事者間交渉について、どのような手続・プロセス、スケジュールを想定しているか記載してください。その際、選考プロセスが公正で透明性の高いものとなるよう留意してください。
11. (16)については、JREC-IN Portal を利用する際は、公募情報を JREC-IN Portal に登録した際付与される D から始まる 10 桁のデータ番号 (例：D*****) の番号を「JREC-IN Portal のデータ番号」欄に入力してください。(JREC-IN Portal での公表は、文部科学省による一覧化公開と同時期を予定しています。また、「JREC-IN Portal アドレス」欄は入力する必要はありません。) また、各研究機関のウェブサイトを利用して募集情報の詳細を公開する場合には、当該アドレスを入力してください。
12. (17)については、申請者から公募情報に関する問い合わせに対応することのできる連絡先を記載してください。
13. (19)～(20)については、企業において、卓越研究員が共同研究又は受託研究に参画し、産学連携活動費による補助金の支援を希望する場合に記載してください。

当事者間交渉完了報告書

1. 機関情報

- 申請機関名 「
○総括責任者名 「

2. ポスト情報、研究者情報

ポスト公募 番号	候補者受付番号	卓越研究員 ^{ふりがな} 氏名	雇用開始予定時期※
			年 月

※ 原則として、雇用開始予定時期は、令和2年度中としてください。ただし、令和2年度中の雇用開始が難しい場合は、以下にポストごとにその理由を記載の上、本様式を提出してください。この場合、予算の調整により、令和3年度から2年度目以降の補助金（2年間の卓越研究員の研究費及び4年間の研究環境整備費）による支援を実施する可能性があります。また、令和2年10月から令和3年3月までに当事者間交渉が完了した場合には、以下の理由の記載は必要ありませんが、補助金による支援については、同様に実施する可能性があります。

(令和2年度中に雇用開始が難しい理由)

(注意)

1. 各機関において、複数の卓越研究員候補者を雇用した場合には、それぞれ別の行に必要な事項を記載の上、本様式を提出してください。なお、行が足りない場合には、適宜追加してください。
2. 候補者受付番号は、卓越研究員候補者リストに付された受付番号を記載してください。
3. 補助金による支援を希望する場合には、研究機関と卓越研究員候補者との間で調整の上、別紙に所要経費の見込額及びその内訳を記載の上、提出してください。
4. 本様式を提出した後、別の卓越研究員候補者を雇用するなど、記載事項に追加が生じた場合は、一度提出した様式にポスト情報、研究者情報を追記するとともに、別紙についても、所要経費の見込額及びその内訳を追記修正の上、提出してください。

(別紙)

所要経費の見込額

○申請機関名 「 」
○総括責任者名 「 」
(支援予定期間： 令和2年度～令和6年度)

1. 所要見込額 (全体計画)

(単位：千円)

	年 度	令和2年度 (1年度目)	令和3年度 (2年度目)	令和4年度 (3年度目)	令和5年度 (4年度目)	令和6年度 (5年度目)	合計金額
補助金の取組	所要見込額						
	補助金額						
	自己負担額						

- 注1) 上記記載の金額は、あくまで計画であり、毎年度交付される補助金額を担保するものではありません。また、補助金による支援額については、財政事情等により減額する場合があります。
- 2) 卓越研究員の人件費は補助対象外経費となりますので、自己負担額には含めないでください。
- 3) 上記記載の「補助金額」が、各年度の補助金による支援の上限額となります。

2. 令和2年度所要見込額

(単位：千円)

卓越研究員 (卓越研究員 候補者以外の 若手研究者)	補助金額				自己 負担額	合計	備考
	研究費	研究環境 整備費	産学連携 活動費	計			
〇〇〇〇	6,000	2,000	0	8,000	0	8,000	
〇〇〇〇	6,000	3,000	0	9,000	0	9,000	国外機関 (〇〇)
〇〇〇〇	6,000	4,000	0	10,000	0	10,000	クロアポ (〇〇)
〇〇〇〇	0	0	10,000	10,000	10,000	20,000	産学連携 (〇〇)
(〇〇〇〇)	0	1,000	0	1,000	0	1,000	若手研究者
合計	18,000	10,000	10,000	38,000	10,000	48,000	

- 注1) 補助金額は、機関に対する交付額の参考となるものであり、卓越研究員等の個人に対する支援額を表すものではありません。
- 2) 支援対象となる卓越研究員等の人数に応じて、適宜行を追加してください。
 - 3) 「卓越研究員の研究費」から「研究環境整備費」への流用、「産学連携活動費」と他の経費との流用はできません。「研究環境整備費」から「卓越研究員の研究費」への流用は禁止しませんが、公募要領に定める「卓越研究員の研究費」の年間上限額（年間800万円。人文学及び社会科学については、年間500万円。）を超えて流用することはできません。また、「卓越研究員の研究費」、「研究環境整備費」、「産学連携活動費」は各経費を合算使用することはできません。
 - 4) 所要経費の費目については、公募要領の別表1～3を参考にしてください。
 - 5) 支援対象者が以下の条件を満たす場合には、記載例に従い、備考欄に記載してください。

【条件】

- I. 令和2年度卓越研究員事業への申請期限の時点において、直近1年以上日本国外の研究機関に所属していた者の採用。併せて研究機関様式6を提出してください。
※1名につき、研究環境整備費として300万円を上限に支援（卓越研究員の決定後1～2年度目に限る。）
▶記載例：国外機関（所属機関名）
- II. 企業及び大学間等、異なる機関種間でのクロスアポイントメントによる採用。併せてクロスアポイントメントによる採用を確認できる書類を提出してください。
※1名につき、研究環境整備費として400万円を上限に支援（卓越研究員の決定後1～2年度目に限る。）
▶記載例：クロアポ（相手方機関名）
- III. 企業において、大学、高等専門学校、大学共同利用機関及び国立研究開発法人との共同研究又は受託研究（以下「共同研究等」という。）に参画する卓越研究員を採用。共同研究等の契約を締結する際に、当該卓越研究員が共同研究等に参画することが記載されている必要があります。
※交付決定後、当該年度内に共同研究等に係る契約を締結する場合は、企業が負担する産学連携活動費の1/2を上限に支援（各年度1,000万円を上限とする。卓越研究員の決定後1～5年度目。）
※共同研究等に係る契約が翌年度となる場合は、研究環境整備費として200万円を上限に支援（1年度目に限る。2年度目以降は企業が負担する産学連携活動費の1/2を上限に支援。（各年度1,000万円を上限とする。卓越研究員の決定後5年度目まで。）
▶記載例：産学連携（相手方機関名）
- IV. 令和2年度に卓越研究員の採用を決定した機関が、当該年度に提示したポストに候補者以外の本事業の要件に合致する若手研究者（申請者以外も含む。）を採用。併せて研究機関様式7を提出してください。
※当該機関が、博士課程在学時に所属していた研究機関及び採用直前の所属研究機関でない場合、当該若手研究者の採用後1～2年度目限り、100万円に『各年度に所属する当該若手研究者の数』と『令和2年度に採用され、各年度に在籍する（1年度目においては当該年度に決定した）卓越研究員の数』のいずれか小さい方」を乗じた額を上限に研究環境整備費として支援（原則として、9月末時点において本要件を満たした場合に、当該時点の予算の状況に応じて支援。）
▶記載例：若手研究者

(研究機関_様式4)

同 意 書

年 月 日

<<機関名>><<機関の長名>> 宛て

現(官)職

ふりがな

氏 名

印

令和2年度卓越研究員事業に係る貴機関の提示ポスト「<<ポスト一覧に記載されている部署名>><<ポスト一覧に記載されている職種名>>」(ポスト番号<<ポスト一覧に記載されているポスト番号>>)での採用に同意します。

※ 氏名欄は、「記名押印」または「署名(サイン)」とします。

※ 外国籍の方などは、氏名欄に「英文」または「ローマ字」で記載し、ふりがな欄の記載は不要です。

(研究機関_様式5)

誓 約 書

文部科学省科学技術・学術政策局長 殿

私は、令和2年度の卓越研究員として決定されるに当たり、これまでの研究活動について、下記の行為を行っていない（過去に所属機関等より、下記の行為を原因とする処分を受け、かつ、当該処分期間が満了した場合を含む）ことを誓約します。

なお、文部科学省が本誓約書に虚偽があったと判断した場合、卓越研究員の決定の取消しを受けることに異存はありません。

記

1. 国又は国が所管する独立行政法人から配分される競争的資金を中心とした公募型の研究資金（以下、「競争的資金等」という。）について、以下のいずれかに該当する行為。
 - ・故意若しくは重大な過失による、他の用途への使用若しくは競争的資金等の交付の決定の内容や当該交付決定に付された条件に違反した使用（不正使用）
 - ・偽り、その他不正な手段による競争的資金等の受給（不正受給）
2. 捏造、改ざん、盗用、二重投稿や不適切なオーサーシップ等の不正行為。

年 月 日

住 所

氏 名

印

以上

※ 氏名欄は、記名押印または署名（サイン）とします。なお、外国籍の方などは、英文またはローマ字で結構です。

※ 本誓約書については、令和2年度の卓越研究員として採用予定の機関を通じて文部科学省に提出することになっており、当該機関において写しを保存することがありますので、あらかじめご承知おき願います。

(研究機関_様式6)

令和2年度卓越研究員事業
国外研究機関からの採用者要件確認票

研究機関名		
氏名	フリガナ	
	氏名	
ポスト公募番号		
受付番号		

1. 上記卓越研究員について、申請期限である令和2年4月23日時点における、直近1年の状況に該当する項目を選択してください。(複数回答可)
(直近1年以上、連続して研究施設等の住所が日本国外である必要があり、単に共同研究等で国内外を頻繁に往復している場合は当てはまりません。)

<input type="checkbox"/>	日本国外の研究機関等に所属
<input type="checkbox"/>	日本国内の研究機関等に所属し、実際の勤務は日本国外の研究施設等
<input type="checkbox"/>	日本国内外のいずれの研究機関等にも所属せず、日本国外において研究活動を実施
<input type="checkbox"/>	その他

2. 上記で選択した項目の内容が分かるように、令和元年4月から申請時点を含む期間の研究・職歴等について記入してください。

研究・職歴等	例:平成30年 4月-令和元年9月 ○○大学○○研究所(米) 研究員 令和元年10月- 現在 □□研究所(独) 研究員
--------	--

※記載内容に虚偽が発見された場合は、卓越研究員に決定後であっても、決定を取り消し、支援を打ち切ることがあります。

(研究機関_様式7)

令和2年度卓越研究員事業
若手研究者要件確認票

研究機関名							
氏名	フリガナ						
	氏名						
国籍					性別		
生年月日		年		月		日生	(令和3年4月1日現在 歳)
ポスト公募番号							
雇用開始予定時期					年	月	

令和2年度卓越研究員事業への申請の有無		受付番号	
---------------------	--	------	--

研究分野	
------	--

採用決定前の 直近所属機関	機関名	
	機関属性	
	所在地	〒
	部局・部署名	
	職名	
	勤務形態	

※令和2年度卓越研究員事業への申請者は、以下に記入する必要はありません。

博士の状況	学位の取得状況	
	大学院名	
	研究科名	
	専攻名	
	修了・満期退学等年月	年 月
	学位取得年月	年 月
	学位名	
臨床研修を課された医学分野への在籍歴の有無		

※出産・育児等により、合計3か月以上研究活動を中断した者で、年齢要件の配慮を希望する場合は、「有」として研究中断期間を記入してください。

出産・育児等による研究中断歴の有無	
出産・育児等による研究中断期間 (合計3か月以上研究中断をした場合)	

(研究機関_様式8)

辞 退 届

年 月 日

<<機関名>><<機関の長名>> 宛て

現 (官) 職

ふりがな

氏 名

印

年 月 日付で、令和2年度卓越研究員事業に係る貴機関の提示ポスト「<<ポスト一覧に記載されている部署名>><<ポスト一覧に記載されている職種名>>」(ポスト番号<<ポスト一覧に記載されているポスト番号>>)での採用について同意しておりましたが、当該採用を辞退させていただきたく届出いたします。

- ※ 氏名欄は、「記名押印」または「署名 (サイン)」とします。
- ※ 外国籍の方などは、氏名欄に「英文」または「ローマ字」で記載し、ふりがな欄の記載は不要です。
- ※ 機関が文部科学省に「当事者間交渉完了報告書」(公募要領の「研究機関_様式3」)を提出した後、採用を辞退する場合、令和2年度に公開されている他のポストにおいて当事者間交渉が完了した場合であっても、卓越研究員になることはできませんので、「当事者間交渉完了報告書」の提出時期について、機関側と相談してください。
- ※ 本届出を提出した場合は、翌年度以降の候補者資格の継続には申請できません。

この様式は電子申請システムへ入力して作成してください

(研究者_様式1)

令和2年度卓越研究員事業 申請書

受付番号			
分野	研究分野		小区分コード
	研究内容 (中区分)		
	研究内容 (小区分)		
	専門分野		

キーワード	
-------	--

フリガナ 氏名 (表示名)			
国籍		性別	
生年月日			
希望連絡先 (E-mail)			

現所属機関	機関名			
	機関属性			
	所在地	〒		
	部局・部署名			
	職名		勤務形態	

博士の状況	学位の取得状況	
	大学院名	
	研究科名	
	専攻名	
	修了・満期退学等年月	
	学位取得年月	
	学位名	
臨床研修を課された医学分野への在籍		

研究・職歴等	
--------	--

出産・育児等による研究中断歴の有無	
出産・育児等による研究中断期間	

当事者間交渉に興味のある機関属性 (3つまで)	<input type="checkbox"/> 大学	<input type="checkbox"/> 大学共同利用機関	<input type="checkbox"/> 高等専門学校
	<input type="checkbox"/> 国立研究開発法人	<input type="checkbox"/> 公設試験研究機関	<input type="checkbox"/> 企業等

その他登録情報

以降の入力項目は、審査及び機関へ情報提供する書類には表示されません。

第一希望機関属性	
----------	--

フリガナ 氏名(戸籍名)	
現住所	〒
	電話： 携帯電話：

※現住所、希望連絡先(E-mail)については申請書提出後の変更が可能です。申請書提出時に作成されたPDFファイルへは変更が反映されません。

申請に当たっての同意

申請に当たり、下記注意事項を確認の上、それぞれの項目にチェックを付してください。

- 1) 申請書が受理された時点で、卓越研究員ポストを提示した研究機関へ申請書情報を送付することに同意しない場合は、チェックしてください。なお、卓越研究員候補者に決定された場合は、本項目の回答に関わらず、「卓越研究員候補者リスト」へ氏名等が掲載され、申請書情報を提供します。研究機関へ提供する申請書情報は、研究者_様式1及び様式1別紙です。

申請書が受理された時点での研究機関への申請書情報の提供に同意しない。

- 2) 申請書が受理された後、当事者間交渉支援機関が決定した時点で、当該機関へ申請書情報を送付することに同意しない場合は、チェックしてください。なお、卓越研究員候補者に決定された場合は、本項目の回答に関わらず、「卓越研究員候補者リスト」へ氏名等が掲載され、申請書情報を提供します。当事者間交渉支援機関へ提供する申請書情報は、研究者_様式1、様式1別紙及び「第一希望機関属性」です。以上を確認・了解の上、申請してください。

申請書が受理された後、当事者間交渉支援機関が決定した時点での当該機関への申請書情報の提供に同意しない。

卓越研究員候補者となった場合に、当事者間交渉支援機関へ申請書情報を提供することを了解した。

- 3) 申請に当たっては、「令和2年度卓越研究員事業 公募要領」を必ず確認してください。また、申請後に申請内容に重大な誤り等が判明した場合、卓越研究員候補者又は卓越研究員の決定を取り消される場合があります。以上を確認・了解の上、申請してください。

「令和2年度卓越研究員事業 公募要領」を確認し、記載内容を了解した。

※個人情報の取扱いについては、公募要領「V.留意事項(16)個人情報の取扱い」を確認してください。

上記及び別添の申請内容について、誤りが無いことを確認した。

(研究者_様式1別紙)

令和2年度卓越研究員事業 申請概要

1. 研究者_様式2「卓越研究員として取り組みたい研究テーマ」に記載する研究内容等の概要を記載してください。

研究内容

2. 研究機関に対する自身のアピールポイントを自由に記載してください(自身の研究に対するこれから及びこれまでの姿勢・スタンス、研究に関連する経験、取得している資格・技術、取扱いできる機器、今後の自身の研究リーダーとしての方向性、キャリアの展望など)。また、必要に応じて、希望勤務地や異分野への挑戦意欲、これまでの研究業績等を記載することも可能です(既に研究業績等を researchmap に登録されている場合は、当該 URL を記載してください)。

アピールポイント

本ページは、申請書情報の一部として研究機関及び当事者間交渉支援機関へ提供します。このため、秘密情報等の公表できない情報は含めずに作成してください。様式の変更・ページの追加は不可とします。

令和2年度卓越研究員事業研究計画等

① 卓越研究員として取り組みたい研究テーマ

<<研究目的・内容（課題設定・問題意識等を含む）>>

本欄には、取り組みたい研究に関する全体構想の具体的な目的及びその内容について記載してください。特に次の点については、焦点を絞り、具体的かつ明確に記載してください。

- 研究の学術的又は社会的背景（本研究に関連する国内・国外の研究動向及び位置づけ、着想に至った経緯、課題設定・問題意識）
 - 問題の核心は何であり、どのように明らかにしようとするのか
 - 当該研究の背景となる課題設定・問題意識。また、これらによりどのような成果が見込まれるか。また、その成果を踏まえて、どのような新たな研究領域等の開拓につなげていくのか。これまでの研究成果を他分野・業種、あるいは社会的に活用・展開していく場合はその内容。
- ※なお、卓越研究員の研究内容については、ポストを提示した機関との当事者間交渉の中で機関と調整していくものであり、本欄記述の研究に必ず従事できることを示すものではありません。

※様式の変更・ページの追加は不可とする。

【研究目的・内容】

【研究目的・内容（つづき）】

①卓越研究員として取り組みたい研究テーマ

<<研究計画・方法>>

本欄には、研究目的を達成するための具体的な研究計画・方法について直近2年間の想定し記載してください。特に、次の点については、焦点を絞り、具体的かつ明確に記載してください。

- ① 本研究を遂行する上での具体的な工夫（研究を進める上でのアイデアの独自性、創造性、新規性等）
- ② 研究室主宰者としての研究体制の構想（ポストドクターや大学院生の配置等も含め、どのような体制で研究を実施することを想定しているか。企業の場合には、プロジェクトのマネージャーとして、どのようにチームをつくり、どのような体制で実施することを想定しているか。）

※様式の変更・ページの追加は不可とする。

【研究計画・方法】

【研究計画・方法（つづき）】

②多様な研究機関でのリーダーとしての活躍可能性

<<多様な機関での活躍可能性・自身の魅力>>

本欄には、研究主宰者やプロジェクトマネージャー等の研究リーダーとして、機関やセクター、国等を超えて活躍でき、それぞれの機関で自身が魅力的であることを示す裏付けや自己のエピソードを示してください。

※様式の変更・ページの追加は不可とする。

【研究リーダーとしての活躍可能性の裏付け・エピソード】

【研究リーダーとしての活躍可能性の裏付け・エピソード（つづき）】

③業績等

<<特筆すべき業績・経歴・経験等3件>>

本欄には、今回構想する研究や多様な研究機関での活躍可能性に関連する、2015年以降の特筆すべき業績・経歴・経験等3点以内について、下記の注意事項に沿い、簡潔に記載してください。なお、学術誌へ投稿中の論文を記載する場合は、掲載が決定しているものに限ります。

(例)

- ① 発表論文の場合、論文名、著者名、掲載誌名、査読の有無、巻、最初と最後の頁、発表年（西暦）について記載してください。以上の各項目が記載されていれば、項目の順序を入れ替えても可。著者名が多数にわたる場合は、主な著者を数名記入し、他を省略（省略する場合、その員数と、掲載されている順番を○番目と記入）しても可。なお、申請者には、下線を付してください。
- ② 大学及び大学共同利用機関以外の機関（企業、公設試験研究機関等）における研究者としての勤務経験、最低3カ月以上のインターンシップの経験、あるいは、海外の研究機関（大学を含む）に3カ月以上所属し、研究に従事した経験など、多様な研究機関での経歴・経験等について、時期（年月を含む）及び内容を記載してください。

※様式の変更・ページの追加は不可とする。

【特筆すべき業績・経歴・経験等3件】

【特筆すべき業績・経歴・経験等3件（つづき）】

③業績等

<<その他業績・経歴・経験等一覧>>

今回構想する研究に関連する重要な業績・経歴・経験等について、2015年以降の業績を中心に、現在から順に年次を過去にさかのぼり、通し番号を付して記載して下さい。そのうち、前頁までに記載した特筆すべき業績・経歴・経験等（3件）については、該当する番号に○印を付して下さい。

※様式の変更・ページの追加は不可とする。

【その他の業績・経歴・経験等】

(記入例 ※記載項目の構成は変更しても構いません。記入する際は削除してください。)

(1) 学術雑誌等（紀要・論文集等も含む）に発表した論文、著書

- ① 学振太郎、半蔵門花子、・・・ 「(題名)」、『(掲載誌名)』、○○出版、○号、pp57-62、2019
- 2) 麴町次郎、学振太郎、・・・ 「(題名)」、『(掲載誌名)』、○○出版、○号、pp33-39、2018
- 3) 半蔵門花子、麴町次郎、学振太郎(6番目)、○○○○、○○○○、○○○○、○○○○、千代田三郎(○名省略)、「(題名)」、『(掲載誌名)』、○○出版、○号、pp10-25、2017

(2) 学術雑誌等又は商業誌における解説、総説

- 1) 学振太郎・・・ 「(題名)」、『(掲載誌名)』、○○出版、○号、pp57-62、2019

(3) 国際会議における発表

- ① ○Gakushin T, Hanzoumon H,・・・ 「(題名)」、『(学会名)』、BB-11、Los Angeles, USA、(June 2018)

(4) 国内学会・シンポジウム等における発表

- 1) ○学振太郎、半蔵門花子、・・・ 「(題名)」、『(学会名)』、No.200、仙台、2018年9月

(5) 特許

- 1) (特許の番号)号、「(名称)」、麴町治郎、学振太郎、2018年4月

(6) その他(受賞歴等)

- ① 学振太郎・・・ 「(賞の名称)」、2018年4月

【その他の業績・経歴・経験等（つづき）】

(研究者_様式3)

卓越研究員候補者の辞退について

年 月 日

文部科学省科学技術・学術政策局長 宛て

現(官)職

ふりがな

氏 名

印

令和2年度卓越研究員事業に申請し、卓越研究員候補者に決定されましたが、当該候補者となることを辞退させていただきたく、届け出いたします。

※ 氏名欄は、「記名押印」または「署名(サイン)」とします。

※ 外国籍の方などは、氏名欄に「英文」または「ローマ字」で記載し、ふりがな欄の記載は不要です。

※ 本届出を提出した場合は、翌年度以降の候補者資格の継続には申請できません。

